

Canon

imageRUNNER

ADVANCE

C9075 PRO/C9065 PRO

C7065/C7055

メンテナンスガイド



ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

取扱説明書の構成について

本製品の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてご参照いただき、本製品を十分にご活用ください。



このマークが付いているガイドは、製品に同梱されている紙マニュアルです。



このマークが付いているガイドは、付属の CD-ROM に収められています。

- 本製品をご使用するにあたっての注意事項、設置後の作業や設定について知るには

スタートガイド



- 本製品の基本的な操作、便利な使いかたを素早く知るには

こんなことができます



- 本製品のメンテナンス方法、困ったときの対処方法について知るには

メンテナンスガイド
(本書)



- 本製品についてよく寄せられるご質問と、その回答集

よくあるご質問



- Windows用プリンタードライバーのインストールのしかたなどについて知るには

プリンタードライバー
インストールガイド



- Macintosh用プリンタードライバーのインストールのしかたなどについて知るには

LIPS LX プリンター用、LIPS プリンター用、PS プリンター用があります。

Mac プリンタドライバ
インストールガイド



- Windows用ファクスドライバーのインストールのしかたなどについて知るには

ファクスドライバー
インストールガイド



- Macintosh用ファクスドライバーのインストールのしかたなどについて知るには

Mac ファクスドライバ
インストールガイド



- Windows用スキャナードライバーのインストールのしかたなどについて知るには

Network ScanGear
インストールガイド



• 本製品の取り扱い、操作方法についての総合ガイド

e-マニュアル



- お使いになる前に
- 取扱説明書の使いかた
- 基本的な使いかた
- オプションについて (imageRUNNER ADVANCE C9075 PRO/
C9065 PRO)
- オプションについて (imageRUNNER ADVANCE C7065/
C7055) - 設定/登録
- トラブルシューティング
- メンテナンス
- 活用集

- コピー
- ファクス
- スキャンして送信
- スキャンして保存
- 保存ファイルの利用
- 受信トレイ
- セキュアプリント
- ウェブブラウザ
- ホールド
- リモートスキャナー
- モバイルプリント
- カスタムメニュー
- 状況確認/中止
- プリント
- ネットワーク
- リモートUI
- MEAP
- セキュリティー
- ソフトウェア

本書の構成について

第1章 日常のメンテナンス

第2章 困ったときには

第3章 索引

目次

はじめに	vi
本書の読みかた	vii
マークについて	vii
キーについて	vii
画面について	viii
イラストについて	viii
略称について	ix
商標について	ix

第1章 日常のメンテナンス

用紙の補給	1-2
ペーパーデッキ/カセットに用紙を補給する	1-2
カセットの用紙サイズを変更する	1-6
OHP フィルムをセットする	1-7
インデックス紙をセットする	1-8
インデックス紙のセットのしかたについて	1-8
カセットにインデックス紙をセットする	1-9
ペーパーデッキユニット・A1 / POD デッキライト・A1 (オプション)	1-12
ペーパーデッキユニット・A1 / POD デッキライト・A1 に用紙を補給する	1-12
POD デッキライト・A1 の用紙サイズを変更する	1-15
多段デッキ・A1 (オプション)	1-22
多段デッキ・A1 に用紙を補給する	1-22
多段デッキ・A1 の用紙サイズを変更する	1-26
インサーター・H1 (オプション)	1-29
インサーター・H1 に用紙をセットする	1-29
ペーパーフォールディングインサーターユニット・G1 (オプション)	1-32
ペーパーフォールディングインサーターユニット・G1 に用紙をセットする	1-32
フィーダー	1-34
スタンプカートリッジを交換する	1-34
ステイプルフィニッシャー・A1 (LP) / 中綴じフィニッシャー・A1 (LP) / パンチャーユニット・BE1 / インナートリマー・A1 (オプション)	1-37
ホチキスユニット針ケースの交換	1-37
断裁屑の処理	1-40
中とじユニット針カートリッジの交換	1-42
パンチ屑の処理	1-45
ステイプルフィニッシャー・B1 / 中綴じフィニッシャー・B1 / 外付け2穴パンチャー・A1 (オプション)	1-47
ホチキスユニット針ケースの交換	1-47
中とじユニット針カートリッジの交換	1-50
パンチ屑の処理	1-53
トナー容器の交換	1-55
日常のお手入れ	1-59
原稿台ガラス/フィーダー裏面を清掃する	1-59
フィーダーの読み取り部を清掃する	1-60
フィーダーを自動で清掃する (フィーダーのクリーニング)	1-62
プリントが汚れるときは (ワイヤのクリーニング)	1-62

プリントが汚れるときは（ローラーのクリーニング）.....	1-63
プリントした画像が薄くなったり、乱れるときは（ドラムのクリーニング）.....	1-63
タッチパネルディスプレイを清掃する.....	1-63
消耗品	1-64
保守について	1-67

第 2 章 困ったときには

頻繁に紙づまりが起こるときは	2-3
紙づまりの箇所を示すラベル	2-4
(D) 多段デッキ・A1 (オプション).....	2-4
(F) ステイプルフィニッシャー・A1 (LP) / 中綴じフィニッシャー・A1 (LP) (オプション).....	2-5
(M) ペーパーフォールディングユニット・G1 (オプション).....	2-7
(I) インサーター・H1 (オプション).....	2-8
紙づまりが起きたときには	2-9
紙づまりが起こったときの表示	2-9
本体内部（定着搬送ユニット）の紙づまりの処理.....	2-12
手差しトレイ部の紙づまりの処理.....	2-15
右カバー部の紙づまりの処理（多段デッキ・A1 が接続されている場合）.....	2-16
右カバー部の紙づまりの処理.....	2-18
左カバー部の紙づまりの処理.....	2-20
本体左部の紙づまりの処理（バッファバスユニット・F1 が接続されている場合）.....	2-21
カセット内部の紙づまりの処理	2-24
ペーパーデッキ（右側）内部の紙づまりの処理	2-25
ペーパーデッキ（左側）内部の紙づまりの処理	2-27
バッファバスユニット・F1 内部の紙づまりの処理（オプション）.....	2-28
マルチカラーイメージリーダーユニット・A1（フィーダー）の紙づまりの処理（オプション）..	2-31
ペーパーデッキユニット・A1 / POD デッキライト・A1 の紙づまりの処理（オプション）.....	2-34
多段デッキ・A1 の前カバーの紙づまりの処理（オプション）.....	2-36
多段デッキ・A1 のペーパーデッキの紙づまりの処理（オプション）.....	2-41
インサーター・H1 の紙づまりの処理（オプション）.....	2-42
ペーパーフォールディングインサーターユニット・G1（インサーター部）の 紙づまりの処理（オプション）.....	2-48
ペーパーフォールディングインサーターユニット・G1（インサーター内部）の 紙づまりの処理（オプション）.....	2-51
ペーパーフォールディングインサーターユニット・G1 の紙づまりの処理（オプション）.....	2-55
ペーパーフォールディングユニット・G1 の紙づまりの処理（オプション）.....	2-60
ステイプルフィニッシャー・A1 (LP) / 中綴じフィニッシャー・A1 (LP) の 前カバー内部の紙づまりの処理（オプション）.....	2-66
中綴じフィニッシャー・A1 (LP) の中とじユニットの紙づまりの処理.....	2-71
ステイプルフィニッシャー・B1 / 中綴じフィニッシャー・B1 の上カバー内部の 紙づまりの処理（オプション）.....	2-77
ステイプルフィニッシャー・B1 / 中綴じフィニッシャー・B1 の排紙搬送部の 紙づまりの処理（オプション）.....	2-79
中綴じフィニッシャー・B1 の前カバー部の紙づまりの処理（オプション）.....	2-82
中綴じフィニッシャー・B1 の中とじユニットの紙づまりの処理（オプション）.....	2-84
外付け 2 穴パンチャー・A1 の紙づまりの処理（オプション）.....	2-87
針づまりが起きたときには	2-89
ステイプルフィニッシャー・A1 (LP) / 中綴じフィニッシャー・A1 (LP) の ホチキスユニットの針づまりの処理（オプション）.....	2-89
中綴じフィニッシャー・A1 (LP) の中とじユニットの針づまりの処理（オプション）.....	2-91
ステイプルフィニッシャー・B1 / 中綴じフィニッシャー・B1 のホチキスユニットの 針づまりの処理（オプション）.....	2-94

中綴じフィニッシャー・B1 の中とじユニットの針づまりの処理 (オプション).....	2-96
エラーメッセージ一覧.....	2-99
自己診断表示.....	2-99
終了コード一覧.....	2-103
読み込み中にメモリーがいっぱいになったときには.....	2-111
コピーの場合.....	2-111
ファクス/スキャンして送信の場合.....	2-111
スキャンして保存の場合.....	2-112
サービスコール表示.....	2-113
担当サービスを呼ぶときは.....	2-113
サービスコール画面から機能制限モードを設定する.....	2-114
エラーによるプリント/スキャン機能制限時にいくつかの機能を使用する.....	2-115
電源が入らないとき (ブレーカーの確認).....	2-116
プリンター/ファクスドライバーでのトラブル.....	2-117

第 3 章 索引

索引.....	3-2
---------	-----

はじめに

このたびはキャノン imageRUNNER ADVANCE C9075 PRO/C9065 PRO/C7065/C7055 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限・注意などの説明に、下記のマークを付けています。

▲警告 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

▲注意 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

📌重要 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

📝メモ 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

キーについて

本書では、キー名称を以下のように表しています。

• 操作パネル上のキー：<キーアイコン>+（キー名称）

例：⊙（スタート）

△（ストップ）

• タッチパネルディスプレイ上のキー：[キー名称]

例：[キャンセル]

[閉じる]

画面について

本書で使われている画面は、特にお断りがない限り、imageRUNNER ADVANCE C9075 PRO にマルチカラーイメージリーダーユニット・A1、スーパー G3FAX ボード、コピーレイ・P1、ペーパーデッキユニット・A1 が装着されている場合のものです。

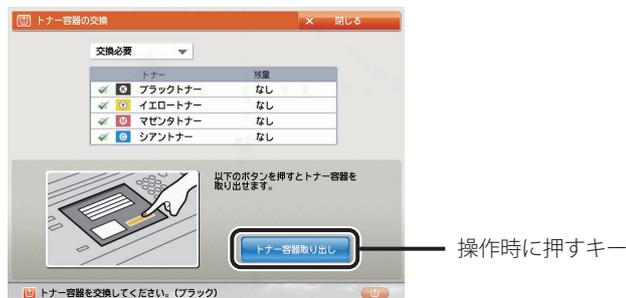
アクセサリ、オプションの組み合わせによって使用できない機能に関しては、本製品の画面には表示されませんが、ご了承ください。

本書で使われているコンピューター操作画面は、お使いの環境によって表示が異なる場合があります。

操作時に押すキーの場所は、 (丸) で囲んで表しています。また、操作を行うキーが複数表示されている場合は、それらをすべて囲んでいますので、ご利用に合わせて選択してください。

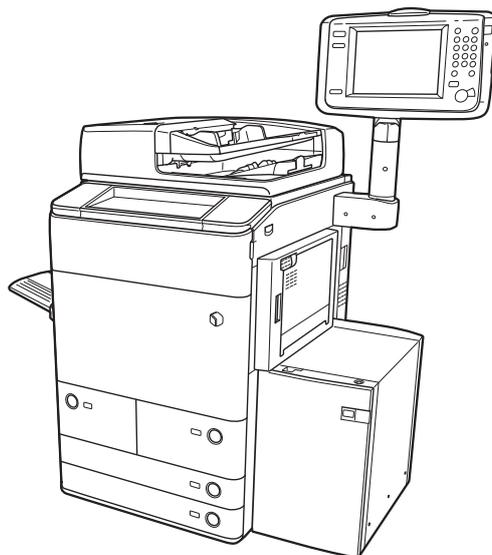
本マニュアルで使われている画面は、実際の画面と異なる場合があります。

3 操作パネルに表示される画面から交換するトナーの色を選択して、[トナー容器取り出し]を押します。



イラストについて

本書で使われている画面は、特にお断りがない限り、imageRUNNER ADVANCE C9075 PRO にマルチカラーイメージリーダーユニット・A1、スーパー G3FAX ボード、コピーレイ・P1、ペーパーデッキユニット・A1 が装着されている場合のものです。



略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft Windows operating system :	Windows
Apple Mac :	Mac

本書では、郵便事業株式会社製のはがきを郵便はがきと記載しています。

商標について

Apple、Mac は米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

日常のメンテナンス

用紙の補給方法、消耗品の交換方法、日常のお手入れについて説明しています。

用紙の補給	1-2
ペーパーデッキ/カセットに用紙を補給する	1-2
カセットの用紙サイズを変更する	1-6
OHP フィルムをセットする	1-7
インデックス紙をセットする	1-8
インデックス紙のセットのしかたについて	1-8
カセットにインデックス紙をセットする	1-9
ペーパーデッキユニット・A1 / POD デッキライト・A1 (オプション)	1-12
ペーパーデッキユニット・A1 / POD デッキライト・A1 に用紙を補給する	1-12
POD デッキライト・A1 の用紙サイズを変更する	1-15
多段デッキ・A1 (オプション)	1-22
多段デッキ・A1 に用紙を補給する	1-22
多段デッキ・A1 の用紙サイズを変更する	1-26
インサーター・H1 (オプション)	1-29
インサーター・H1 に用紙をセットする	1-29
ペーパーフォールディングインサーターユニット・G1 (オプション)	1-32
ペーパーフォールディングインサーターユニット・G1 に用紙をセットする	1-32
フィーダー	1-34
スタンプカートリッジを交換する	1-34
ステイプルフィニッシャー・A1 (LP) / 中綴じフィニッシャー・A1 (LP) / パンチャーユニット・BE1 / インナートリマー・A1 (オプション)	1-37
ホチキスユニット針ケースの交換	1-37
断裁屑の処理	1-40
中とじユニット針カートリッジの交換	1-42
パンチ屑の処理	1-45
ステイプルフィニッシャー・B1 / 中綴じフィニッシャー・B1 / 外付け 2 穴パンチャー・A1 (オプション)	1-47
ホチキスユニット針ケースの交換	1-47
中とじユニット針カートリッジの交換	1-50
パンチ屑の処理	1-53
トナー容器の交換	1-55
日常のお手入れ	1-59
原稿台ガラス/フィーダー裏面を清掃する	1-59
フィーダーの読み取り部を清掃する	1-60
フィーダーを自動で清掃する (フィーダーのクリーニング)	1-62
プリントが汚れるときは (ワイヤのクリーニング)	1-62
プリントが汚れるときは (ローラーのクリーニング)	1-63
プリントした画像が薄くなったり、乱れるときは (ドラムのクリーニング)	1-63
タッチパネルディスプレイを清掃する	1-63
消耗品	1-64
保守について	1-67

用紙の補給

ペーパーデッキ／カセットに用紙を補給する方法について説明します。

- **メモ** ● ペーパーデッキ、カセットにセットできる用紙サイズは、次のとおりです。
 - ・ペーパーデッキ：A4、B5
 - ・カセット：330 × 483 mm、320 × 450 mm (SRA3)、305 × 457 mm、A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、ユーザー設定サイズ (139.7 × 182.0 mm ~ 330.2 × 487.7 mm)
 - ・ペーパーデッキまたはカセットにセットできる用紙の種類はe-マニュアル > 基本的な使いかたを参照してください。

ペーパーデッキ／カセットに用紙を補給する

プリントする用紙を選択した際に選択した用紙がないときや、本製品のプリント動作中にプリントできる用紙がなくなったとき、タッチパネルディスプレイに用紙の補給を促す画面が表示されます。

以下の手順に従って、ペーパーデッキ／カセットに用紙を補給します。

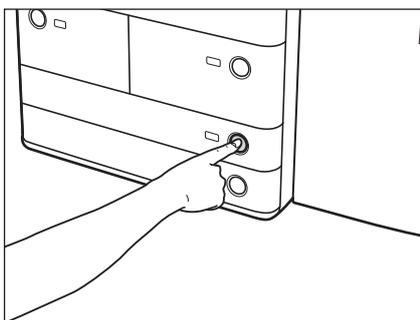
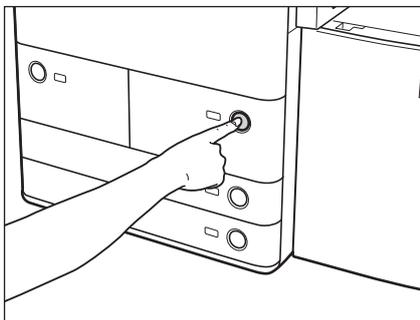


▲ 注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

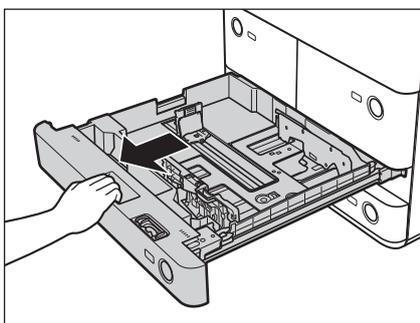
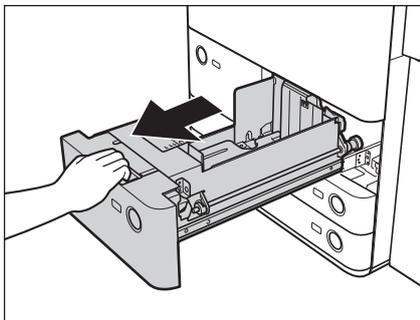
- **重要** ● 選択したペーパーデッキ／カセットが完全に押し込まれていないときにも、用紙補給画面が表示されます。ペーパーデッキ／カセットは完全に押し込んでください。
 - ・ペーパーデッキ／カセットには、郵便はがき、封筒はセットできません。
 - ・次のような用紙は、ペーパーデッキ／カセットにセットしないでください。紙づまりの原因になります。
 - ・大きくカールした用紙や、しわのある用紙
 - ・薄いわら半紙
 - ・221 g/m²を超える厚紙
 - ・熱転写プリンターで印字した紙（ウラ面にもプリントしないでください。）
 - ・用紙をよくさばいてからセットしてください。
 - ・用紙をセットしたペーパーデッキ／カセットの横の空いている部分には、用紙や用紙以外のものを入れないでください。紙づまりの原因になる場合があります。
 - ・用紙をよくさばいてからセットしてください。薄紙、再生紙、パンチ済み紙、厚紙、OHP、インデックス紙などの用紙は、特によくさばいてからセットしてください。

- **メモ** ● 連続プリント中に用紙補給のメッセージが表示されたときには、用紙を補給したあと自動的にプリントが再開されます。他の用紙カセットを選択した場合は、[OK] を押すとプリントが再開されます。
 - ・ [中止] を押すと、プリントが中止されます。

- 1** 用紙を補給するペーパーデッキまたはカセットのオープンボタンをいったん押して離します。



- 2** ペーパーデッキまたはカセットの取っ手を持ち、そのまま止まるところまで手前に引き出します。



3 包装紙を開いて、用紙を取り出します。

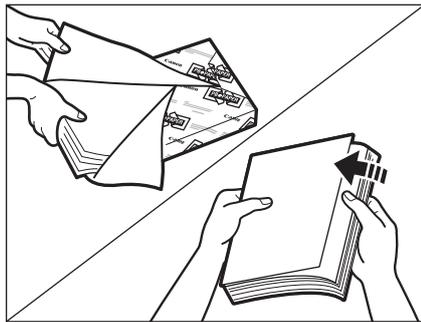
⚠ 注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

👉 重要

- 残った用紙は包装紙に包み、湿気が少なく直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 吸湿している用紙に印刷すると、本製品の排紙部から湯気が出る場合があります。これは、トナーを定着するときの熱によって用紙に含まれる水分が蒸発しているためです。異常ではありません。（特に、室温が低い場合に発生しやすくなります。）

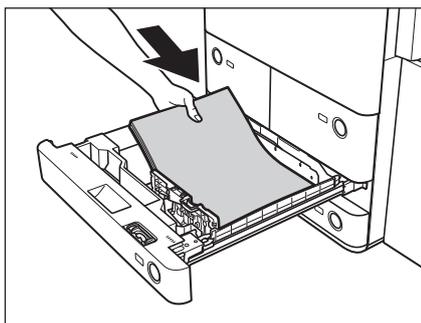
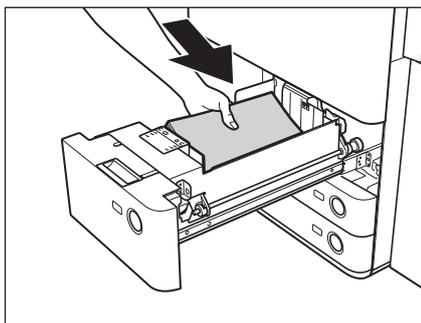
📝 メモ

- 快適なプリント結果を得ていただくため、キヤノン推奨用紙のご使用をおすすめします。
- 用紙をセットするときは、給紙されやすくするために数回さばき、用紙の端をそろえてからセットしてください。また、包装紙を開いて取り出した用紙は、束ごとさばいてください。



4 用紙をセットします。

用紙をそろえ、ペーパーデッキまたはカセットの右側面にぴったりとつき当ててセットしてください。



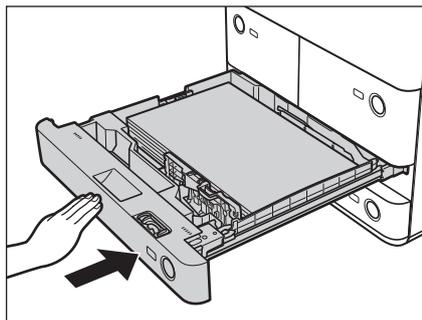
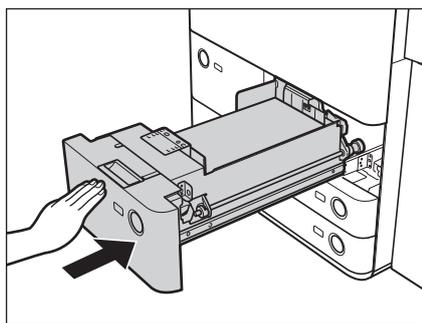
👉 重要

- 用紙がカールしているときは、カールをなおしてからセットしてください。
- 用紙の高さが積載制限表示  を越えないように注意してください。

📝 メモ

- ペーパーデッキにはそれぞれ約1250枚 (64 g/m²) または1100枚 (80 g/m²) の用紙がセットできます。
- カセットにはそれぞれ約680枚 (64 g/m²) または550枚 (80 g/m²) の用紙がセットできます。
- 用紙の梱包紙に給紙面についての指示が書かれている場合は、その指示に従って用紙をセットしてください。
- ペーパーデッキ/カセットに用紙をセットする場合は、プリントする面を下にしてセットしてください。
- プリントするときに不具合が生じた場合は、用紙を裏返してセットしなおしてください。
- あらかじめロゴなどが印刷されている用紙のプリント方向については、スタートガイド「第17章 付録」を参照してください。

5 ペーパーデッキまたはカセットをカチッと音がするまで静かに本体に押し込みます。



⚠ 注意 ペーパーデッキ／カセットを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

👉 重要 積載制限枚数を超えたり、ペーパーデッキ／カセットが確実に閉じられていないと、コピーやプリントができません。ペーパーデッキ／カセットが確実にセットされているか確認してください。用紙を入れすぎている場合は、積載制限の表示まで用紙を減らしてください。

📝 メモ 用紙切れでプリント動作が中断されたときは、用紙補給後、タッチパネルディスプレイに表示されるメッセージに従って操作してください。本製品はプリント動作を再開します。

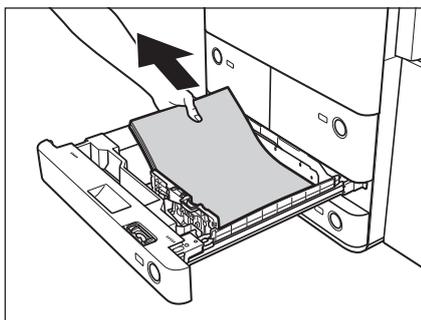
カセットの用紙サイズを変更する

セットする用紙サイズが今までセットしていた用紙と異なる場合は、次のようにスライドガイドを調節してください。

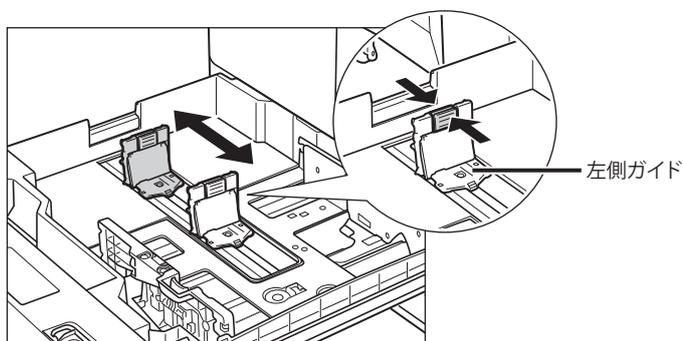
重要 OHP フィルムは A4 サイズのみセットできます。OHP フィルムをセットするときは、スライドガイドを必ず A4 にあわせてください。A4 サイズ以外の OHP フィルムをセットすると、用紙サイズや用紙残量を正しく検知できません。

メモ 日本でもに使われている用紙サイズは、A3、A4、B4、B5 などの「A/B 系列」です。レター (LTR) やリーガル (LGL) といった「インチ系列」は北米などの地域でよく使われています。本製品は、お客様の使用状況にあわせてどちらの系列でも使用できます。

- 1 用紙サイズを変更するカセットのオープンボタンをいったん押して離します。カセットを引き出して、セットされている用紙をすべて取り出します。

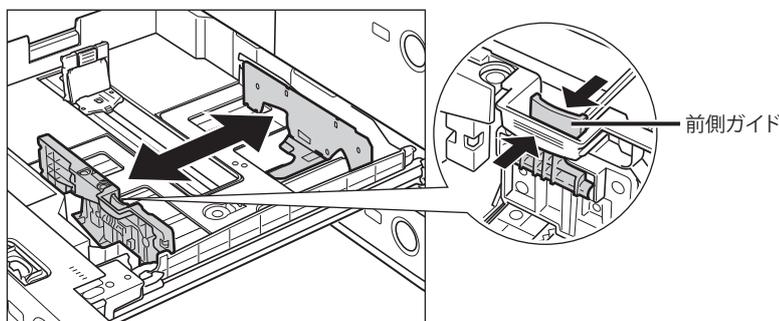


- 2 左側ガイドをセットする用紙サイズの指標までスライドさせます。



ガイドは、カチッと音がする位置までスライドさせます。

- 3 図のようにレバーをつまみ、前側ガイドをスライドさせ、セットする用紙サイズの指標にあわせます。



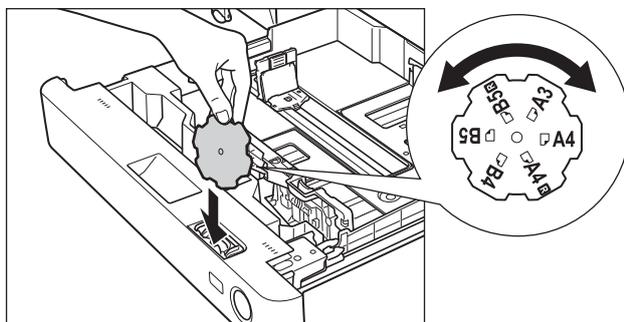
ガイドは、カチッと音がする位置までスライドさせます。

重要 紙づまりやプリントの汚れ、本製品内部の汚れの原因になりますので、用紙サイズの指標に必ず正しくあわせてください。

4 変更したサイズの内紙をカセットにセットします。

⚠注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

5 用紙サイズラベルの表示を変更後の用紙サイズに変更します。



6 カセットをカチッと音がするまで静かに本体に押し込みます。

⚠注意 カセットを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

OHP フィルムをセットする

OHP フィルムは以下の給紙箇所にセットできます。

- ・カセット
- ・ペーパーデッキ
- ・手差しトレイ
- ・POD デッキライト・A1
- ・多段デッキ・A1

OHP フィルムには表裏があるので、鮮明な画像を得るため、正しい向きにセットするようにしてください。カセット、ペーパーデッキの場合はプリントする面を下にセットします。

手差しトレイ、POD デッキライト・A1、多段デッキ・A1 の場合は、プリントする面を上をセットします。

- 📌重要**
- ・OHPフィルムはA4のみセットできます。
 - ・OHPフィルムを補給するときは、プリント面に触れないように端を持ってセットしてください。
 - ・セットする前に、OHPフィルムを十分にさばいてください。さばかずにセットすると、紙づまりの原因になります。
 - ・プリント中は、OHPフィルムを継ぎ足さないでください。紙づまりの原因となります。
 - ・OHPフィルムは必ず本製品指定のものをご使用ください。本製品指定以外のOHPフィルムを使用すると、本製品に損傷を与えることがあります。
 - ・OHPフィルムの折れや紙づまりを防ぐため、排紙されたOHPフィルムは速やかに排紙トレイから取り除くことをおすすめします。
 - ・残ったOHPフィルムは箱に戻して、高温多湿の場所を避けて保管してください。長時間セットしたままにしておくと、OHPフィルムが密着し、紙づまりの原因となります。
 - ・長時間セットしたままにしておくと、OHPフィルムが密着し、給紙しにくくなる場合があります。そのような場合は、十分にさばるか、100枚以上セットしている場合は、枚数を100枚以下に減らしてセットしなおすか、あるいは新しいOHPフィルムを使用してください。
 - ・OHPフィルムに出力する場合、画像の種類によっては画像濃度が濃くなる場合があります。その場合は、出力画像濃度を調節してください。

- 📌メモ**
- ・手差しトレイ以外の給紙箇所にはOHPフィルムを250枚までセットできます。
 - ・紙づまりが起る場合は、セットしたOHPフィルムを十分にさばいてください。

インデックス紙をセットする

インデックス紙をセットする方法について説明します。

インデックス紙は以下の給紙箇所にセットできます。

- カセット
- 多段デッキ・A1
- インサーター・H1
- ペーパーフォールディングインサーターユニット・G1

▲注意 インデックス紙は A4 サイズのみセットできます。

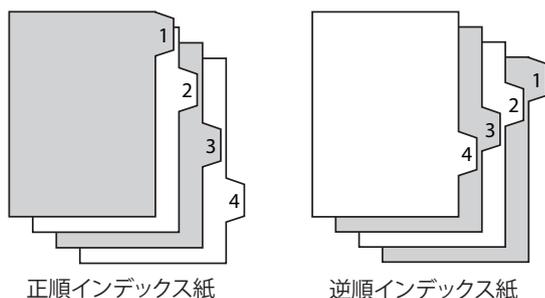
メモ カセットまたは多段デッキ・A1 にインデックス紙をセットした場合は、必ず用紙の登録を行ってください。(→e-マニュアル>設定/登録)

インデックス紙のセットのしかたについて

インデックス紙は給紙箇所によってセットする向きが異なります。

インデックス紙をセットするには次のようにセットしてください。

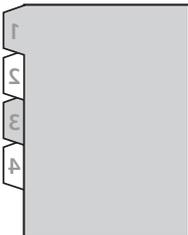
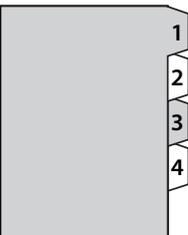
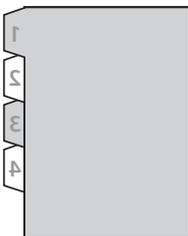
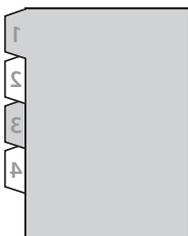
市販されているインデックス紙には、正順インデックス紙と逆順インデックス紙があります。必要に応じて使い分けてください。



正順インデックス紙

逆順インデックス紙

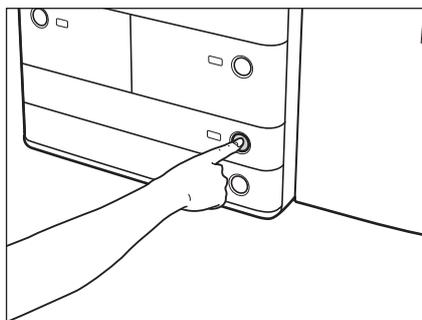
- メモ**
- インサーター・H1/ペーパーフォールディングインサーターユニット・G1にセットしたインデックス紙にコピー/プリントはできません。
 - インサーター・H1/ペーパーフォールディングインサーターユニット・G1にセットするインデックス紙は表紙、挿入紙、仕切紙として使用できます。
 - 印字済みインデックス紙を章紙として挿入する場合はインデックス紙を挿入するページに白紙原稿を挿入してください。

給紙箇所	セットのしかた	
カセット		逆順の並びにしたインデックス紙を裏返して、タブが左に来るようにセットしてください。
多段デッキ・A1		正順の並びにしたインデックス紙をプリントする面を上にして、タブが右に来るようにセットしてください。
インサーター・H1		逆順の並びにしたインデックス紙を裏返して、タブが左に来るようにセットしてください。
ペーパーフォールディング インサーターユニット・G1		逆順の並びにしたインデックス紙を裏返して、タブが左に来るようにセットしてください。

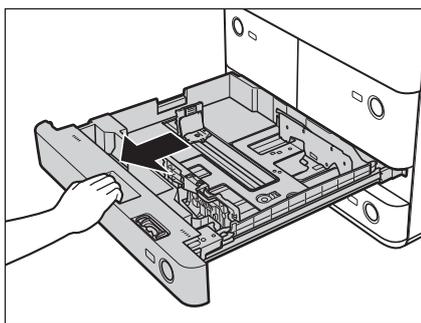
- メモ**
- 多段デッキ・A1の用紙サイズを変更する手順は、「多段デッキ・A1の用紙サイズを変更する」(→ P.1-26)を参照してください。
 - インサーターの用紙サイズや種類を選択する手順は、「インサーター・H1に用紙をセットする」(→ P.1-29)、「ペーパーフォールディングインサーターユニット・G1に用紙をセットする」(→ P.1-32)を参照してください。

カセットにインデックス紙をセットする

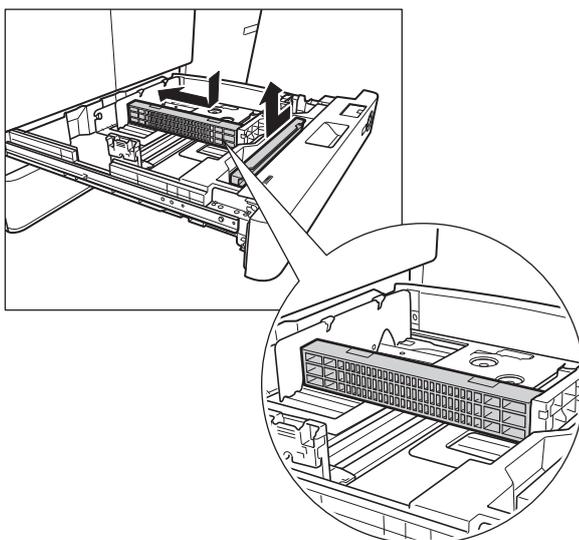
- 1 インデックス紙をセットするカセットのオープンボタンをいったん押して離します。



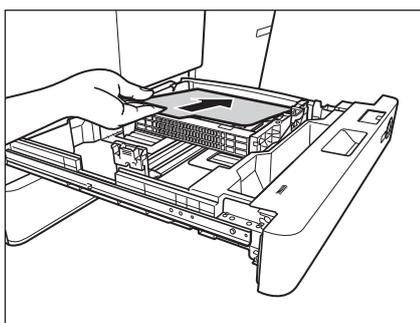
- 2 カセットの取っ手を持ち、そのまま止まるところまで手前に引き出します。



- 3 図のようにインデックス紙専用ガイドを取り付けます。

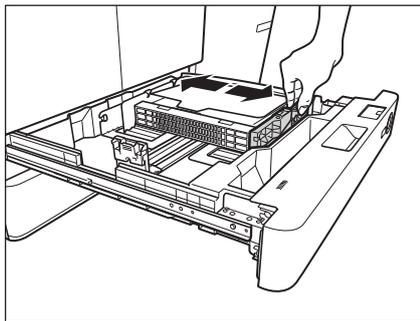


- 4 インデックス部を左側に向けてインデックス紙をセットします。

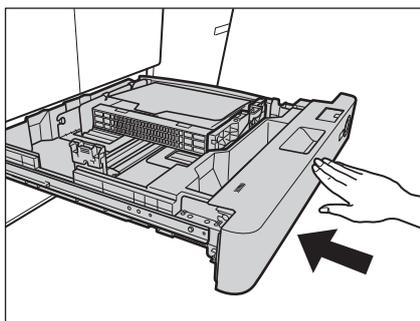


- 重要**
- インデックス紙がカールしていると、画像のかすれの原因となります。その場合は、インデックス紙を裏返してセットしなおしてください。
 - 用紙の高さが積載制限表示  を越えないように注意してください。

- 5 図のようにレバーをつまみ、前側ガイドをスライドさせ、セットするサイズの指標に合わせます。



- 6 カセットを、本体にカチッと音がするまで静かに押し込みます。



⚠ 注意 カセットを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

- 👉 重要**
- インデックス紙をセットしたカセットの横の空いている部分には、用紙や用紙以外のものを入れないでください。紙づまりの原因になる場合があります。
 - インデックス紙を使用しない場合は、必ずインデックスガイドを元の場所に戻してください。インデックス紙専用ガイドをつけたままでインデックス紙以外の用紙をセットすると紙づまりの原因になる場合があります。

📌 メモ インデックス紙をセットした場合は、必ず用紙の登録を行ってください。(→ e-マニュアル>設定/登録)

ペーパーデッキユニット・A1 / POD デッキライト・A1 (オプション)

ペーパーデッキユニット・A1 / POD デッキライト・A1 (オプション) を装着すると、本製品に標準装備されているカセットの給紙箇所に加え、1種類の給紙箇所が追加できます。

ペーパーデッキユニット・A1 / POD デッキライト・A1 (オプション) には、4000枚 (64 g/m²) または 3500枚 (80 g/m²) まで用紙がセットできます。

重要 本製品がスリープモードに移行しているとき (タッチパネルディスプレイの表示が消灯し、主電源ランプが点灯しているとき) はペーパーデッキユニット・A1 / POD デッキライト・A1 を開くことができない場合があります。この場合は、操作部電源スイッチを押して、スリープモードを解除してからオープンボタンを押してください。

メモ • ペーパーデッキユニット・A1にセットできる用紙のサイズは、A4またはB5に固定されています。サイズ変更については、担当サービスにご連絡ください。
• PODデッキライト・A1にセットできる用紙サイズは、330 × 483 mm、320 × 450 mm (SRA3)、305 × 457 mm、A3、B4、A4、A4R、B5です。

ペーパーデッキユニット・A1 / POD デッキライト・A1 に用紙を補給する

ペーパーデッキユニット・A1 / POD デッキライト・A1 を選択した際に用紙がないときや、本製品のプリント動作中にペーパーデッキユニット・A1 / POD デッキライト・A1 の用紙がなくなったとき、タッチパネルディスプレイに用紙の補給を促す画面が表示されます。

以下の手順に従って、用紙を補給してください。

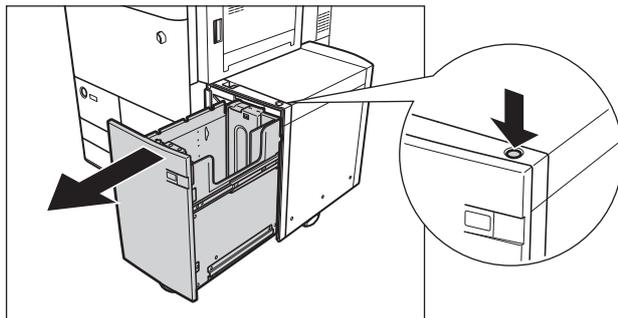


注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

重要 ペーパーデッキユニット・A1 / POD デッキライト・A1 で使用できる用紙の厚さは、次のとおりです。
• ペーパーデッキユニット・A1 : 52 ~ 220 g/m²
• PODデッキライト・A1 : 52 ~ 300 g/m²

メモ 連続プリント中に用紙補給のメッセージが表示されたときには、用紙を補給したあと自動的にプリントが再開されます。他の用紙カセットを選択した場合は、[OK] を押すと、プリントが再開されます。

1 オープンボタンを押して、ペーパーデッキユニット / POD デッキライトを開きます。



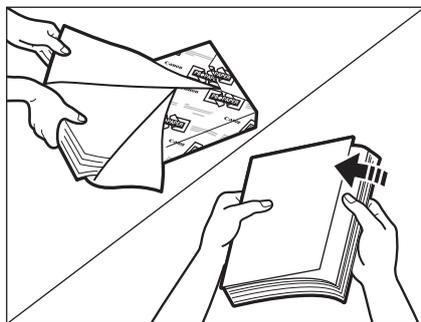
内部のリフターが自動的に用紙補給位置まで下がります。

2 包装紙を開いて、用紙を取り出します。

注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

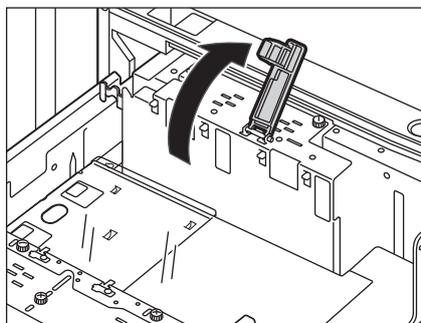
- 重要**
- 残った用紙は包装紙に包み、湿気が少なく直射日光の当たらない場所に保管してください。
 - 次のような用紙は、ペーパーデッキユニット / POD デッキライトにセットしないでください。
 - 大きくカールした用紙や、しわのある用紙
 - 薄いわら半紙
 - 熱転写プリンターで印字した紙（ウラ面にもプリントしないでください。）

- メモ**
- 快適なプリント結果を得ていただくため、キヤノン推奨用紙のご使用をおすすめします。
 - 用紙をセットするときは、給紙されやすくするために数回さばき、用紙の端をそろえてからセットしてください。また、包装紙を開いて取り出した用紙は、束ごとさばいてください。



3 給紙補助ローラーを上げます。

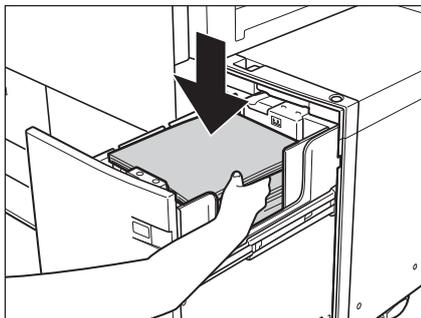
ペーパーデッキユニットを装着の場合は手順 4 へ進みます。



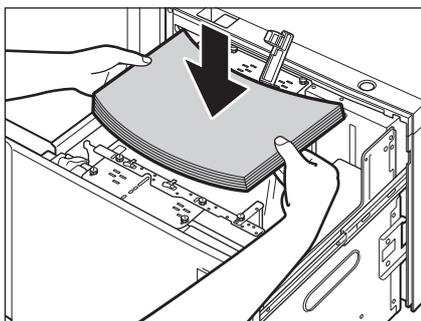
- 重要**
- 用紙をセットするときは、給紙補助ローラーを必ず上げてください。上げずに給紙すると、給紙補助ローラーが外れる原因となり、用紙が正しく給紙されません。
 - 給紙補助ローラーが外れたまま使用すると、紙づまりが起こる恐れがあります。

4 用紙をセットします。

内部のリフターが下がったのを確認して、用紙を揃えてセットします。



ペーパーデッキユニット・A1

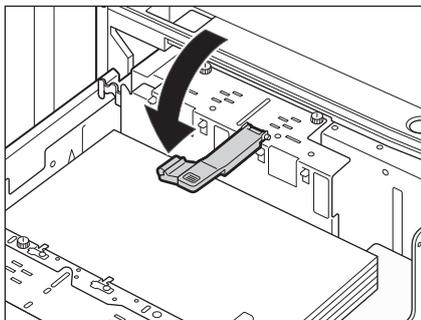


PODデッキライト・A1

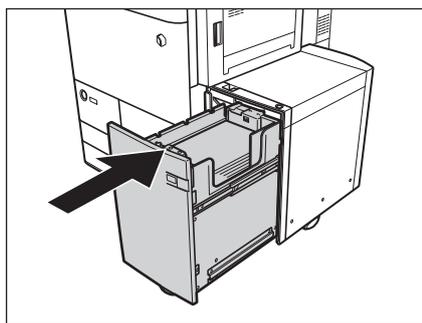
- 重要**
 - 用紙がカールしているときは、カールをなおしてからセットしてください。
 - 用紙の高さが積載制限表示  を越えないように注意してください。
- メモ**
 - ペーパーデッキユニット／PODデッキライトには4000枚（64 g/m²）または3500枚（80 g/m²）まで用紙がセットできます。
 - ペーパーデッキユニット／PODデッキライトには約600枚（64 g/m²）または約550枚（80 g/m²）ずつ用紙を補給できます。さらに補給できる場合は、再びリフターが下がります。
 - OHPフィルムをセットする方法については「OHPフィルムをセットする」（→P.1-7）を参照してください。
 - 用紙の梱包紙に給紙面についての指示が書かれている場合は、その指示に従って用紙をセットしてください。
 - ペーパーデッキユニット／PODデッキライトに用紙をセットする場合は、プリントする面を上にしてセットしてください。
 - プリントするときに不具合が生じた場合は、用紙を裏返してセットしなおしてください。
 - あらかじめロゴなどが印刷されている用紙のプリント方向については、スタートガイド「第17章 付録」を参照してください。

5 給紙補助ローラーを下げます。

ペーパーデッキユニットを装着の場合は手順6へ進みます。



- 6 ペーパーデッキユニット / POD デッキライトをカチッと音がするまで静かに押し込みます。



内部のリフターが自動的に上がり、プリントできる状態になります。

注意 ペーパーデッキユニット / POD デッキライトを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

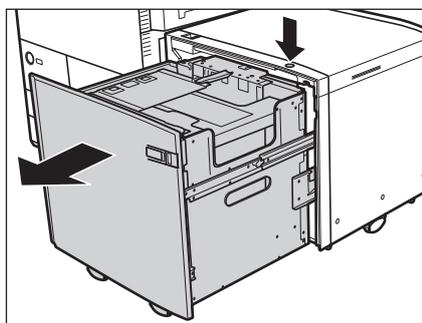
POD デッキライト・A1 の用紙サイズを変更する

POD デッキライト・A1 の用紙サイズを変更する方法について説明します。

- 1 設定 / 登録で POD デッキライト の用紙サイズを登録します。

POD デッキライトの用紙サイズの登録は、設定 / 登録の「用紙の設定」を参照してください。(→ e-マニュアル > 設定 / 登録)

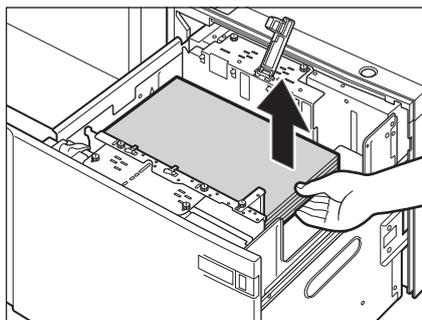
- 2 オープンボタンを押して POD デッキライト を開きます。



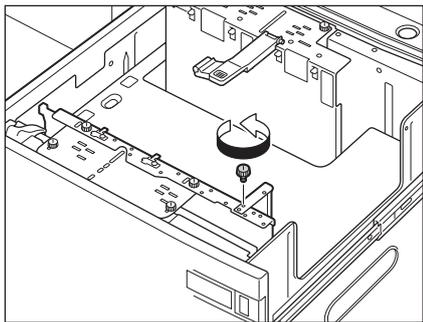
内部のリフターが自動的に補給位置まで下がります。

メモ 使用状況によってはオープンボタンを押しても、ペーパーデッキが開くのにしばらく時間がかかる場合があります。

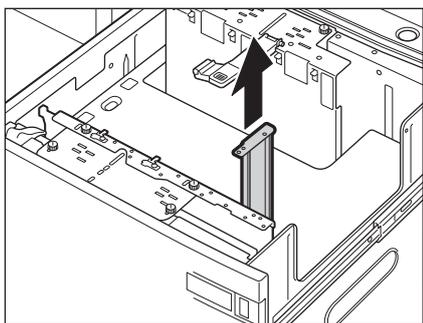
- 3 セットされている用紙、シートとデッキ敷板をすべて取り出します。



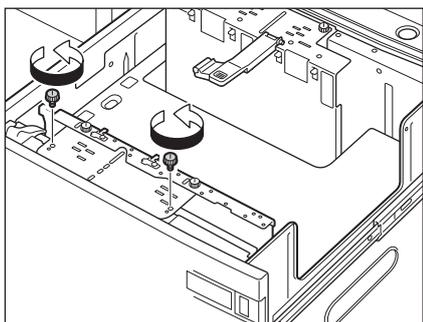
- 4** 後端押さえ板の青色の固定ネジ（1箇所）をコインなどで外します。



- 5** 後端押さえ板を取り出します。

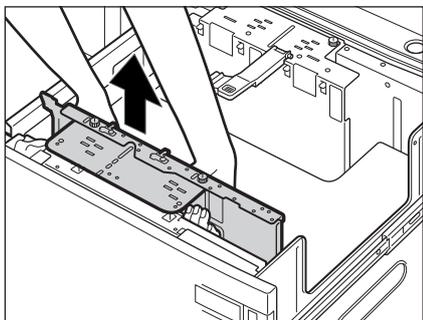


- 6** サイズ切替プレート（手前）の青色の固定ネジ（2箇所）をコインなどで外します。

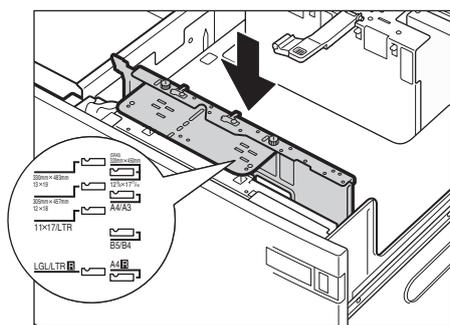


重要 青色の固定ネジ以外はゆるめたりしないでください。

- 7** サイズ切替プレート（手前）を持ち上げます。

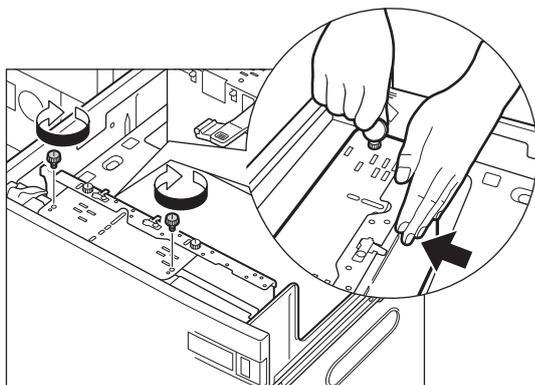


8 サイズ切替プレート（手前）を、セットする用紙サイズの指標にあわせませす。



- 重要**
- サイズ切替プレートは、セットする用紙サイズの指標に必ず正しくあわせてセットしてください。指標はサイズ切替プレートの上部に2箇所あります。サイズ切替プレートがななめにならないように、2箇所を同じ用紙サイズにあわせてください。
 - サイズ切替プレートが、セットする用紙サイズの指標に正しく合っていることを確認してください。もしサイズ切替プレートが確実にあっていないと、POD デッキライトが壊れる可能性があります。

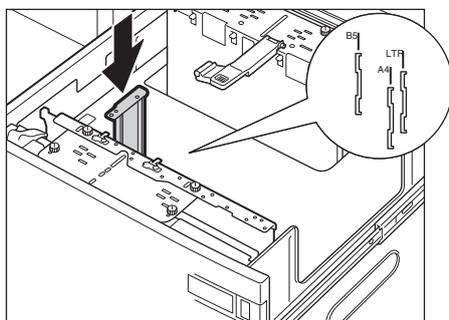
9 セットする用紙サイズの指標にあわせたら、サイズ切替プレート（手前）の中央付近に手を添えて、手前側に押し付けながら、青色の固定ネジ（2箇所）をコインなどで締めて固定します。



青色の固定ネジは左のネジを締めてから右のネジを締めてください。

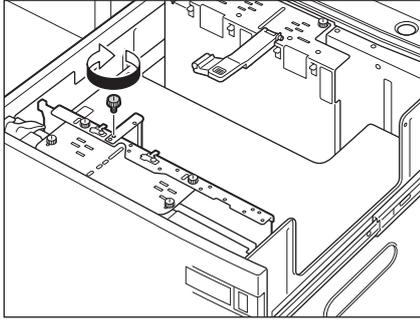
- 重要**
- サイズ切替プレートの中央付近を押さずに青色の固定ネジで固定すると、プレートがななめに固定されることがあります。そのまま使用すると、用紙がななめに送られ、印字不良や紙づまりが起きる可能性があります。必ずサイズ切替プレートに手を添えて、手前側に押し付けながら固定してください。

10 後端押さえ板を、セットする用紙サイズの指標にあわせませす。



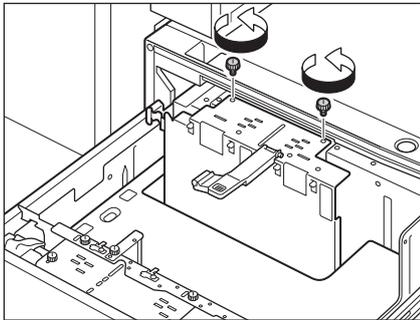
- 重要**
- 後端押さえ板を正しくあわせないと、紙づまりやプリントの汚れ、本機内部の汚れの原因になります。後端押さえ板は POD デッキライトの底面と上部にある用紙サイズの指標に必ず正しくあわせてセットしてください。

- 11** セットする用紙サイズの指標にあわせたら、青色の固定ネジをコインまたはドライバーなどで締めて固定します。

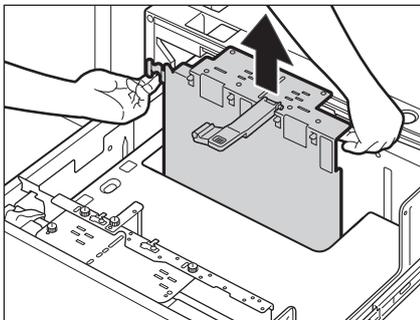


重要 後端押さえ板を固定するネジ穴は2つあります。使用する用紙サイズの指標に正しくあわせて固定し、後端押さえ板を斜めに取り付けないように注意してください。

- 12** サイズ切替プレート（奥）の青色の固定ネジ（2箇所）をコインなどで外します。

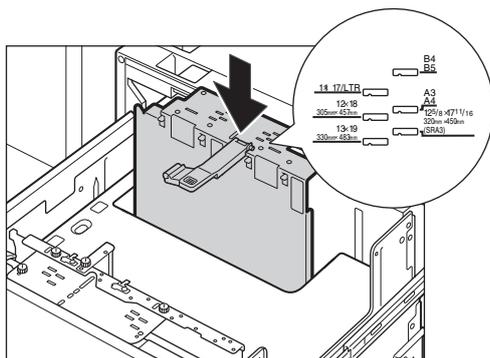


- 13** サイズ切替プレート（奥）を持ち上げます。



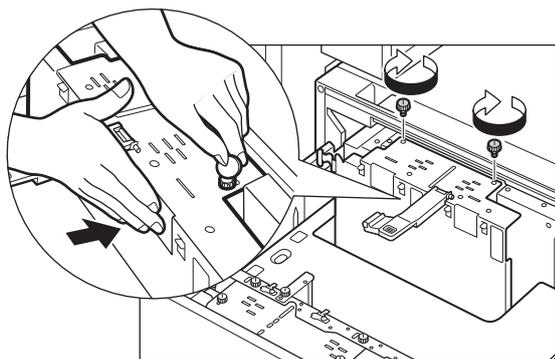
メモ ファンからの温風によって、サイズ切替プレート（奥）が温まる場合があります。

14 サイズ切替プレート（奥）を、セットする用紙サイズの指標にあわせませす。



- 重要**
- サイズ切替プレートは、セットする用紙サイズの指標に必ず正しくあわせてセットしてください。指標はサイズ切替プレートの上部に2箇所あります。サイズ切替プレートがななめにならないように、2箇所を同じ用紙サイズにあわせてください。
 - サイズ切替プレートが、セットする用紙サイズの指標に正しくあっていることを確認してください。もしサイズ切替プレートが確実にあっていないと、PODデッキライトが壊れる可能性があります。

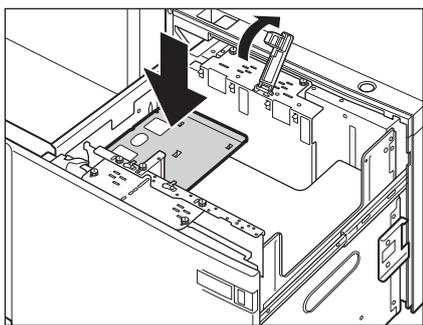
15 セットする用紙サイズの指標にあわせたら、サイズ切替プレート（奥）の中央付近に手を添えて、奥側に押し付けながら、青色の固定ネジ（2箇所）をコインなどで締めて固定します。



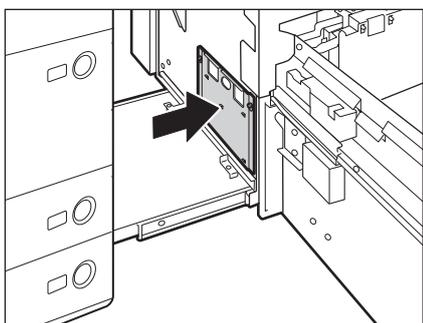
青色の固定ネジは右のネジを締めてから左のネジを締めてください。

- 重要**
- サイズ切替プレートの中央付近を押さずに青色の固定ネジで固定すると、プレートがななめに固定されることがあります。そのまま使用すると、用紙がななめに送られ、印字不良や紙づまりが起きる可能性があります。必ずサイズ切替プレートに手を添えて、奥側に押し付けながら固定してください。

16 セットする用紙サイズにあったデッキ敷板をセットします。

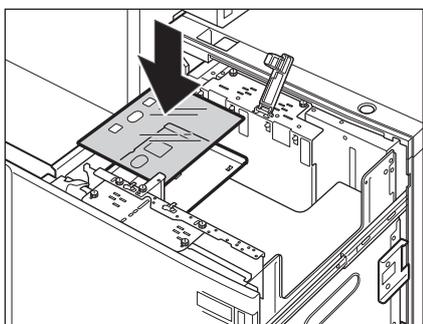


使用しないデッキ敷板は、POD デッキライトを本体から引き離し、POD デッキライト外部の左側面のフックに引っ掛けて収納してください。



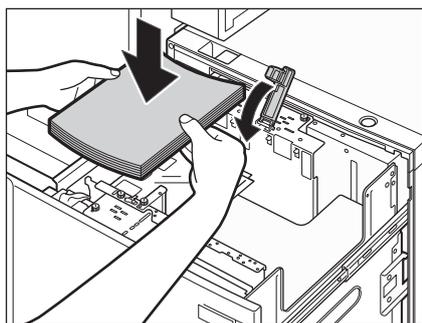
- 👉 **重要**
 - デッキ敷板をセットしないと、用紙の端が垂れて紙づまりが起こることがあります。デッキ敷板は必ずセットしてください。
 - デッキ敷板は、PODデッキライトの空いている部分には絶対に入れないでください。故障の原因になります。

17 セットする用紙サイズにあったシートをセットします。



- 👉 **重要**
 - 用紙をセットする前にシートをセットして、サイズ切替プレートと後端押さえ板が正しく取り付けられているかどうか必ず確認してください。サイズ切替プレートと後端押さえ板が正しくセットされていないと、POD デッキライトが破損する恐れがあります。

18 変更したサイズの内紙を POD デッキライトにセットして、給紙補助ローラを下げます。

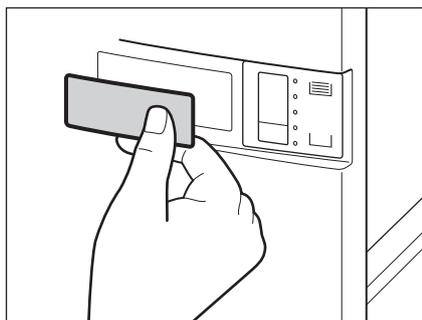


注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

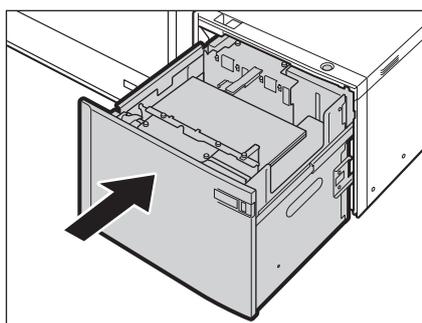
- 重要**
- B4 以上のサイズの内紙をセットするときは、用紙をセットする前に一度PODデッキライトを閉じてリフターを上昇させ、再度PODデッキライトを開いてから用紙をセットしてください。リフターが下がっている状態で用紙を補給すると、用紙を正しくセットできずに紙づまりの原因となります。
 - PODデッキライトの空いている部分には、用紙や用紙以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因になります。

メモ 厚い用紙束を一度にセットすると、用紙の端の傷やめくれにより印字不良の原因になることがあります。用紙は高さ 20 mm 以下の束にわけてセットしてください。

19 POD デッキライトに変更後のサイズの内紙をセットして、マグネットラベルをはりませう。



20 POD デッキライトを閉じます。



リフターが自動的に上がり、プリントできる状態になります。

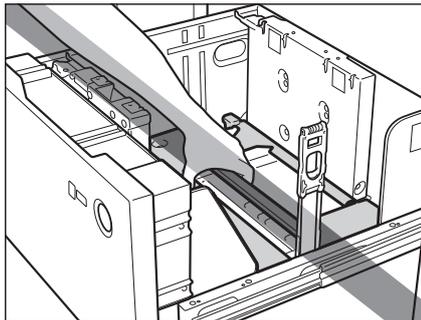
注意 POD デッキライトを閉じるときは、すき間に指をはさまないように注意してください。

多段デッキ・A1 (オプション)

多段デッキ・A1 を装着すると、本体に標準装備されているカセットの給紙箇所に加え、3種類の給紙箇所が追加できます。

多段デッキ・A1 には、上段、中段、下段にそれぞれ 2200 枚 (64 g/m²) または 2000 枚 (80 g/m²) の用紙がセットできます。

- 重要**
- 本製品がスリープモードに移行しているとき (タッチパネルディスプレイの表示が消灯し、主電源ランプが点灯しているとき) は、オープンボタンを押してもペーパーデッキを開くことができない場合があります。この場合は、操作部電源スイッチを押して、スリープモードを解除してからオープンボタンを押してください。
 - 多段デッキ・A1 内にものを落としたときなど、リフターを持ち上げる必要がある場合は斜めに、または水平に50 mm以上持ち上げないでください。故障の原因となります。



- メモ**
- 多段デッキ・A1 にセットできる用紙サイズは、次のとおりです。330 × 483 mm、320 × 450 mm (SRA3)、305 × 457 mm、A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、ユーザー設定サイズ (139.7 × 182.0 mm ~ 330.2 × 487.7 mm)

多段デッキ・A1 に用紙を補給する

多段デッキ・A1 を選択した際に用紙がないときや、プリント動作中に多段デッキ・A1 の用紙がなくなったとき、タッチパネルディスプレイに用紙の補給を促す画面が表示されます。以下の手順に従って、用紙を補給してください。



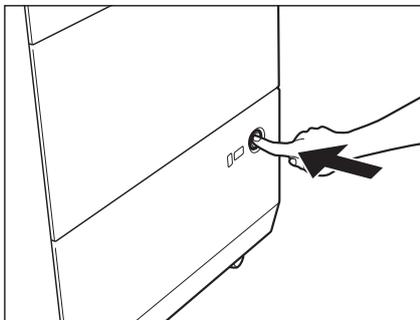
注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

- 重要**
- 用紙をセットしたペーパーデッキの横の空いている部分には、用紙や用紙以外のものを入れないでください。紙づまりの原因になる場合があります。
 - 選択したペーパーデッキが完全に押し込まれていないときにも、用紙補給画面が表示されます。ペーパーデッキは完全に押し込んでください。
 - 多段デッキ・A1 には、ユーザー設定サイズ (139.7 × 182.0 mm ~ 330.2 × 487.7 mm) の用紙がセットできます。ユーザー設定サイズで設定できる用紙サイズ未満や、設定できる用紙サイズよりも大きいまたは、小さい用紙はセットできません。

- 次のような用紙は、多段デッキ・A1にセットしないでください。紙づまりの原因になります。
 - 大きくカールした用紙や、しわのある用紙
 - 郵便はがき
 - 封筒
 - 薄いわら半紙
 - 300 g/m²を超える厚紙
 - 52 g/m²未満の薄紙
 - 熱転写プリンターで印字した紙（ウラ面にもプリントしないでください）
- 用紙はよくさばいてからセットしてください。
- 使用できる用紙の厚さは、52～300 g/m²です。

- メモ**
- 連続プリント中に用紙補給のメッセージが表示されたときには、用紙を補給したあと自動的にプリントが再開されます。他の用紙カセットを選択した場合は、[OK] を押すと、プリントが再開されます。
 - [中止] を押すと、プリントが中止されます。
 - 多段デッキ・A1にセットする用紙を普通紙からコート紙に切り替えた場合は、用紙をさばく温風の温度調節が必要なため、しばらくお待ちいただくことがあります。

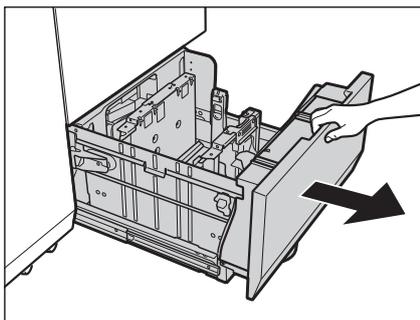
1 用紙をセットするペーパーデッキのオープンボタンを押します。



内部リフターが自動的に用紙補給位置まで下がります。

- メモ** 使用状況によってはオープンボタンを押しても、ペーパーデッキが開くのにしばらくかかる場合があります。

2 ペーパーデッキの取っ手を持ち、そのまま止まる場所まで手前に引き出します。

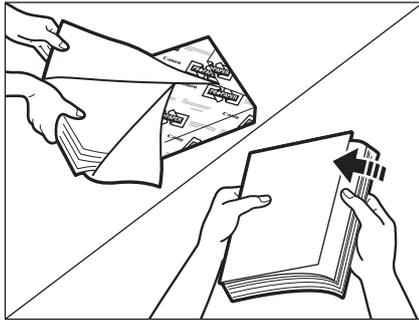


3 包装紙を開いて、用紙を取り出します。

⚠ 注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

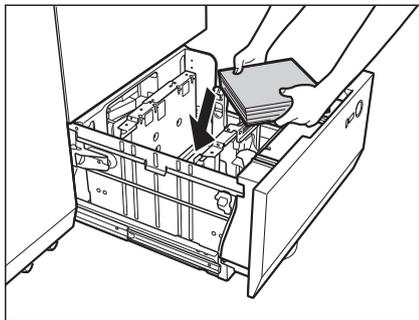
📌 重要 残った用紙は包装紙に包み、湿気が少ない直射日光の当たらない場所に保管してください。

- 📝 メモ**
- インデックス紙をセットする方法については、「インデックス紙をセットする」(→P.1-8)を参照してください。
 - OHP フィルムをセットする方法については、「OHPフィルムをセットする」(→P.1-7)を参照してください。
 - 快適なプリント結果を得ていただくため、キヤノン推奨用紙のご使用をおすすめします。
 - 用紙をセットするときは、給紙されやすくするために数回さばき、用紙の端を揃えてからセットしてください。また、包装紙を開いて取り出した用紙は、束ごとさばいてください。

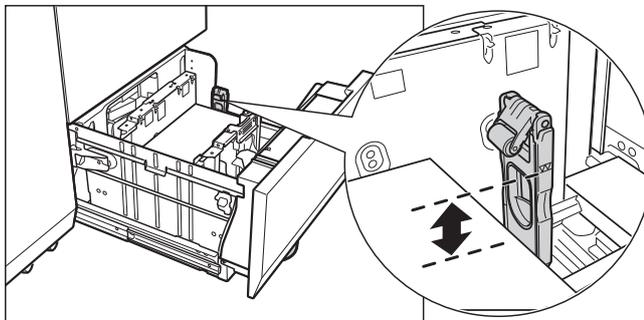


4 内部リフターが下がったことを確認して、用紙をセットします。

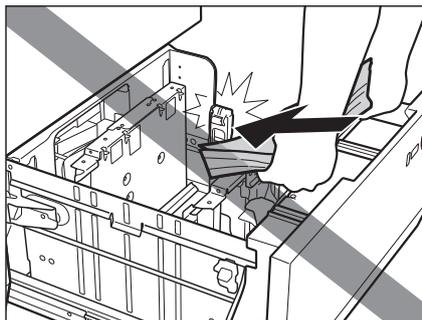
用紙を揃え、ペーパーデッキの左側面にぴったりとつき当てるようにセットしてください。ペーパーデッキに初めて用紙を補給するときは、使用する用紙にあわせてサイド規制板をセットしてください。(→多段デッキ・A1の用紙サイズを変更する) 用紙を補給する場合は、多段デッキの用紙サイズ設定と、セットする用紙サイズがあっていることを確認してください。



用紙押さえのローラー部分よりも下に用紙をセットしてください。

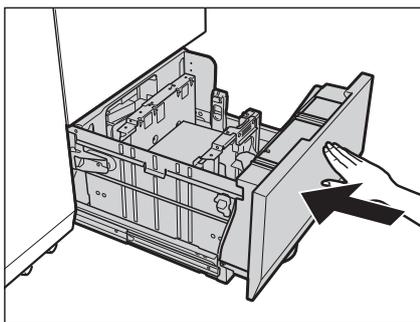


- 重要** 用紙をペーパーデッキにセットする際、後端規制板に強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。



- 重要**
- 用紙がカールしているときは、カールをなおしてからセットしてください。
 - 用紙の高さが積載制限表示  を越えないように注意してください。
- メモ**
- 用紙の包装紙に給紙面についての指示が書かれている場合は、その指示に従って用紙をセットしてください。
 - 多段デッキに用紙をセットする場合は、プリントする面を上にしてセットしてください。
 - プリントするときに不具合が生じた場合は、用紙を裏返してセットしなおしてください。ただし、エンボス紙、片面コート紙や表裏が異なる印字済み紙の場合は裏返せません。新しい用紙に交換してください。
 - 厚い用紙束を一度にセットすると、用紙の端の傷やめくれにより印字不良の原因になることがあります。用紙は高さ20 mm以下の束にわけてセットしてください。

5 ペーパーデッキをカチッと音がするまで静かに本体に押し込みます。



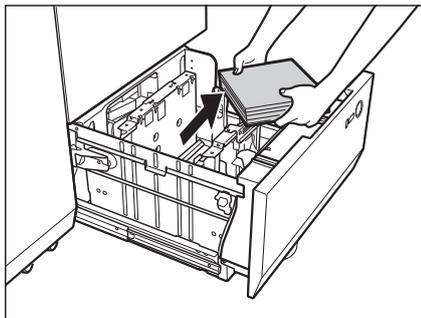
リフターが自動的に上がり、プリントできる状態になります。

- 注意** ペーパーデッキを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。
- 重要** 積載制限枚数を超えたり、ペーパーデッキが確実に閉じられていないと、コピーやプリントができません。ペーパーデッキが確実にセットされているか確認してください。用紙を入れすぎている場合は、積載制限の表示まで用紙を減らしてください。
- メモ** 用紙切れでプリント動作が中断されたときは、用紙補給後、タッチパネルディスプレイに表示されるメッセージに従って操作してください。本製品はプリント動作を再開します。

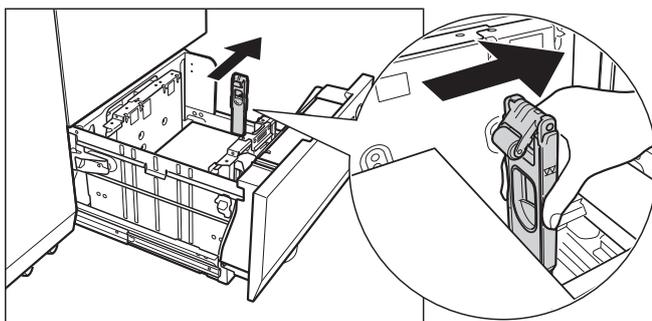
多段デッキ・A1 の用紙サイズを変更する

多段デッキ・A1 の用紙サイズを変更する方法について説明します。

- 1 用紙サイズを変更するペーパーデッキのオープンボタンを押して、ペーパーデッキを引き出します。後端規制板を用紙にかからないところまで広げ、紙押さえ板を上げて、セットされている用紙をすべて取り出します。

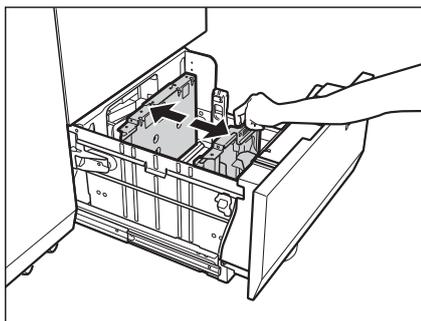


後端規制板は、図のようにレバーをつまんでスライドさせます。

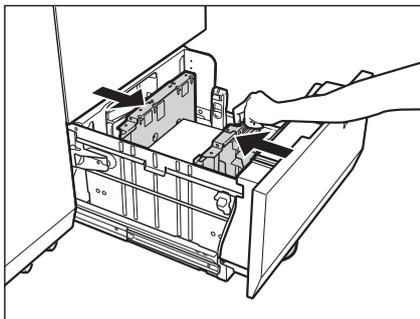


メモ 使用状況によってはオープンボタンを押しても、デッキが開くのにしばらくかかる場合があります。

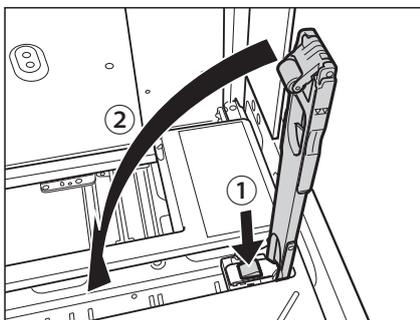
- 2 図のようにレバーをつまみ、サイド規制板（手前）、サイド規制板（奥）をスライドさせ、セットする用紙に掛からない所まで広げます。



- 3** 変更したいサイズの内紙を 10 mm 位の高さまでセットします。レバーをつまみ、サイド規制板（手前）とサイド規制板（奥）をスライドさせ、用紙サイズにあわせます。

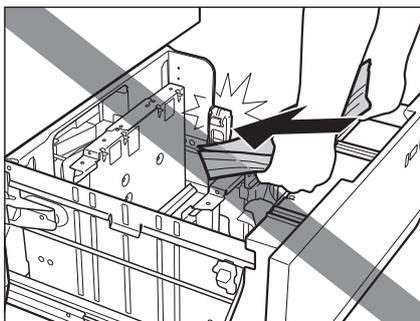


搬送方向に対して平行な辺の長さが 457.2 mm より大きな用紙をセットする場合は、後端規制板のボタンを押して、後端規制板を倒します。



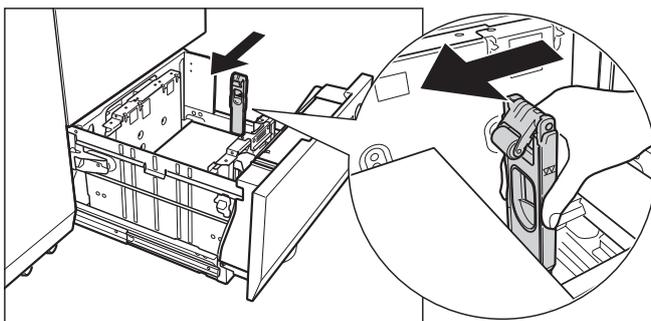
後端規制板を倒した場合は、手順 6 に進みます。

- 重要** 用紙をペーパーデッキにセットする際、後端規制板に強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。



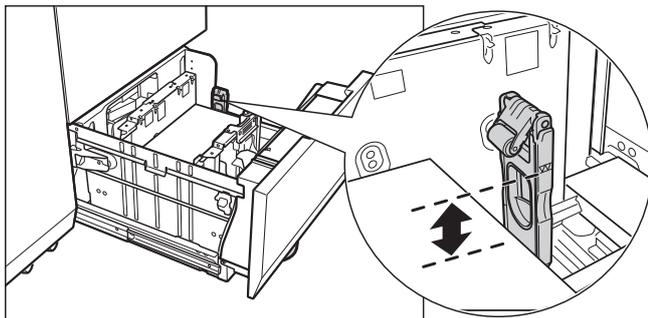
- 重要** 紙づまりやプリントの汚れ、本製品内部の汚れの原因になりますので、用紙サイズに必ず正しくあわせてください。

- 4** 図のように後端規制板をスライドさせ、セットする用紙サイズにあわせます。



5 変更したいサイズの残りの用紙をすべてペーパーデッキにセットします。

後端規制板の積載制限よりも下に用紙をセットしてください。

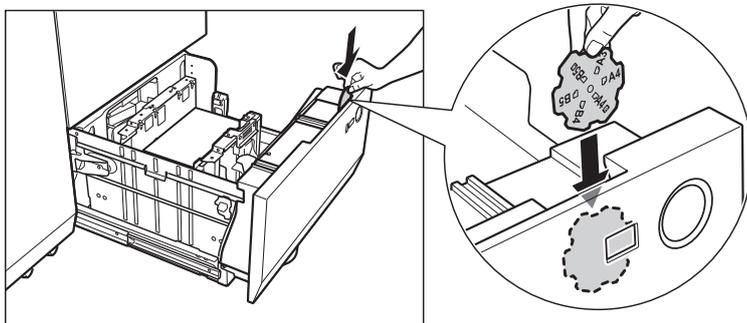


注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

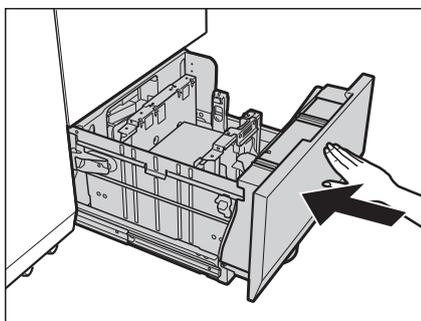
- 重要**
- 用紙がカールしているときは、カールをなおしてからセットしてください。
 - 用紙の高さが積載制限表示  を越えないように注意してください。
 - 用紙をセットしたペーパーデッキの横の空いている部分には、用紙や用紙以外のものを入れないでください。紙づまりの原因になる場合があります。

- メモ**
- 用紙の包装紙に給紙面についての指示が書かれている場合は、その指示に従って用紙をセットしてください。
 - 多段デッキに用紙をセットする場合は、プリントする面を上にしてセットしてください。
 - プリントするときに不具合が生じた場合は、用紙を裏返してセットしなおしてください。ただし、エンボス紙、片面コート紙や表裏が異なる印字済み紙の場合は裏返せません。新しい用紙に交換してください。
 - 厚い用紙束を一度にセットすると、用紙の端の傷やめくれにより印字不良の原因になることがあります。用紙は高さ20 mm以下の束にわけてセットしてください。

6 ペーパーデッキのサイズプレートを変更後の用紙サイズにあわせます。



7 ペーパーデッキをカチッと音がするまで静かに本体に押し込みます。



リフターが自動的に上がり、プリントできる状態になります。

注意 ペーパーデッキを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

インサーター・H1 (オプション)

インサーター・H1 のインサーターへ給紙する方法について説明します。

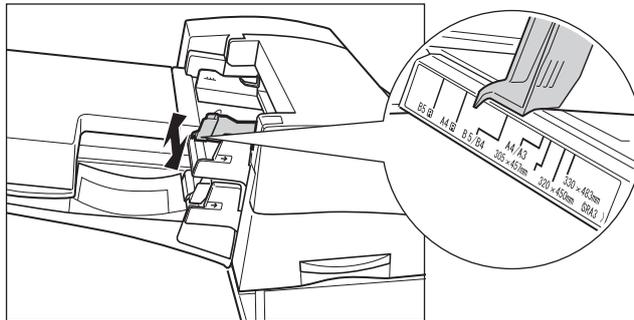
インサーター・H1 に用紙をセットする

インサーター・H1 には次のように用紙をセットしてください。

1 セットする用紙にあわせて、スライドガイドを調節します。

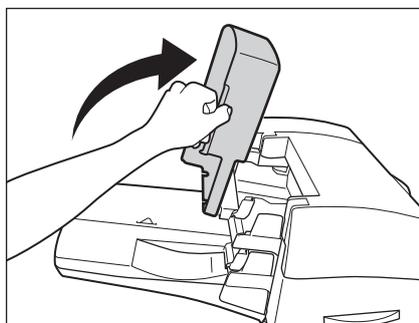
● 上段トレイを使用する場合：

- スライドガイドを調整します。

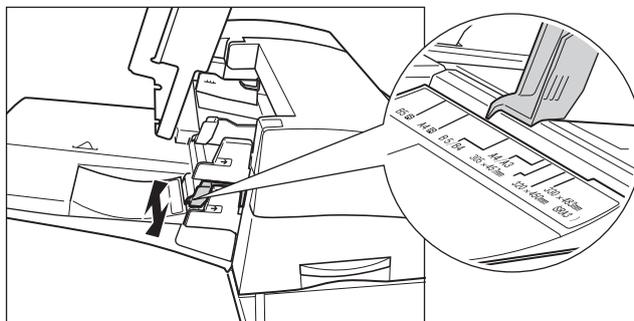


● 下段トレイを使用する場合：

- トレイカバーを開きます。



- スライドガイドを調整します。

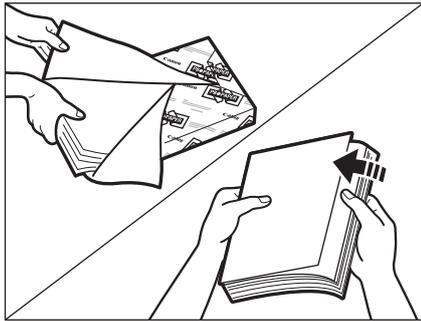


2 包装紙を開いて、用紙を取り出します。

⚠ 注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

📌 重要 残った用紙は包装紙に包み、湿気が少なく直射日光の当たらない場所に保管してください。

- 📝 メモ**
- インデックス紙をセットする方法については、「インデックス紙をセットする」(→ P.1-8)を参照してください。
 - 快適なプリント結果を得ていただくため、キヤノン推奨用紙のご使用をおすすめします。
 - 用紙をセットするときは、給紙されやすくするために数回さばき、用紙の端をそろえてからセットしてください。また、包装紙を開いて取り出した用紙は、束ごとさばいてください。



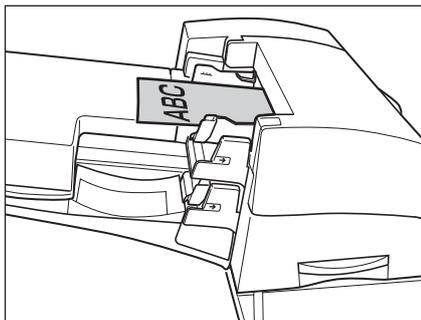
3 用紙をインサーターにセットします。

📌 重要 用紙の高さが積載制限表示  を越えないように注意してください。

- 📝 メモ**
- インサーターにセットした用紙にコピー／プリントすることはできません。
 - セットできる用紙は、330 × 483 mm、320 × 450 mm (SRA3)、305 × 457 mm、A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、ユーザー設定サイズ (182.0 × 182.0 mm ~ 330.2 × 487.7 mm) です。
 - 一度にセットできる枚数は、200枚 (80 g/m²の場合) です。

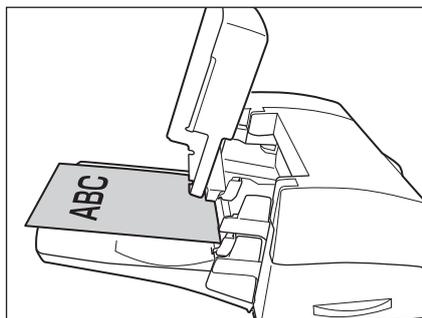
● 上段トレイにセットする場合：

- オモテ面となる面が上向きになるようにセットします。



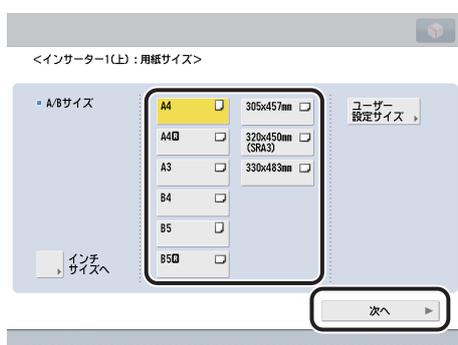
● 下段トレイにセットする場合：

- オモテ面となる面が上向きになるようにセットします。



- トレイカバーを閉じます。

4 用紙サイズを選択したあと、[次へ] を押します。



重要 用紙サイズはインサーターにセットした用紙と同じサイズを選択してください。

メモ インチサイズを選択する場合は、「インチサイズへ」を押します。

5 用紙の種類を選択したあと、[OK] を押します。

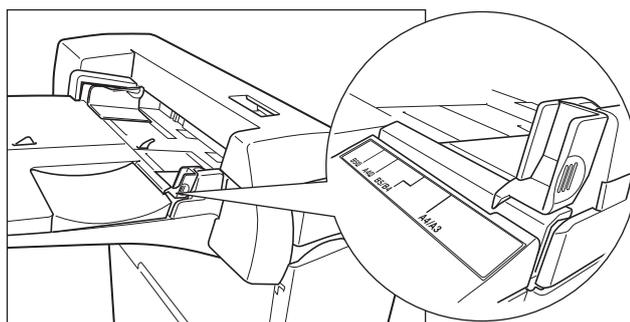
ペーパーフォールディングインサーターユニット・G1 (オプション)

ペーパーフォールディングインサーターユニット・G1 のインサーターへ給紙する方法について説明します。

ペーパーフォールディングインサーターユニット・G1 に用紙をセットする

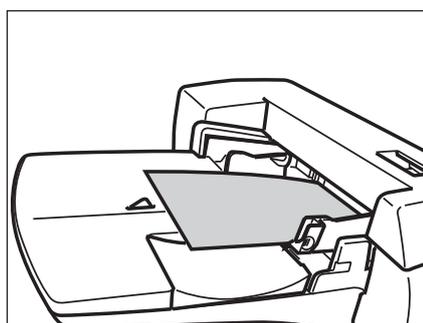
ペーパーフォールディングインサーターユニット・G1 には次のように用紙をセットしてください。

1 セットする用紙にあわせて、スライドガイドを調節します。

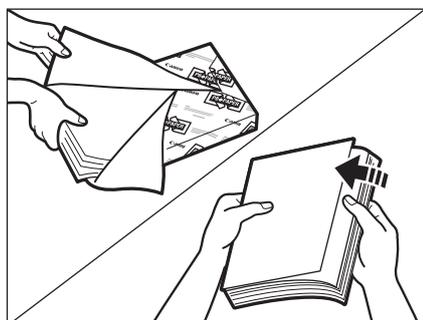


2 用紙をインサーターにセットします。

オモテ面となる面が上向きになるようにセットします。

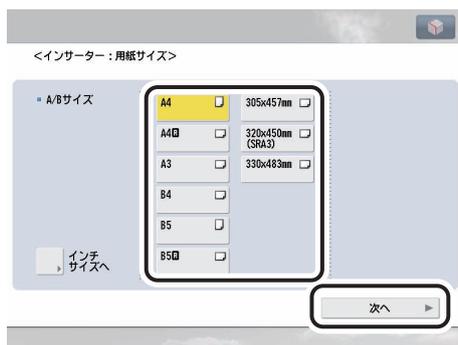


重要 複数枚の用紙をインサーターにセットする場合は、紙づまりを防ぐために紙束を数回さばき、用紙の端をそろえてからセットしてください。



- メモ**
- 表紙として使用する用紙をセットできます。
 - インサーターにセットした用紙にコピー／プリントすることはできません。
 - セットできる用紙は、330 × 483 mm、320 × 450 mm (SRA3)、305 × 457 mm、A3、B4、A4、A4R、B5、B5Rです。
 - 一度にセットできる枚数は、100枚 (80 g/m²の場合) です。

3 用紙サイズを選択したあと、[次へ] を押します。



重要 用紙サイズはインサーターにセットした用紙と同じサイズを選択してください。

メモ インチサイズを選択する場合は、「インチサイズへ」を押します。

4 用紙の種類を選択したあと、[OK] を押します。

- 重要**
- 用紙の種類は必ず正しく設定してください。特に厚紙など、特別な種類の用紙にプリントする場合は正しく設定されていないと画像不良や定着器が汚れたり、紙の巻きつきや紙づまりが発生したりして、担当サービスによる修理が必要になる場合もありますので、必ず正しく設定してください。
 - 用紙の種類の詳細については、（→e-マニュアル>基本的な使い方）を参照してください。

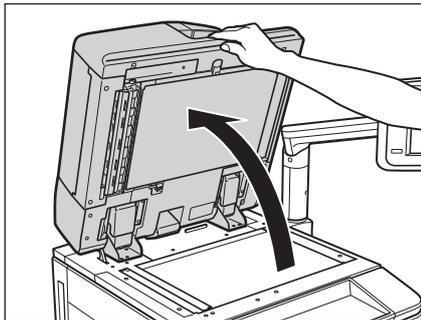
フィーダー

済スタンプがカスれてきたり、つかなくなったりしたときは、スタンプカートリッジを交換してください。

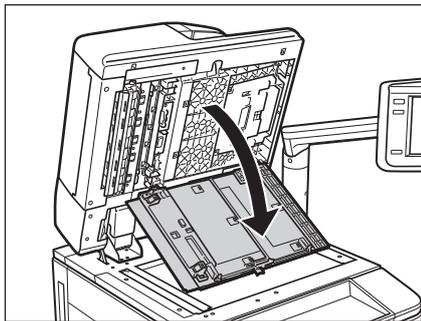
重要 スタンプカートリッジを交換するときは、インクで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。

スタンプカートリッジを交換する

1 フィーダーを開きます。

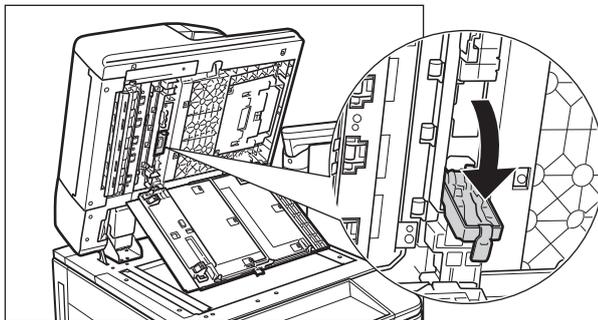


2 フィーダー上部のレバーを引いてフィーダー原稿読み取り部のカバーを開きます。

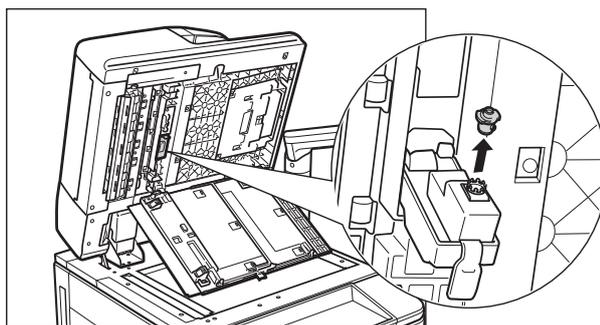


注意 フィーダー原稿読み取り部のカバーは、静かに開いてください。原稿台ガラスを傷つける恐れがあります。

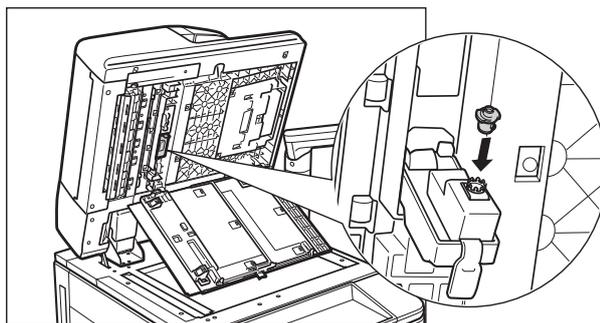
3 スタンプカバーを開きます。



4 ピンセットを使って古いスタンプカートリッジを取り外します。

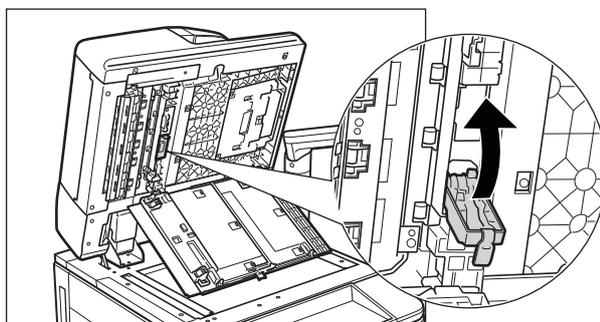


5 ピンセットを使って新しいスタンプカートリッジをカチッと音がするまで押し込みます。



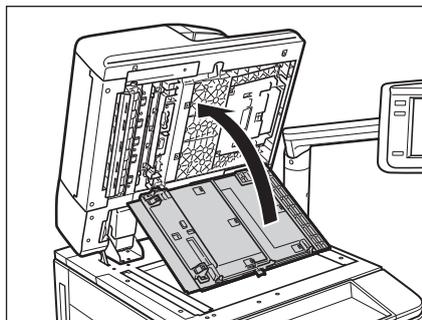
- 重要**
- スタンプカートリッジが傾かないようにセットしてください。
 - スタンプカートリッジを正規の位置にセットしていないと紙づまりの原因になる可能性があります。

6 スタンプカバーを閉じます。



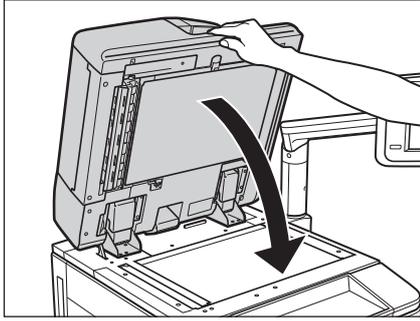
- 注意** カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

7 フィーダー原稿読み取り部のカバーをカチッと音がするまで閉じます。



- 注意** カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

8 フィーダーを閉じます。



- ▲注意**
- フィーダーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。
 - フィーダーを閉じる場合は、ランプが光りまぶしいことがあるので注意してください。

ステイプルフィニッシャー・A1 (LP) / 中綴じフィニッシャー・A1 (LP) / パンチャーユニット・BE1 / インナートリマー・A1 (オプション)

ステイプルフィニッシャー・A1 (LP) / 中綴じフィニッシャー・A1 (LP) の針ケースを交換する方法や、断裁屑の処理、パンチャーユニット・BE1 のパンチ屑の処理などについて説明します。

ホチキスユニット針ケースの交換

ステイプルフィニッシャー・A1 (LP) / 中綴じフィニッシャー・A1 (LP) でホチキスユニットのカートリッジの針が残り少なくなると、タッチパネルディスプレイに針の交換を促す画面が表示されます。以下の手順に従って、針ケースを交換してください。

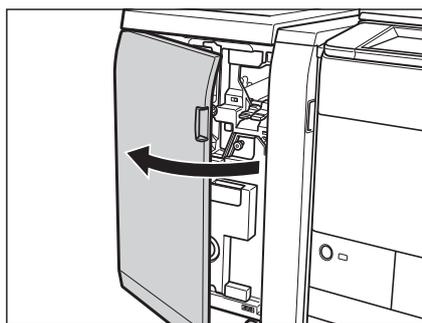
針ケースは必ず本製品専用のものを使用してください。(e-マニュアル>オプションについて (imageRUNNER ADVANCE C9075 PRO/C9065 PRO))



- 重要** • 針ケースの交換、断裁屑の処理、パンチ屑の処理、紙づまりや針づまりを取り除くために、装着しているオプション機器のカバーを開けている状態でも、正常に動作しているオプション機器へのコピー/プリントの出力は行われる場合があります。装着しているオプション機器のお取り扱いにはご注意ください。
- 針ケースの針を束ねているオレンジ色のテープは、針カートリッジにセットしてから外してください。

メモ 針ケースはなくなる前に販売店よりお求めになることをおすすめします。

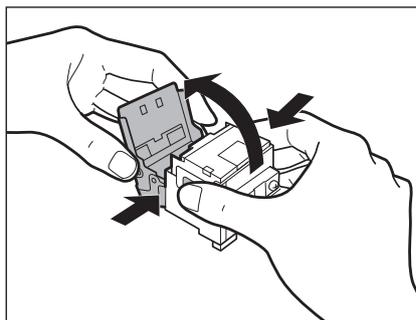
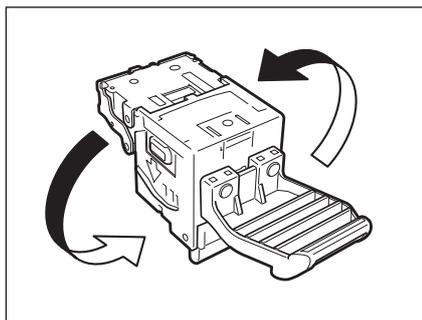
1 フィニッシャーの前カバーを開きます。



2 針カートリッジの上下 (緑色の部分) をつまんで引き出します。

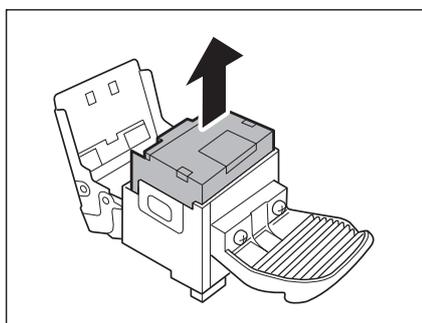


3 針カートリッジを裏返して、両側の「PUSH」部を押しながら、カバーを開けます。

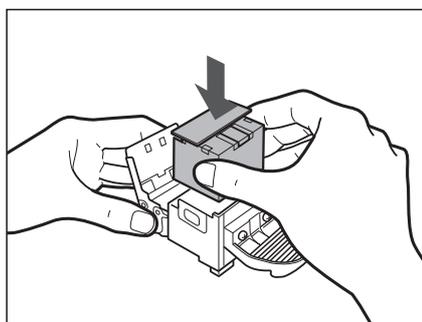


- メモ**
- 針が残っている場合は両側の「PUSH」部を押してもカバーは開きません。
 - 針カートリッジの向きを図のようにしてから行います。

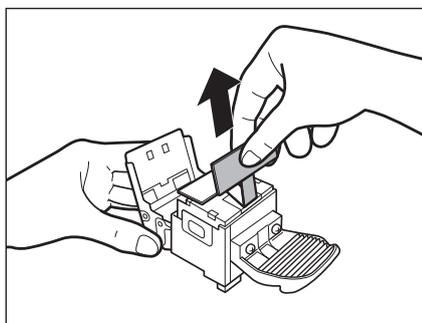
4 針ケースを取り出します。



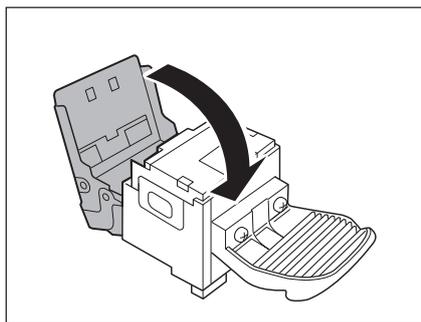
5 カチッと音がするまで押して、新しい針ケースをセットします。



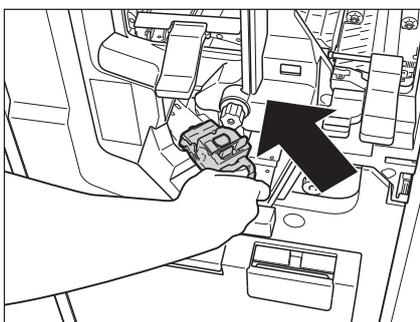
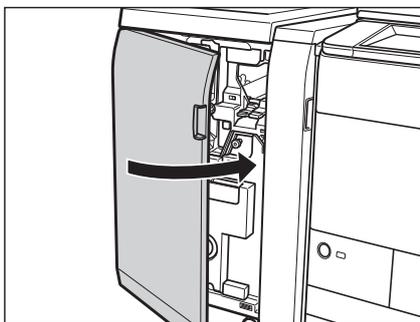
6 針をとめてあるシールをまっすぐに引き抜きます。



- 重要** 斜めに引くとテープが途中で切れる恐れがあります。必ずまっすぐ引き抜いてください。

7 針カートリッジのカバーを閉じます。**8** 針カートリッジを元の位置に押し込みます。

針カートリッジは、奥まで挿入したことを必ず確認してください。

**9** フィニッシャーの前カバーを閉じます。

⚠ 注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

断裁屑の処理

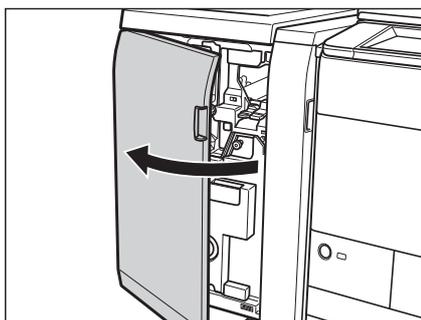
断裁屑がいっぱいになると、タッチパネルディスプレイに断裁屑の処理を促す画面が表示されます。画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下に示す手順に従って断裁屑を処理してください。



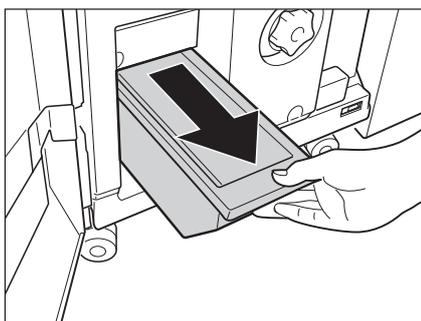
- 重要**
- 針ケースの交換、断裁屑の処理、パンチ屑の処理、紙づまりや針づまりを取り除くために、装着しているオプション機器のカバーを開けている状態でも、正常に動作しているオプション機器へのコピー／プリントの出力は行われる場合があります。装着しているオプション機器のお取り扱いにはご注意ください。
 - 断裁屑がいっぱいになると、断裁設定をしてコピー／プリントすることができません。

メモ この処理はインナートリマー・A1 を中綴じフィニッシャー・A1 (LP) に装着時のみ行います。

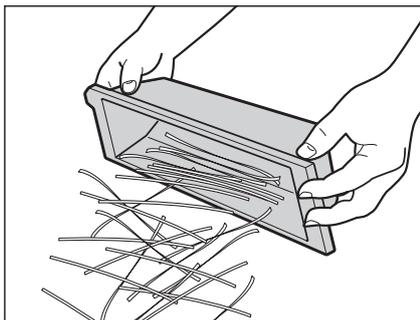
1 フィニッシャーの前カバーを開きます。



2 切り屑入れを引き出します。



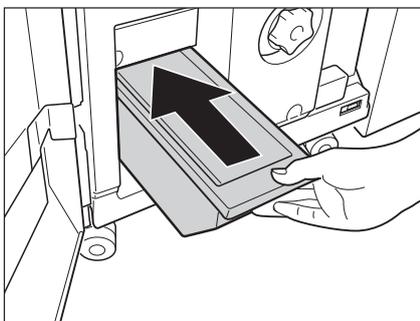
3 断裁屑を捨てます。



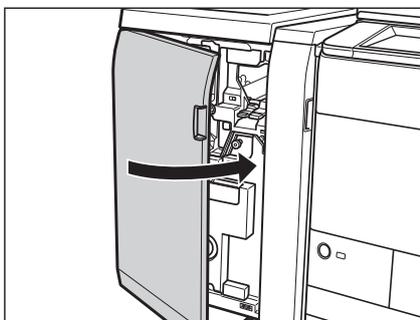
メモ 断裁屑は残らず捨ててください。

4 切り屑入れを戻します。

切り屑入れは、奥まで挿入したことを必ず確認してください。



5 フィニッシャーの前カバーを閉じます。



注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

中とじユニット針カートリッジの交換

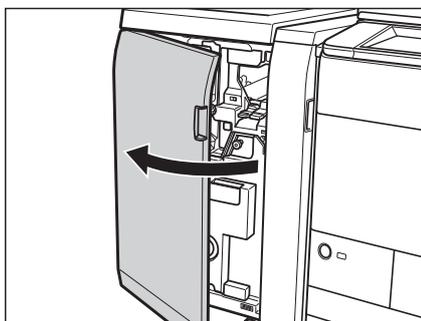
中とじユニットのカートリッジの針が残り少なくなり、針カートリッジの交換が必要になると、タッチパネルディスプレイに針の交換を促す画面が表示されます。以下の手順に従って針カートリッジを交換してください。

針ケースは必ず本製品専用のものを使用してください。(→ e-マニュアル>オプションについて (imageRUNNER ADVANCE C9075 PRO/C9065 PRO))

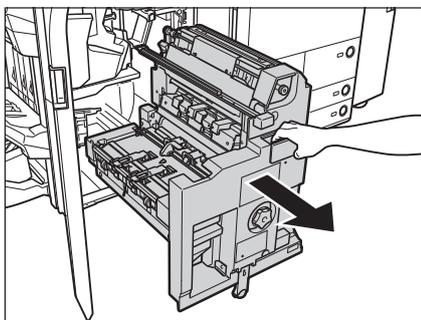


- 🔔 **重要**
 - 針ケースの交換、断裁屑の処理、パンチ屑の処理、紙づまりや針づまりを取り除くために、装着しているオプション機器のカバーを開けている状態でも、正常に動作しているオプション機器へのコピー/プリントの出力は行われる場合があります。装着しているオプション機器のお取り扱いにはご注意ください。
 - 中とじユニット針ケースの交換を行う前に、製本トレイに排紙された用紙をすべて取り除いてください。
- 📌 **メモ**
 - この処理は中綴じフィニッシャー・A1 (LP) 装着時のみ行います。
 - 針カートリッジはなくなる前に販売店よりお求めになることをおすすめします。

1 フィニッシャーの前カバーを開きます。



2 中とじユニット (F-C5) を引き出します。

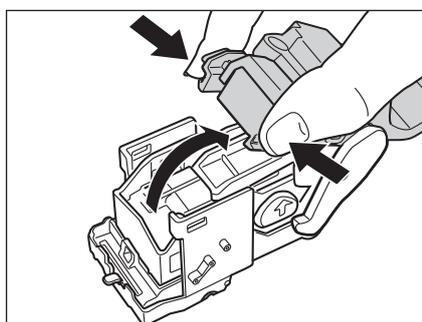


3 中とじユニットの中とじ針カートリッジを取り出します。



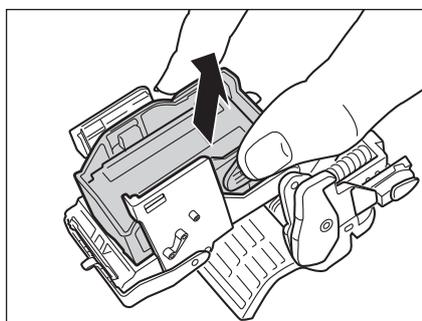
4 中とじ針カートリッジの両側の水色の部分を押し、カバーを開きます。

針ケースの左右両側を押さえて、持ち上げて外します。

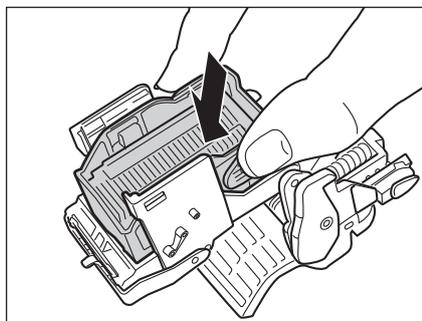


5 針ケースの左右両側を押さえて、持ち上げて外します。

手順4の矢印で示された箇所（および反対側の同箇所）をつまんで空の針ケースを外します。

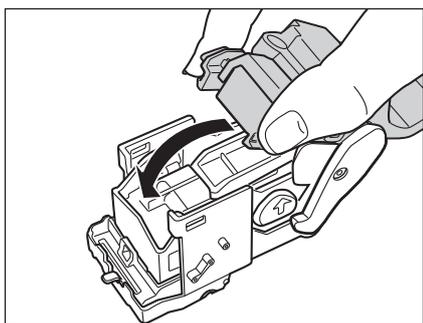


6 カチッと音がするまで押し込んで、新しい針ケースをセットします。



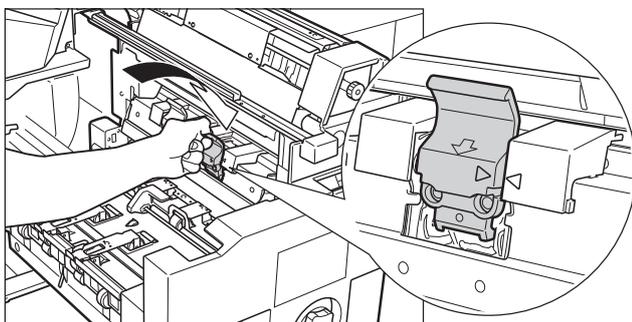
重要 針ケースを交換する場合は、手前側と奥側の両方とも交換してください。

7 中とじ針カートリッジのカバーを閉じます。



8 中とじユニットの中とじ針カートリッジを元に戻します。

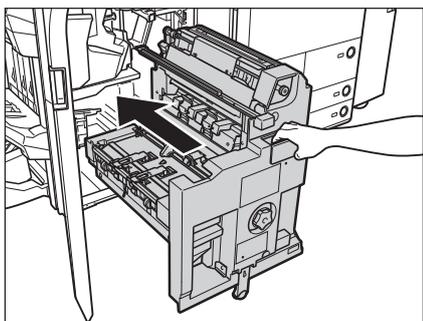
針カートリッジを戻したとき、針カートリッジを図のようにセット位置の印が揃うまで差し込まれているか必ず確認してください。



メモ 手順3から7にしたがって、中とじユニットのもう一方の針ケースを交換します。

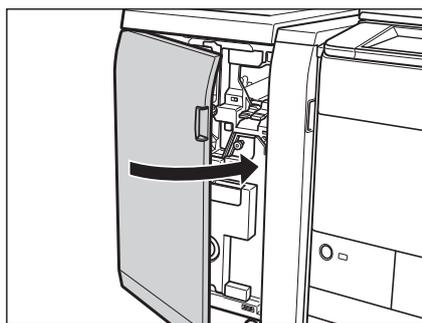
9 中とじユニットを奥まで押し込みます。

中とじユニットは、奥まで挿入したことを必ず確認してください。



注意 中とじユニットを元の位置に戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

10 フィニッシャーの前カバーを閉じます。



▲注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

パンチ屑の処理

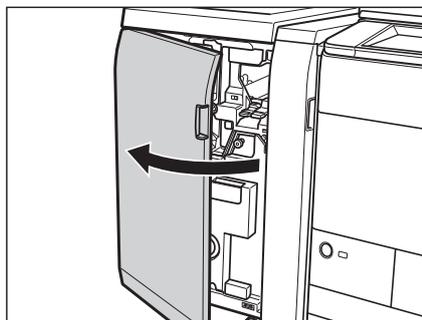
パンチ屑がいっぱいになると、タッチパネルディスプレイにパンチ屑の処理を促す画面が表示されます。画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下に示す手順に従ってパンチ屑を処理してください。



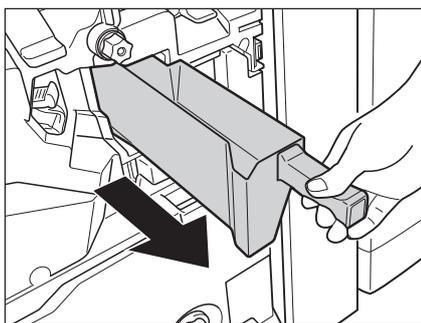
- 📌重要**
- 針ケースの交換、断裁屑の処理、パンチ屑の処理、紙づまりや針づまりを取り除くために、装着しているオプション機器のカバーを開けている状態でも、正常に動作しているオプション機器へのコピー／プリントの出力は行われる場合があります。装着しているオプション機器のお取り扱いにはご注意ください。
 - パンチ屑がいっぱいになると、パンチ設定をしてコピー／プリントすることができません。

📌メモ この処理はパンチャーユニット・BE1 装着時のみ行います。

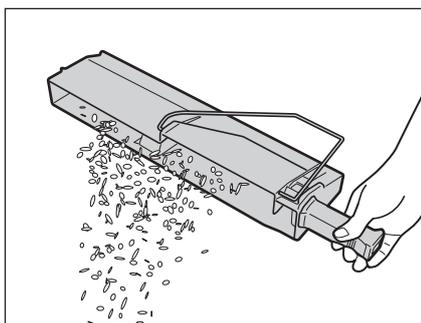
1 フィニッシャーの前カバーを開きます。



2 パンチ屑入れを引き出します。



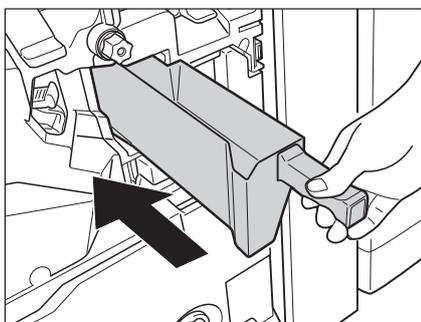
3 パンチ屑を捨てます。



メモ パンチ屑は残らず捨ててください。

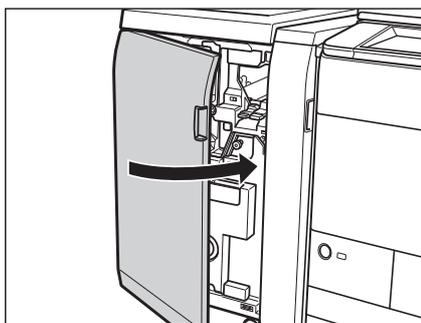
4 パンチ屑入れを戻します。

パンチ屑入れは、奥まで挿入したことを必ず確認してください。



メモ パンチ屑入れを確実に戻さないと、パンチ設定してコピー／プリントすることができません。

5 フィニッシャーの前カバーを閉じます。



注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

ステイプルフィニッシャー・B1 / 中綴じフィニッシャー・B1 / 外付け2穴パンチャー・A1 (オプション)

ステイプルフィニッシャー・B1 / 中綴じフィニッシャー・B1 の針ケースまたは針カートリッジを交換する方法と、外付け2穴パンチャー・A1 のパンチ屑の処理について説明します。

ホチキスユニット針ケースの交換

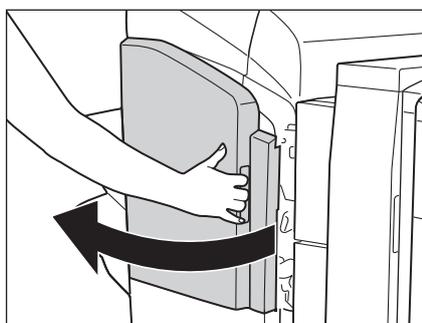
ステイプルフィニッシャー・B1 / 中綴じフィニッシャー・B1 でホチキスユニットのカートリッジの針が残り少なくなり、針ケースの交換が必要になると、タッチパネルディスプレイに針の交換を促す画面が表示されます。以下の手順に従って、ホチキスユニット針ケースを交換してください。

針ケースは必ず本製品専用のものを使用してください。(→ e-マニュアル > オプションについて (image RUNNER ADVANCE C7065/C7055))

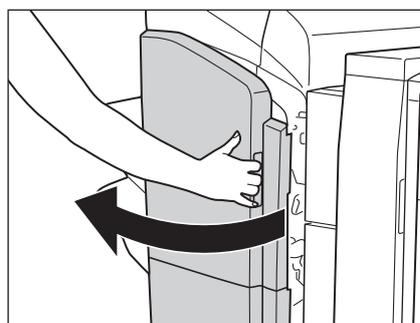


- メモ**
- 針ケースはなくなる前に販売店よりお求めになることをおすすめします。
 - 針ケースの針を束ねているオレンジ色のテープは、針カートリッジにセットしてから外してください。

1 フィニッシャーの前カバーを開きます。

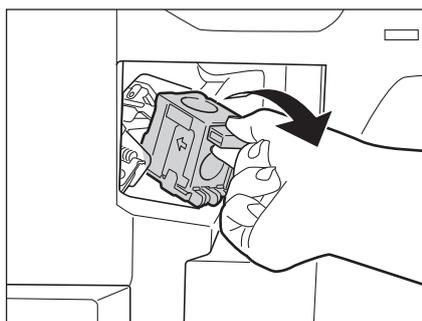


ステイプルフィニッシャー・B1

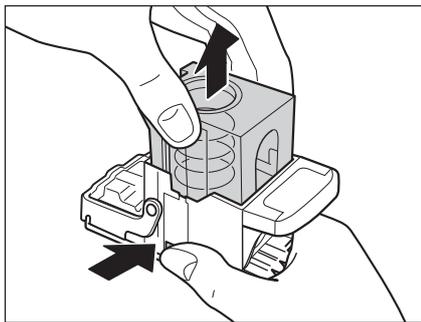


中綴じフィニッシャー・B1

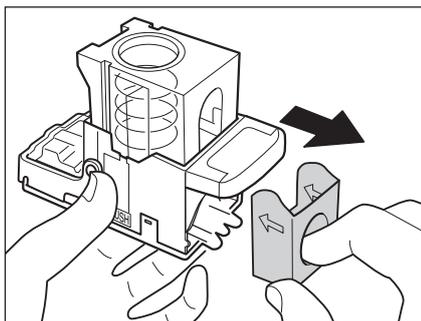
2 針カートリッジの上下 (緑色の部分) をつまんで引き上げてから引き出します。



3 針カートリッジの左右の「PUSH」部を押して針ケースを引き上げます。

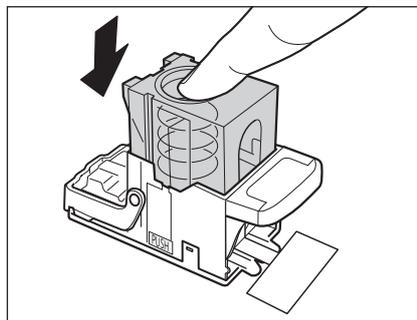
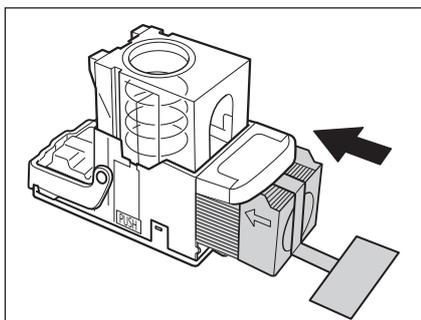


4 針ケースを取り外します。



5 新しい針ケースをセットします。

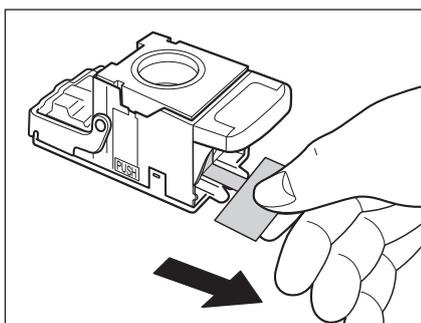
針カートリッジのバネがカチッと音がするまで指で押し込んでください。



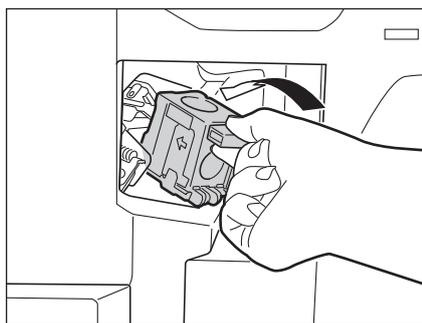
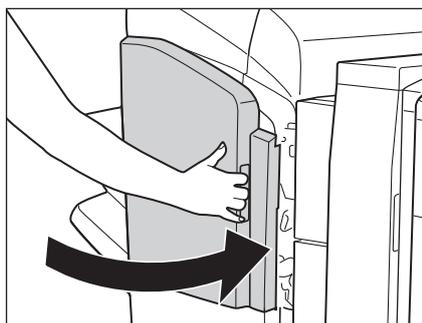
- 重要** • 針ケースは必ず本製品専用のものを使用してください。
- 針をとめてあるテープは、カートリッジにセットする前にはがさないでください。

メモ 一度にセットできる針ケースは1個までです。

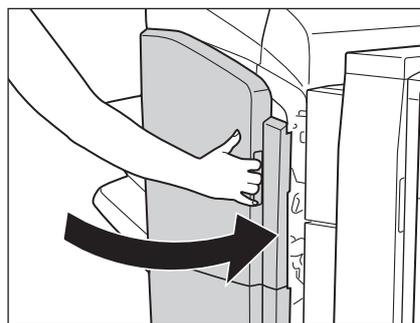
6 針をとめてあるテープをまっすぐに引き抜きます。



- 重要** 斜めに引くとテープが途中で切れる恐れがあります。必ずまっすぐ引き抜いてください。

7 針カートリッジをしっかりと押し込みます。**8** フィニッシャーの前カバーを閉じます。

ステイブルフィニッシャー・B1



中綴じフィニッシャー・B1

⚠ 注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

📝 メモ カバーを閉じると、自動的に数回空うちして、針の頭出しを行う場合があります。

中とじユニット針カートリッジの交換

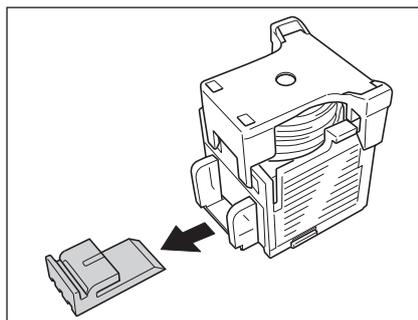
中とじユニットのカートリッジの針が残り少なくなり、針カートリッジの交換が必要になると、タッチパネルディスプレイに針の交換を促す画面が表示されます。以下の手順に従って、針カートリッジを交換してください。

針カートリッジは必ず本製品専用のものを使用してください。(→e-マニュアル>オプションについて (image RUNNER ADVANCE C7065/C7055))

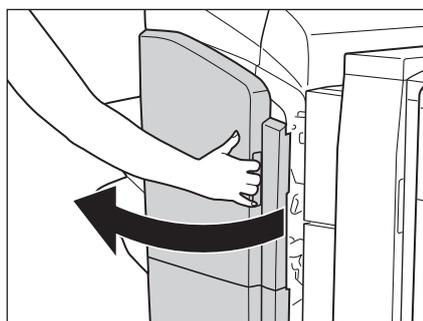


重要 中とじユニット針カートリッジの交換を行う前に、製本トレイに排紙された用紙をすべて取り除いてください。

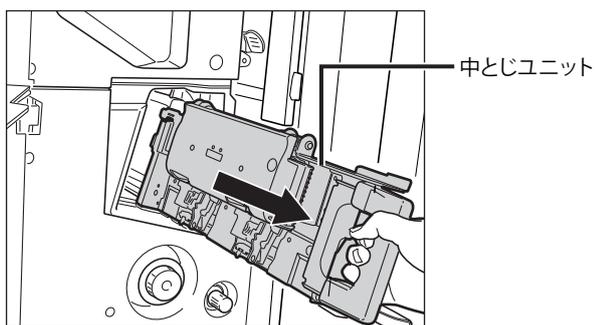
- メモ**
- この処理は中綴じフィニッシャー・B1装着時のみ行います。
 - 針カートリッジはなくなる前に販売店よりお求めになることをおすすめします。
 - 針カートリッジをセットする前に、先端の黒いパーツを取り外してください。



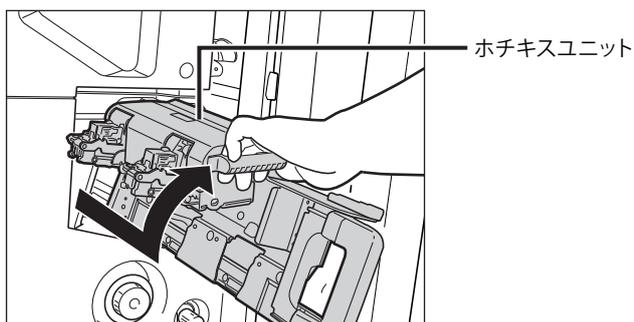
1 フィニッシャーの前カバーを開きます。



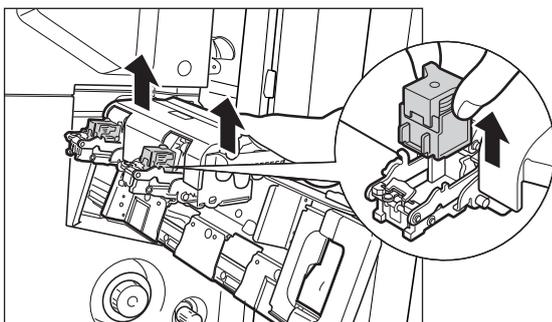
- 2** 中とじユニットの取っ手を持ち、止まるまで引き出します。



- 3** 中とじユニットのホチキスユニットを一度手前に引いたあと起こします。

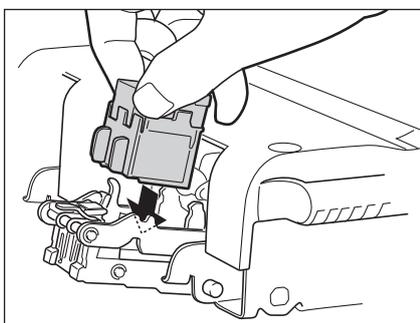


- 4** 空になった針カートリッジの左右をつまんで取り外します。



- 5** 新しい針カートリッジをセットします。

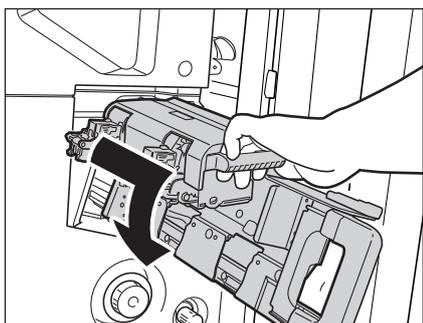
針カートリッジは、カチッと音がするまで押し込んでください。



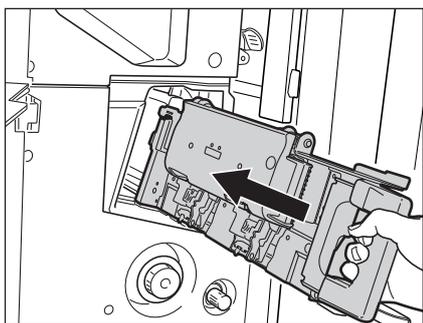
重要 針ケースを交換する場合は、手前側と奥側の両方とも交換してください。

メモ 一度にセットできる針カートリッジは1個までです。

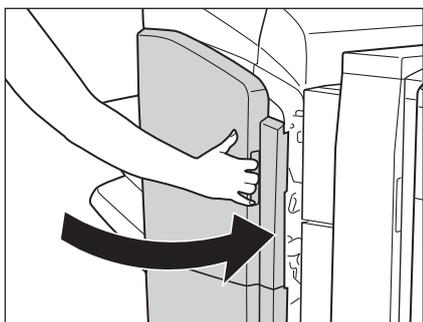
- 6 中とじユニットのホチキスユニットを一度手前に引いて元に戻します。



- 7 中とじユニットを押し戻します。



- 8 フィニッシャーの前カバーを閉じます。



▲注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

📌重要 針カートリッジの交換が終了したら、針の頭出しを必ず行ってください。(→ e-マニュアル > 設定 / 登録)

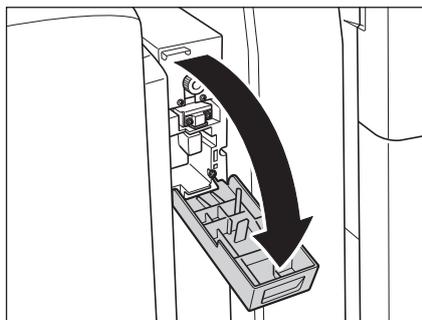
パンチ屑の処理

パンチ屑がいっぱいになると、タッチパネルディスプレイにパンチ屑の処理を促す画面が表示されます。画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下に示す手順に従ってパンチ屑を処理してください。

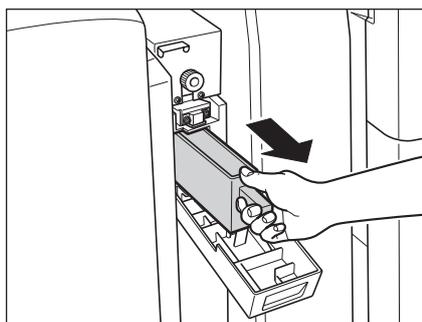


メモ この処理は、外付け2穴パンチャー・A1 装着時のみ行います。

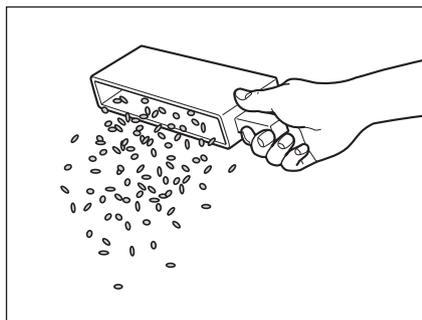
1 パンチャーの前カバーを開きます。



2 パンチ屑入れを引き出します。

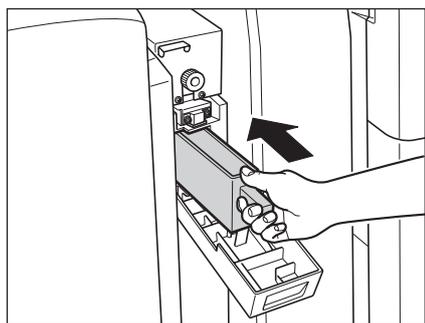


3 パンチ屑を捨てます。



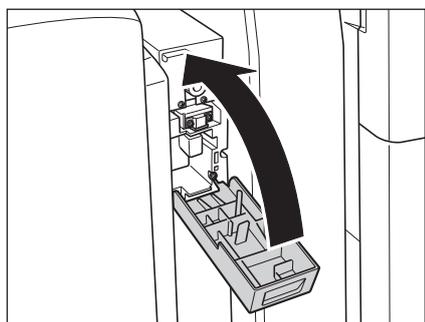
メモ パンチ屑は残らず捨ててください。

4 パンチ屑入れを戻します。



メモ パンチ屑入れを確実に戻さないと、パンチ設定をしてコピー／プリントすることができません。

5 パンチャーの前カバーを閉じます。



注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

トナー容器の交換

トナーが残り少なくなると、タッチパネルディスプレイに「トナー容器（ブラック）の準備が必要です。（継続プリント可）」というメッセージが表示されます。まだプリントすることはできますが、表示された色のトナー容器を用意してください。

「トナー容器（ブラック）を交換してください。（継続プリント可）」または「トナー容器を交換してください（ブラック）」というメッセージが表示されているときは、画面右下の [] を押して表示された色のトナー容器を交換してください。

ブラックトナー、またはすべてのトナーがなくなりプリントできない状態になると、タッチパネルディスプレイに交換方法が表示されます。このようなときは、次の手順に従ってトナー容器を交換してください。[閉じる] を押した場合は、トナーをすぐに交換しなくてもモードの設定、原稿の読み込みなどの操作は続けることができます。

警告 トナー容器は絶対に火の中に入れてください。爆発の恐れがあり大変危険です。

注意

- トナー容器は幼児の手の届かないところへ保管してください。もしトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
- トナーが衣服や手に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着して、汚れがとれなくなることがあります。

重要

- トナー容器は必ず本製品専用のものを使ってください。
- トナー容器の交換は、トナー容器交換のメッセージが表示されてから行ってください。
- トナー容器の交換は、本製品のプリント中にも行うことができます。
- 交換するトナーの色はタッチパネルディスプレイに表示されます。複数のトナー容器を交換する必要がある場合は、ブラック、イエロー、マゼンタ、シアンの順にトナー容器を交換します。
- シアン、マゼンタ、イエローのいずれかのトナーがなくなったあとで白黒コピー／プリントを行う場合は、空になったトナー容器を抜かないでください。
- 警告画面が表示されるようにするには、環境設定（設定／登録）の [トナー残量の警告画面を表示する] で設定してください。表示された警告画面を消去するには、[トナー残量の警告表示を消去する] で設定してください。（→e-マニュアル>設定/登録）

メモ

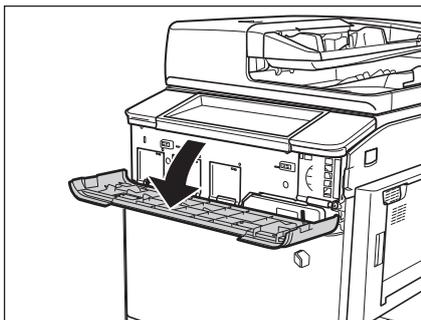
「トナー容器（ブラック）の交換が必要です。（継続プリント可）」というメッセージが表示されたときのトナー残量は、imageRUNNER ADVANCE C9075 PRO をお使いの方は総量の約 20% imageRUNNER ADVANCE C9065PRO/C7065/C7055 をお使いの方は約 10% です。トナーがなくなる前に、表示された新しいトナー容器を用意してください。

- タッチパネルディスプレイに表示される [前の手順へ]、[次の手順へ] を押して、交換方法を確認できます。
- トナーがなくなり中断したプリントジョブは、トナー容器交換後自動的に再開します。
- ブラックのトナーが残っている場合は、白黒コピー／プリントを行うことができます。ただし、シアン、マゼンタ、イエローのいずれかのトナーがなくなったため中断したジョブがある場合は、中断したジョブとは異なるファンクションのみ白黒コピー／プリントを行うことができます。
- トナー容器交換後にコピー／プリントの色がトナー容器交換前と異なる場合は、調整/メンテナンス（設定／登録）の [自動階調補正] で色を調整してください。（→e-マニュアル>設定/登録）

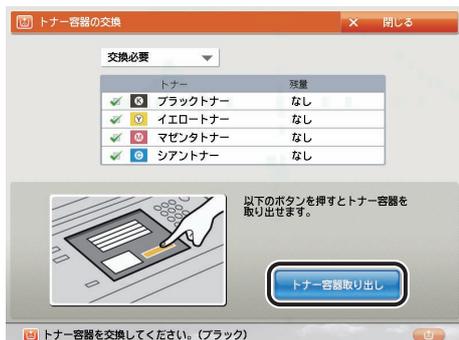
1 [] を押します。

メモ ブラックトナー、またはすべてのトナーがなくなった場合は、この手順は必要ありません。

2 トナー交換カバーの左右を持って開きます。



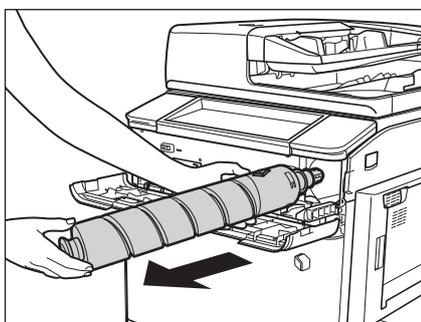
3 操作パネルに表示される画面から交換するトナーの色を選択して、[トナー容器取り出し]を押します。



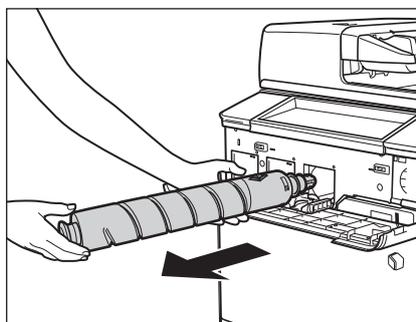
まだ中身が残っているトナーを選択すると、「継続して使用できるトナーが選択されています。よろしいですか?」というメッセージが表示されます。そのまま交換する場合には [はい] を、交換しない場合には [いいえ] を選択してください。



4 小カバーが自動的に開くのを待ってから、トナー容器を引き出します。



ブラックトナーの場合



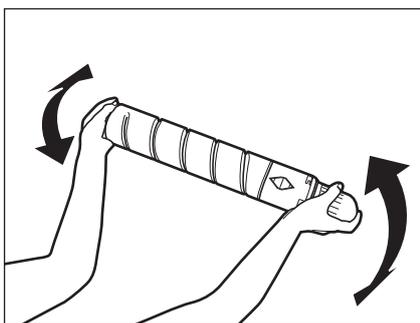
シアン、マゼンタ、イエローのトナーの場合

トナー交換カバーを閉じたなどの理由で小カバーが自動的に開かなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。もう一度手順1からやりなおしてください。

警告 使用済みのトナー容器を火中に投げないでください。トナー容器内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

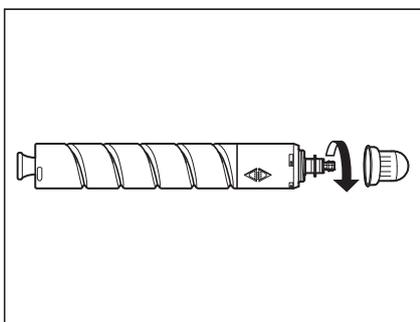
注意 小カバーを手動で開かないでください。無理に開こうとすると、破損する恐れがあります。

5 新しいトナー容器を図のように持ち、10回程度振ります。

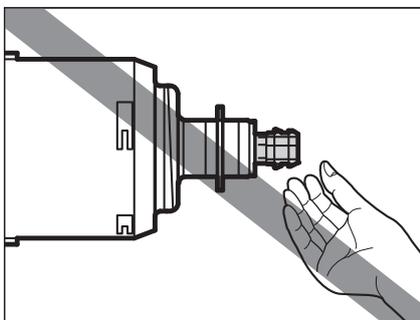


⚠注意 トナー容器の先端部に触れたり、何かにぶつけるなどの衝撃を与えることは絶対に避けてください。

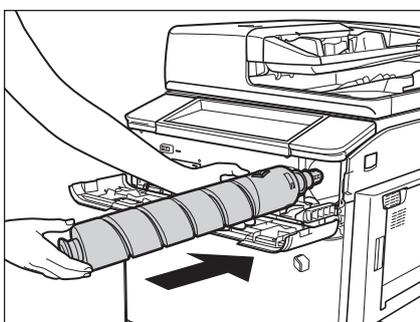
6 新しいトナー容器の保護キャップを、矢印の方向に回しながら外します。



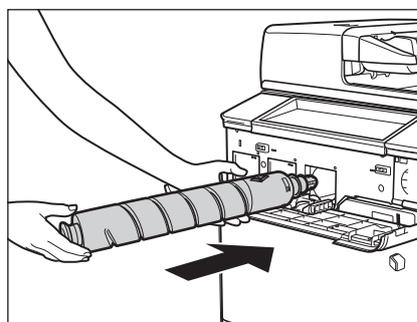
⚠注意 トナー容器の先端部に触れたり、何かにぶつけるなどの衝撃を与えることは絶対に避けてください。トナーが漏れることがあります。



7 新しいトナー容器を奥まで押し込みます。



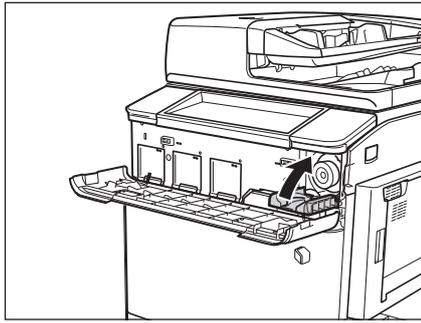
ブラックトナーの場合



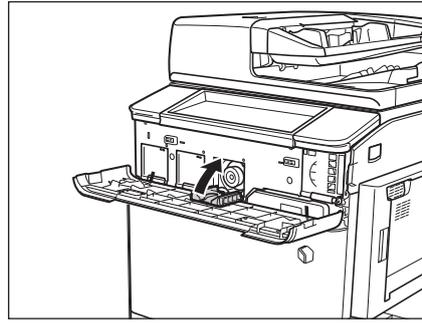
シアン、マゼンタ、イエローのトナーの場合

👉重要 トナー容器を交換するときは、トナー容器の色と小カバーのラベルの色が一致していることを確認してください。

8 小カバーを閉じます。



ブラックトナーの場合

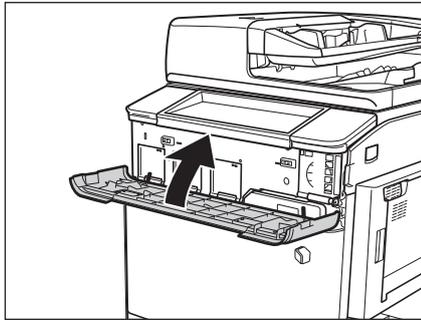


シアン、マゼンタ、イエローのトナーの場合

トナー容器が装着されていないと、小カバーは閉められません。

▲注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

9 トナー交換カバーを閉じます。



トナーの確認画面が表示されます。

▲注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

日常のお手入れ

原稿がきれいに読み取れないときは、次の箇所を清掃してください。快適なプリント結果を得ていただくため、約1か月に1回程度、清掃をお願いいたします。

- 原稿台ガラス
- フィーダー／フィーダー裏面
- ワイヤ部
- ローラー部
- ドラム部
- 操作パネル

- ⚠ 警告**
- 清掃のときは、主電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。
 - アルコールやシンナー、ベンジンなどの溶剤はプラスチック部を変質させることがあります。絶対に使わないでください。
 - 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで電源プラグを長期間差したままにすると、その周辺にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。

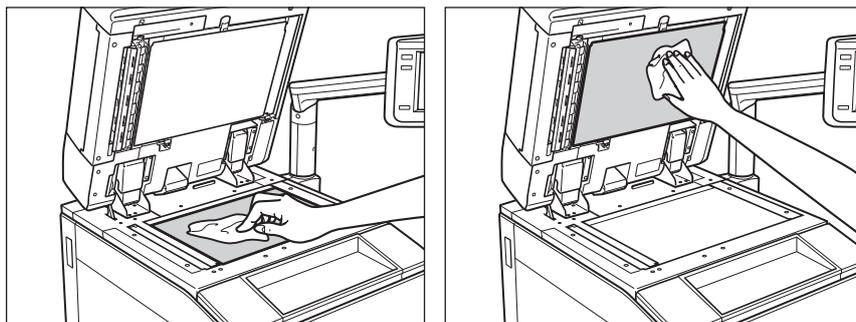
原稿台ガラス／フィーダー裏面を清掃する

以下の手順で、原稿台ガラスおよびフィーダー裏面の清掃をしてください。

- 👉 重要** 原稿台ガラス、フィーダー裏面が汚れていると原稿がきれいに読み取れなかったり、原稿のサイズを誤って検知することがあります。

- 📌 メモ** フィーダー裏面の清掃は、マルチカラーイメージリーダーユニット・A1を装着している場合のみ行います。

- 1** 水または中性洗剤を含ませて固く絞った布で原稿台ガラスとフィーダー裏面を清掃したあと、かわいた柔らかい布で、から拭きします。



- ⚠ 注意** 清掃のときは、水で濡らしすぎると原稿の破損や故障の原因になることがあります。

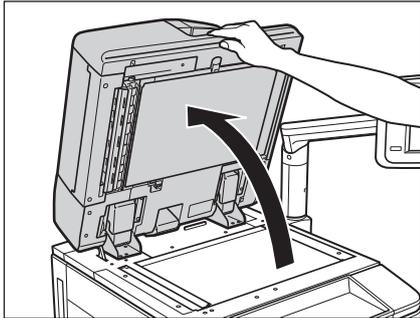
フィーダーの読み取り部を清掃する

フィーダーから給紙した原稿にスジ状の汚れがつく場合は、フィーダー原稿読み取り部やローラー部を清掃してください。

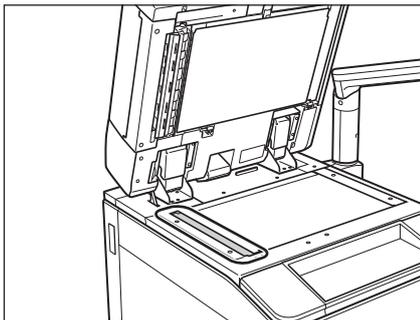
▲注意 清掃のときは、水で濡らしすぎると原稿の破損や故障の原因になることがあります。

👉重要 フィーダー原稿読み取り部が汚れていると原稿がきれいに読み取れなかったり、原稿のサイズを誤って検知することがあります。

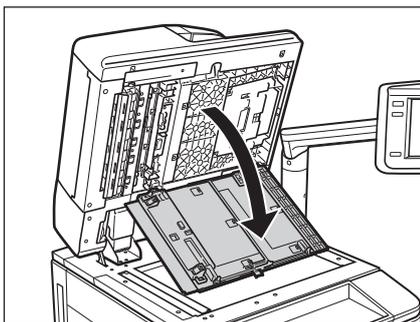
1 フィーダーを開きます。



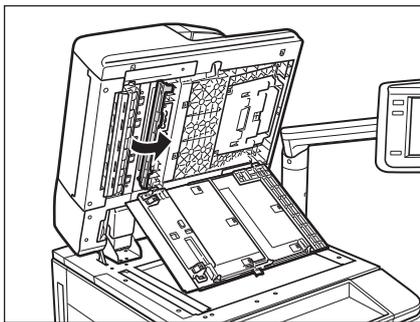
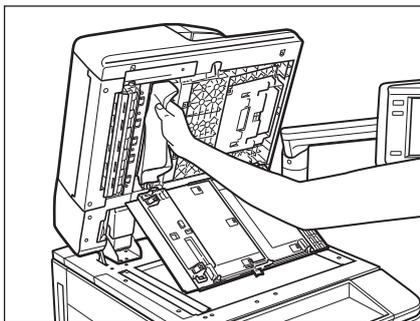
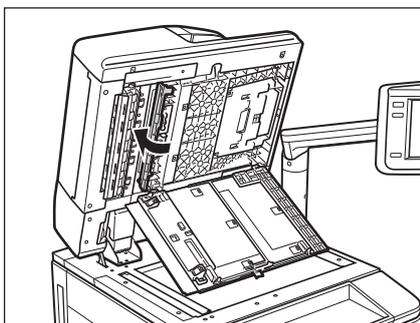
2 原稿読み取り部（細長いガラス部）を、水を含ませて固く絞った布で清掃したあと、かわいた柔らかい布で拭きします。



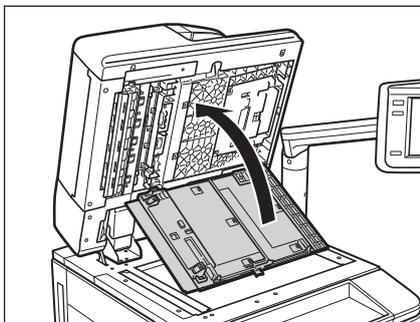
3 フィーダー上部のレバーを引いてフィーダー原稿読み取り部のカバーを開きます。



▲注意 フィーダー原稿読み取り部のカバーは、静かに開いてください。原稿台ガラスを傷つける恐れがあります。

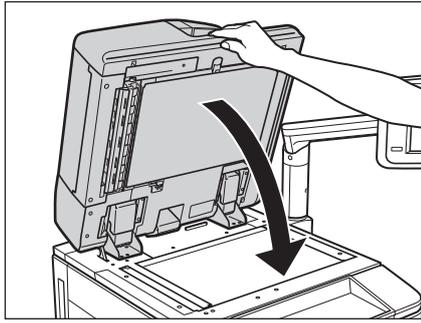
4 内側のカバーを開きます。**5** 水または中性洗剤を含ませて固く絞った布でフィーダーの原稿読み取り部を清掃したあと、かわいた柔らかい布でから拭きします。**6** 内側のカバーを閉じます。

⚠注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

7 フィーダー原稿読み取り部のカバーを閉じます。

⚠注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

8 フィーダーを閉じます。



- ▲注意**
- フィーダーは手をはさまないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。
 - フィーダーを閉じる場合は、ランプが光りまぶしいことがあるので注意してください。
 - 清掃のときは、水で濡らしすぎると原稿の破損や故障の原因になることがあります。

フィーダーを自動で清掃する（フィーダーのクリーニング）

フィーダーを使用して原稿を読み取ったときに、ローラーについた鉛筆の粉などのために原稿が汚れ、原稿にならないものがプリントされていることがあります。この場合は、フィーダーにセットした白紙原稿（用紙）を使用して原稿給紙ローラーの汚れをクリーニングします。

- メモ**
- フィーダーのクリーニングには約20秒間かかります。
 - プリント中は、フィーダーのクリーニングはできません。

1 **⊗**（設定／登録）→ [調整 / メンテナンス] → [メンテナンス] → [フィーダーのクリーニング] を押します。

2 フィーダーに白紙を10枚くらいセットしたあと、[開始] を押します。

用紙はよくさばいてください。

A4サイズの普通紙をセットしてください。

フィーダーのクリーニングが終わったら、読み込みを再度行ってください。

- メモ** フィーダーのクリーニングを中止する場合は、[中止] を押します。

プリントが汚れるときは（ワイヤのクリーニング）

プリントした用紙に汚れがつくときは、必要に応じて帯電器のワイヤのクリーニングをします。

- メモ**
- ワイヤのクリーニングには約35秒間かかります。
 - プリント中は、ワイヤのクリーニングはできません。

1 **⊗**（設定／登録）→ [調整 / メンテナンス] → [メンテナンス] → [ワイヤのクリーニング] を押します。

2 [開始] を押します。

ワイヤのクリーニングが終わったら、プリントを再度行ってください。

プリントが汚れるときは（ローラーのクリーニング）

プリントした用紙にスジがつくときは、機械内部のローラーが汚れている可能性があります。このようなときはローラーのクリーニングをします。

- メモ**
- ローラーのクリーニングは約20秒間かかります。
 - プリント中は、ローラーのクリーニングはできません。

1 **Ⓜ**（設定／登録）→ [調整／メンテナンス] → [メンテナンス] → [ローラーのクリーニング] を押します。

2 [開始] を押します。

ローラーのクリーニングが終わったら、プリントを再度行ってください。

プリントした画像が薄くなったり、乱れるときは（ドラムのクリーニング）

設置した直後や、連休などで長時間で使われていなかったあとに本製品を使用した場合、まれにプリントした画像が薄くなったり、乱れることがあります。プリントした画像が薄くなったり乱れたりするときは、必要に応じてドラムのクリーニングをします。

- メモ**
- ドラムのクリーニングは約35秒間かかります。
 - プリント中は、ドラムのクリーニングはできません。

1 **Ⓜ**（設定／登録）→ [調整／メンテナンス] → [メンテナンス] → [ドラムのクリーニング] を押します。

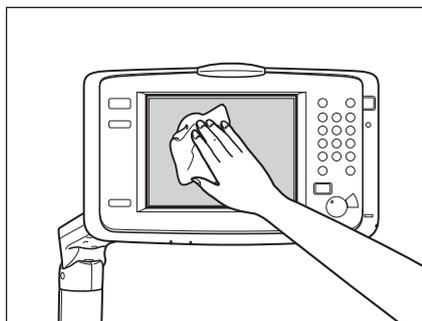
2 [開始] を押します。

ドラムのクリーニングが終わったら、プリントを再度行ってください。

タッチパネルディスプレイを清掃する

以下の手順で、タッチパネルディスプレイを清掃してください。

1 水または中性洗剤を含ませて固く絞った布でタッチパネルディスプレイを拭いたあと、乾いた柔らかい布で、から拭きします。

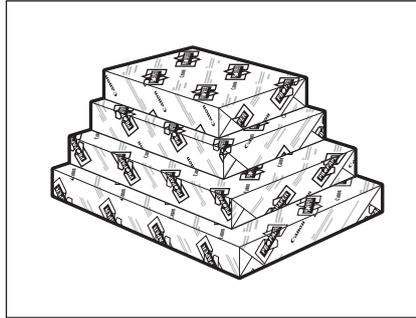


⚠ 注意 タッチパネルディスプレイは使用していくうちに汚れていきますので、一週間または10日に一度、清掃することをおすすめします。

本製品には次のような消耗品が用意されています。
詳しくは、お求めになった販売店にお問い合わせください。
用紙、トナーはなくなる前に販売店よりお求めになることをおすすめします。

■ 用紙

普通紙（A3、B4、A4、B5、A5 サイズ）の他に、再生紙、カラーペーパー、OHP フィルム（本製品専用）、第2原図用紙、ラベル用紙などがあります。詳しくはお求めの販売店にお問い合わせください。



▲ 注意 用紙は火気のある場所に保管しないでください。用紙に引火して、やけどや火災の原因になります。

📌 重要 用紙補給後に残った用紙は、湿気を避けるため包装紙にしっかりと包んで保管してください。

📝 メモ

- 快適なプリント結果を得ていただくため、キヤノン推奨用紙のご使用をおすすめします。
- 市販されている用紙にはいろいろな種類のものがあり、本製品に合わないものもあります。ご使用になる場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

■ 専用トナー容器

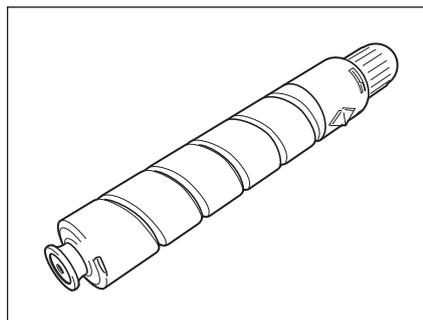
トナー容器交換のメッセージが表示されたら、表示された色のトナー容器を交換してください。

トナー容器には、ブラック・シアン・マゼンタ・イエローがあります。

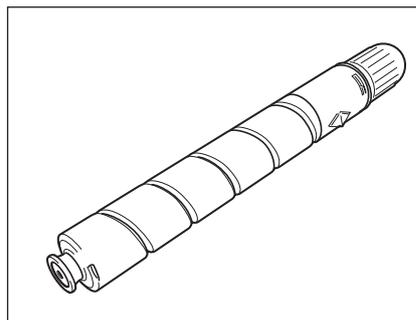
トナー容器を販売店に注文する際は、あらかじめ交換が必要なトナーの色を確認してください。また、トナー容器を交換する際は、正しい色であることを確認してください。

トナー容器は本製品専用のものを使用してください。

製品名	対応するキャノン純正トナー
imageRUNNER ADVANCE C9075 PRO/C9065 PRO	NPG-47 ブラック、シアン、マゼンタ、イエロートナー
imageRUNNER ADVANCE C7065/C7055	NPG-48 ブラック、シアン、マゼンタ、イエロートナー



ブラックトナー

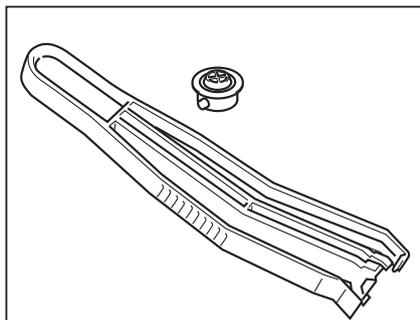


シアン、マゼンタ、イエローのトナー

- ⚠ 警告**
- トナー容器は火中に投げないでください。爆発の恐れがあり大変危険です。
 - トナー容器は火気のある場所に保管しないでください。トナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- ⚠ 注意**
- トナーなどの消耗品は幼児の手の届かないところへ保管してください。もしトナーなどを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
- 👉 重要**
- トナー容器は直射日光の当たらない涼しい場所に保管してください。（望ましい環境：温度30℃以下／湿度80%以下）
 - トナーカートリッジの偽造品にご注意ください。
トナーカートリッジの「偽造品」が流通していることが確認されています。「偽造品」を使用されますと、印字品位の低下など、機械本来の性能が十分に発揮されない場合があります。「偽造品」に起因する故障や事故につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
詳しくは下記ホームページをご覧ください。
<<http://www.canon.com/counterfeit>>

■ スタンプカートリッジ

済スタンプ用のインクカートリッジです。



保守について

本製品は、所定の保守契約に基づいて修理・調整を行います。
詳細はお求めになった販売店にお問い合わせください。

■ 補修用性能部品

本製品の補修用性能部品およびトナーの最低保有期間は、本製品製造打ち切り後7年間です。

■ 用紙について

快適なプリント結果を得ていただくため、キヤノン推奨用紙のご使用をおすすめします。

使用可能な用紙については e-マニュアル > 基本的な使いかたを参照してください。

(* 各オプションで使用できる用紙の厚さに制限がありますので、注意してください。)

👉 重要

次のような用紙にはプリントしないでください。紙づまりの原因になります。

- 大きくカールした用紙や、しわのある用紙
- 薄いわら半紙
- 熱転写プリンターで印字した紙（ウラ面にもプリントしないでください。）
- インクジェット専用の郵便はがき

📝 メモ

市販されている用紙にはいろいろな種類のものであり、本製品に合わないものもあります。ご使用になる場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

■ その他

本商品ならびに関連する消耗品・サービス役務などは、別途消費税を申し受けますのでご了承ください。

困ったときには

紙づまりが起きたときや、エラーメッセージが表示されたときなどの対処方法について説明しています。

頻繁に紙づまりが起こるときは	2-3
紙づまりの箇所を示すラベル.....	2-4
(D) 多段デッキ・A1 (オプション).....	2-4
(F) ステイプルフィニッシャー・A1 (LP) / 中綴じフィニッシャー・A1 (LP) (オプション).....	2-5
(M) ペーパーフォールディングユニット・G1 (オプション).....	2-7
(I) インサーター・H1 (オプション).....	2-8
紙づまりが起きたときには.....	2-9
紙づまりが起こったときの表示.....	2-9
本体内部 (定着搬送ユニット) の紙づまりの処理.....	2-12
手差しトレイ部の紙づまりの処理.....	2-15
右カバー部の紙づまりの処理 (多段デッキ・A1 が接続されている場合).....	2-16
右カバー部の紙づまりの処理.....	2-18
左カバー部の紙づまりの処理.....	2-20
本体左部の紙づまりの処理 (バッファパスユニット・F1 が接続されている場合).....	2-21
カセット内部の紙づまりの処理.....	2-24
ペーパーデッキ (右側) 内部の紙づまりの処理.....	2-25
ペーパーデッキ (左側) 内部の紙づまりの処理.....	2-27
バッファパスユニット・F1 内部の紙づまりの処理 (オプション).....	2-28
マルチカラーイメージリーダーユニット・A1 (フィーダー) の 紙づまりの処理 (オプション).....	2-31
ペーパーデッキユニット・A1 / POD デッキライト・A1 の紙づまりの処理 (オプション).....	2-34
多段デッキ・A1 の前カバーの紙づまりの処理 (オプション).....	2-36
多段デッキ・A1 のペーパーデッキの紙づまりの処理 (オプション).....	2-41
インサーター・H1 の紙づまりの処理 (オプション).....	2-42
ペーパーフォールディングインサーターユニット・G1 (インサーター部) の 紙づまりの処理 (オプション).....	2-48
ペーパーフォールディングインサーターユニット・G1 (インサーター内部) の 紙づまりの処理 (オプション).....	2-51
ペーパーフォールディングインサーターユニット・G1 の紙づまりの処理 (オプション).....	2-55
ペーパーフォールディングユニット・G1 の紙づまりの処理 (オプション).....	2-60
ステイプルフィニッシャー・A1 (LP) / 中綴じフィニッシャー・A1 (LP) の 前カバー内部の紙づまりの処理 (オプション).....	2-66
中綴じフィニッシャー・A1 (LP) の中とじユニットの紙づまりの処理.....	2-71
ステイプルフィニッシャー・B1 / 中綴じフィニッシャー・B1 の上カバー内部の 紙づまりの処理 (オプション).....	2-77
ステイプルフィニッシャー・B1 / 中綴じフィニッシャー・B1 の排紙搬送部の 紙づまりの処理 (オプション).....	2-79
中綴じフィニッシャー・B1 の前カバー部の紙づまりの処理 (オプション).....	2-82
中綴じフィニッシャー・B1 の中とじユニットの紙づまりの処理 (オプション).....	2-84
外付け2穴パンチャー・A1 の紙づまりの処理 (オプション).....	2-87
針づまりが起きたときには.....	2-89
ステイプルフィニッシャー・A1 (LP) / 中綴じフィニッシャー・A1 (LP) の ホチキスユニットの針づまりの処理 (オプション).....	2-89
中綴じフィニッシャー・A1 (LP) の中とじユニットの針づまりの処理 (オプション).....	2-91

2.困ったときには

ステイブルフィニッシャー・B1 / 中綴じフィニッシャー・B1 のホチキスユニットの 針づまりの処理 (オプション).....	2-94
中綴じフィニッシャー・B1 の中とじユニットの針づまりの処理 (オプション).....	2-96
エラーメッセージ一覧.....	2-99
自己診断表示.....	2-99
終了コード一覧.....	2-103
読み込み中にメモリーがいっぱいになったときには.....	2-111
コピーの場合.....	2-111
ファクス/スキャンして送信の場合.....	2-111
スキャンして保存の場合.....	2-112
サービスコール表示.....	2-113
担当サービスを呼ぶときは.....	2-113
サービスコール画面から機能制限モードを設定する.....	2-114
エラーによるプリント/スキャン機能制限時にいくつかの機能を使用する.....	2-115
電源が入らないとき (ブレーカーの確認).....	2-116
プリンター/ファクスドライバーでのトラブル.....	2-117

頻繁に紙づまりが起きるときは

特に本製品に不具合がないのに紙づまりが頻発するときは、次の原因が考えられます。それぞれの対処方法に従って、原因を除去してください。

■ 本体内に紙片が残っている

つまっている用紙を無理に引っ張ったりした場合、用紙が破れて紙片が本体内に残ってしまうことがあります。用紙が破れた場合には、残りの紙片もすべて取り除いてください。

■ 設定と異なる用紙が給紙箇所にセットされている

給紙箇所にセットされている用紙が、設定／登録の用紙の登録で登録されている用紙サイズ／種類と一致しているかどうか確認してください。

紙づまりの箇所を示すラベル

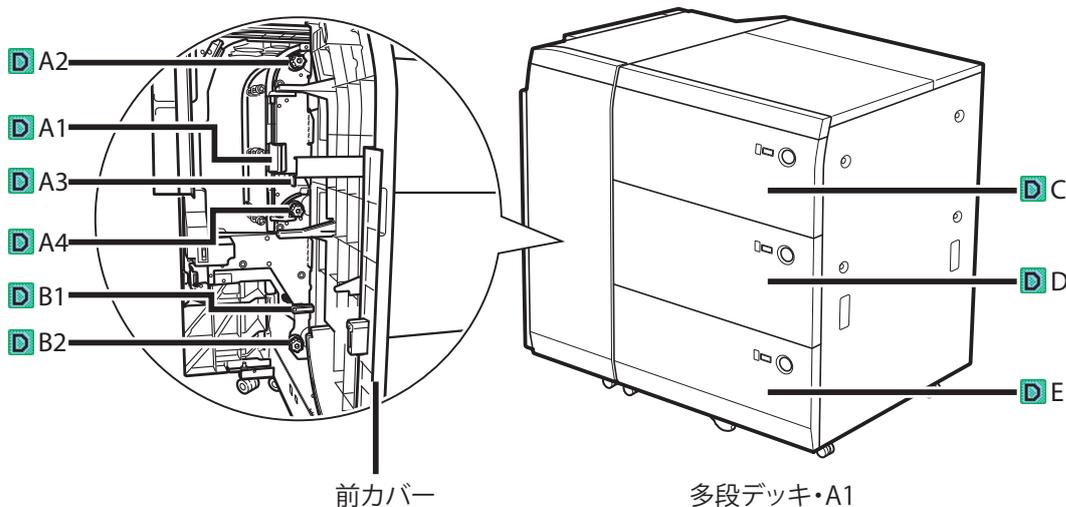
製品内部には、紙づまり処理をすべき箇所を示すラベルが貼ってあります。ラベルは、紙づまりの処理手順を示す画面に表示される [機器] や [手順] と対応しているので、[順番] に従って紙づまりを処理してください。

重要 多段デッキ・A1、ステイプルフィニッシャー・A1 (LP) / 中綴じフィニッシャー・A1 (LP)、ペーパーフォールディングユニット・G1、インサーター・H1 はオプションです。

2 (D) 多段デッキ・A1 (オプション)

困ったときには

多段デッキ・A1 で紙づまりが起これると、タッチパネルディスプレイに下のようなラベルが紙づまりの処理手順を示す画面として表示されます。[順番] に従って紙づまりを処理してください。



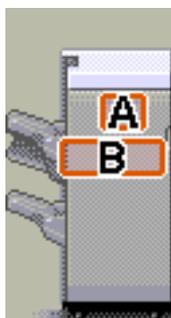
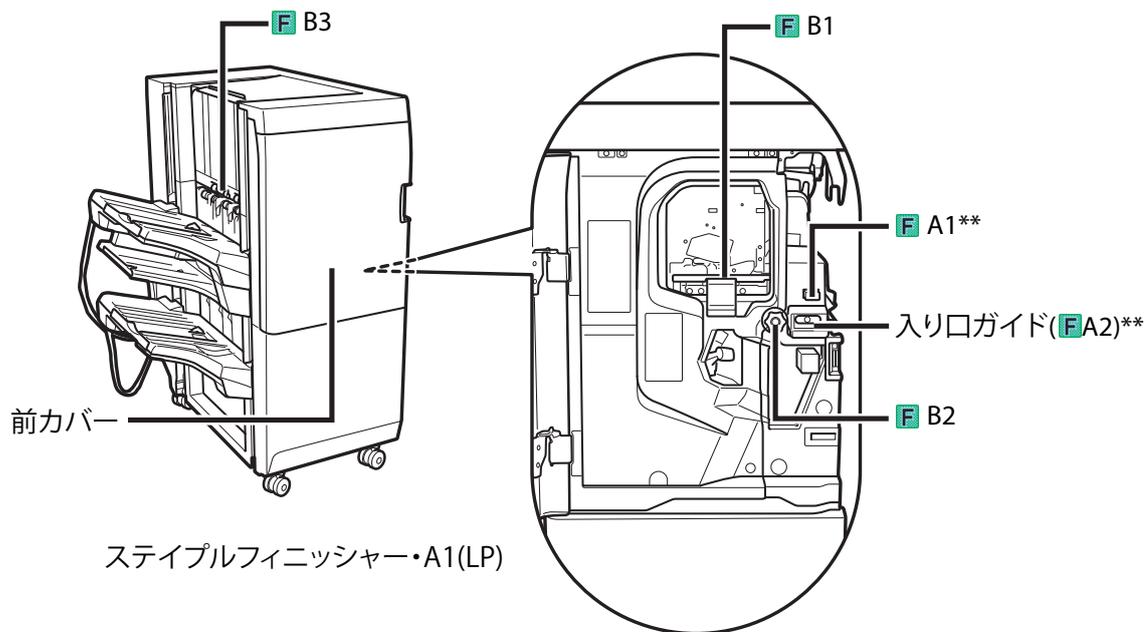
処理順 *	操作箇所 (ラベル)
1	前カバー
2	(D) A1
3	(D) A2
4	(D) A3
5	(D) A4
6	(D) B1
7	(D) B2
8	(D) C
9	(D) D
10	(D) E

* 実際の処理順は画面の表示に従ってください。

(F) ステイプルフィニッシャー・A1 (LP) / 中綴じフィニッシャー・A1 (LP) (オプション)

ステイプルフィニッシャー・A1 (LP) / 中綴じフィニッシャー・A1 (LP) で紙づまりが起こると、タッチパネルディスプレイに下のようなラベルが紙づまりの処理手順を示す画面として表示されます。[順番]に従って紙づまりを処理してください。

■ ステイプルフィニッシャー・A1 (LP)

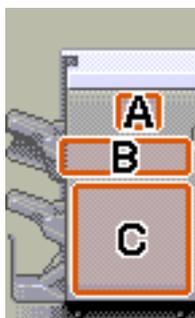
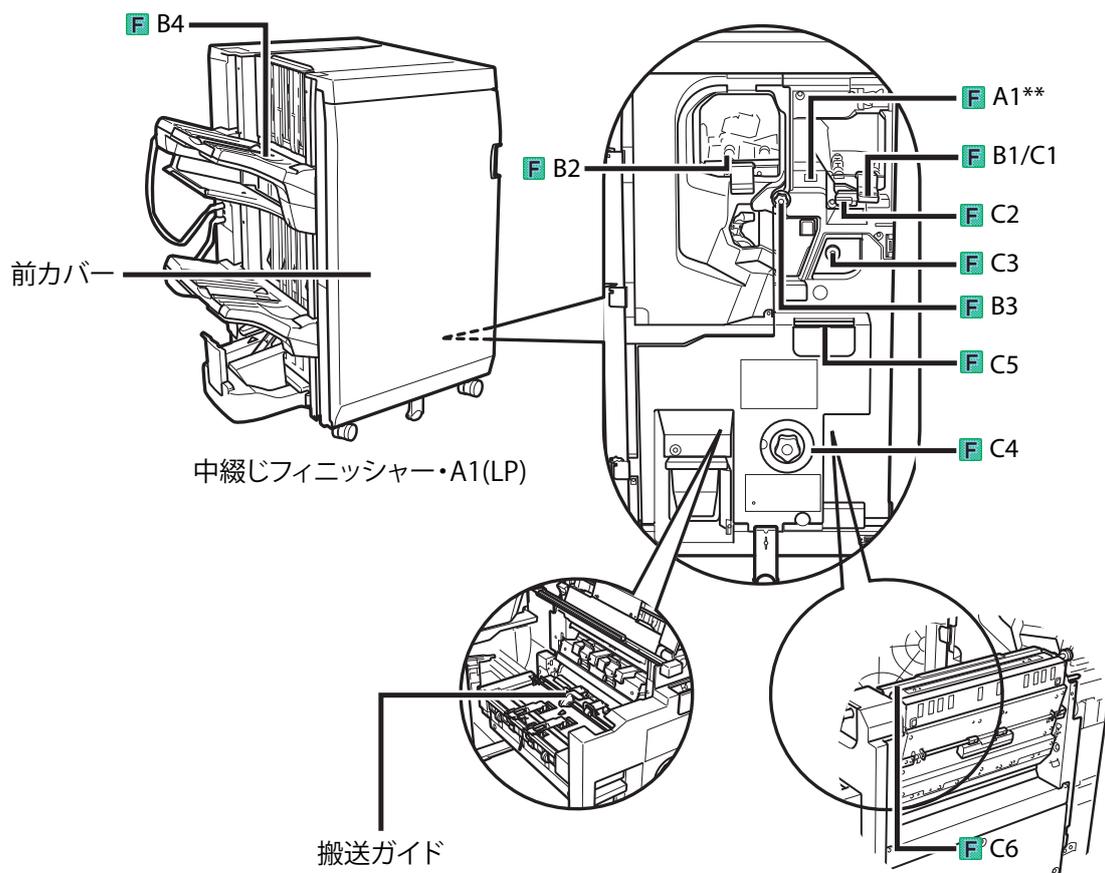


処理順*	操作箇所 (ラベル)
1	前カバー
2	(F) A1**
3	入り口ガイド ((F) A2) **
4	(F) B1
5	(F) B2
6	(F) B3

* 実際の処理順は画面の表示に従ってください。

** パンチャーユニット・BE1 装着時

■ 中綴じフィニッシャー・A1 (LP)



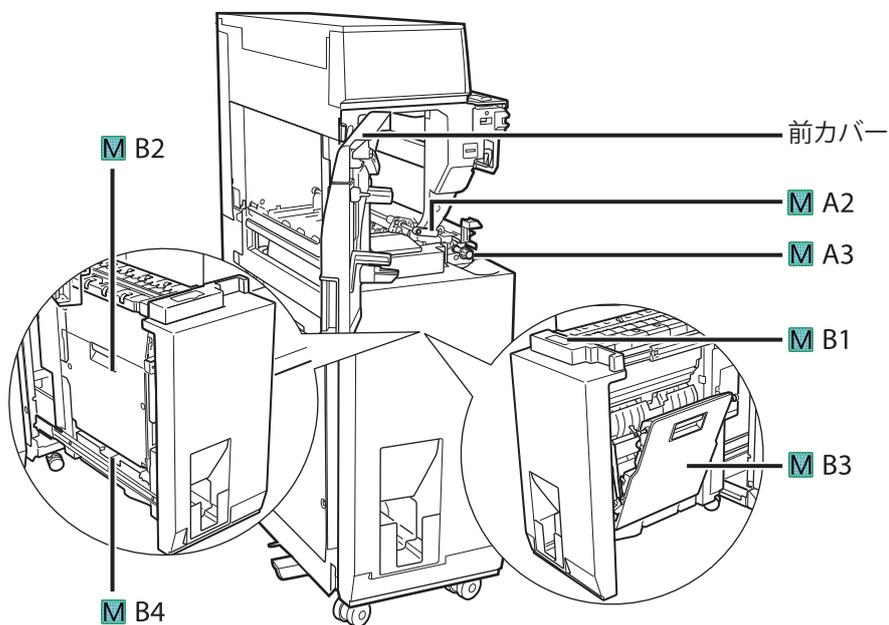
処理順*	操作箇所 (ラベル)
1	前カバー
2	(F) A1**
3	(F) B1
4	(F) B2
5	(F) B3
6	(F) B4
7	(F) C1
8	(F) C2
9	(F) C3
10	(F) C4
11	(F) C5
12	(F) C6

* 実際の処理順は画面の表示に従ってください。

** パンチャーユニット・BE1 装着時

(M) ペーパーフォールディングユニット・G1 (オプション)

ペーパーフォールディングユニット・G1 で紙づまりが起これると、タッチパネルディスプレイに下のようなラベルが紙づまりの処理手順を示す画面として表示されます。[順番] に従って紙づまりを処理してください。



ペーパーフォールディングユニット・G1

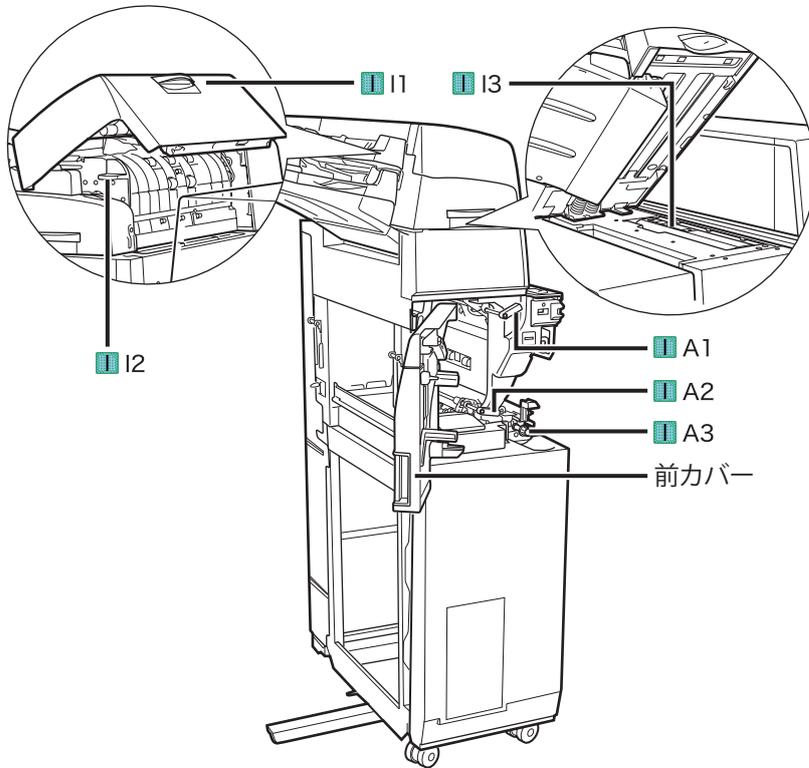


処理順*	操作箇所 (ラベル)
1	前カバー
2	(M) A2
3	(M) A3
4	(M) B1
5	(M) B2
6	(M) B3
7	(M) B4

* 実際の処理順は画面の表示に従ってください。

(I) インサーター・H1 (オプション)

インサーター・H1 で紙づまりが起これると、タッチパネルディスプレイに下のようなラベルが紙づまりの処理手順を示す画面として表示されます。[順番] に従って紙づまりを処理してください。



インサーター・H1



処理順*	操作箇所 (ラベル)
1	(I) I1
2	(I) I2
3	(I) I3
4	前カバー
5	(I) A1
6	(I) A2
7	(I) A3

* 実際の処理順は画面の表示に従ってください。

紙づまりが起きたときには

紙づまりが起きると、タッチパネルディスプレイに紙がつまっている場所を示す画面が表示されます。

紙づまりが起こったときの表示

タッチパネルディスプレイに、紙がつまっている場所を示す画面が表示されてから、紙づまりの処理方法が表示されます。この画面表示は紙づまりが処理されるまで繰り返されます。

■ 紙づまりの箇所を示す画面の例

紙づまりの箇所をタッチパネルディスプレイで確認できます。

[閉じる] を押した場合は、紙づまりをすぐに処理しなくてもモードの設定などの操作は続けることができます。



👉 重要

フィーダーで紙づまりが発生したときは、続けて操作を行うことはできません。画面の指示に従って用紙を取り除いてください。(→マルチカラーイメージリーダーユニット・A1 (フィーダー) の紙づまりの処理 (オプション): P.2-31)

■ 紙づまりの処理方法を示す画面の例



警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

- 注意**
- 原稿づまりや紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端を手を切ったりしないように、注意してください。
 - 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。
 - 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
 - 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
 - 製品内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。
 - 紙づまり処理など内部を点検するとき、定着器周辺に直接触れなくても、定着器周辺の熱に長時間さらされないように注意してください。低温やけどの原因になることがあります。
 - 紙づまり時には、画面に表示されているメッセージに従って、つまっている用紙を機械内部に紙片が残らないように取り除いてください。また、表示以外の箇所には無理に手を入れしないでください。けがややけどの原因になることがあります。
 - 紙づまりの処理がすべて終了したら、本製品から直ちに手を離してください。ローラー部に衣服や手が巻き込まれて、けがの原因になることがあります。

メモ 複数の箇所に用紙がつまっている場合は、タッチパネルディスプレイに表示された順に処理してください。

1 画面に表示されたすべての紙づまり箇所を確認して、つまった紙を取り除きます。

つまった紙を見つけて取り除く方法については、以下の該当ページを参照してください。または、画面に表示される手順に従ってください。

- 本体内部（定着搬送ユニット）の紙づまりの処理：P.2-12
- 手差しトレイ部の紙づまりの処理：P.2-15
- 右カバー部の紙づまりの処理（多段デッキ・A1が接続されている場合）：P.2-16
- 右カバー部の紙づまりの処理：P.2-18
- 左カバー部の紙づまりの処理：P.2-20
- 本体左部の紙づまりの処理（バッファパスユニット・F1が接続されている場合）：P.2-21
- カセット内部の紙づまりの処理：P.2-24
- ペーパーデッキ（右側）内部の紙づまりの処理：P.2-25
- ペーパーデッキ（左側）内部の紙づまりの処理：P.2-27
- バッファパスユニット・F1内部の紙づまりの処理（オプション）：P.2-28

用紙が破れた場合は、残りの紙片もすべて取り除いてください。

重要 紙づまり中に電源を切ると、用紙カセットの紙づまりが検知されなくなります。電源を切らずに紙づまりを処理してください。

メモ 画面に表示されている紙づまり位置に、実際には紙がつまっていない場合があります。そのような場合もありますが、画面の表示に従い、必ずすべての表示箇所を確認してください。

2 オプション機器で紙づまりが起きた場合は、それぞれの項目を参照してください。

- マルチカラーイメージリーダーユニット・A1（フィーダー）の紙づまりの処理（オプション）：P.2-31
- ペーパーデッキユニット・A1/PODデッキライト・A1の紙づまりの処理（オプション）：P.2-34
- 多段デッキ・A1の前カバーの紙づまりの処理（オプション）：P.2-36
- 多段デッキ・A1のペーパーデッキの紙づまりの処理（オプション）：P.2-41
- インサーター・H1の紙づまりの処理（オプション）：P.2-42
- ペーパーフォールディングインサーターユニット・G1（インサーター部）の紙づまりの処理（オプション）：P.2-48
- ペーパーフォールディングインサーターユニット・G1（インサーター内部）の紙づまりの処理（オプション）：P.2-51
- ペーパーフォールディングインサーターユニット・G1の紙づまりの処理（オプション）：P.2-55
- ペーパーフォールディングユニット・G1の紙づまりの処理（オプション）：P.2-60
- ステイプルフィニッシャー・A1（LP）／中綴じフィニッシャー・A1（LP）の前カバー内部の紙づまりの処理（オプション）：P.2-66
- 中綴じフィニッシャー・A1（LP）の中とじユニットの紙づまりの処理：P.2-71
- ステイプルフィニッシャー・B1／中綴じフィニッシャー・B1の上カバー内部の紙づまりの処理（オプション）：P.2-77
- ステイプルフィニッシャー・B1／中綴じフィニッシャー・B1の排紙搬送部の紙づまりの処理（オプション）：P.2-79
- 中綴じフィニッシャー・B1の前カバー部の紙づまりの処理（オプション）：P.2-82
- 中綴じフィニッシャー・B1の中とじユニットの紙づまりの処理（オプション）：P.2-84
- 外付け2穴パンチャー・A1の紙づまりの処理（オプション）：P.2-87

3 表示された箇所につまっている紙をすべて取り除いたら、レバーやカバーなどを処理する前の状態に戻します。

4 画面の指示に従って操作を続けます。

フィーダー以外の紙づまりの処理が終了するとプリント動作を再開します。

取り除く紙が他にもある場合は、タッチパネルディスプレイに紙づまりの処理方法を示す画面が表示されます。手順1から同様の作業をしてください。



複数の部数をコピーしている場合でも、コピー枚数を設定しなおす必要はありません。つまった枚数に応じて、自動的に補正されます。

本体内部（定着搬送ユニット）の紙づまりの処理

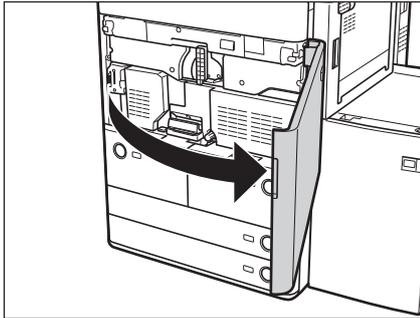
本体内部（定着搬送ユニット）で紙づまりが起こると、タッチパネルディスプレイに紙づまりを取り除くよう促す画面が表示されます。紙づまり位置を確認して、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

⚠警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

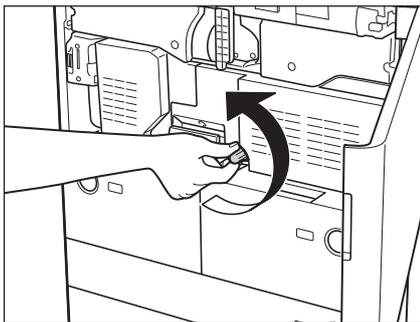
2

困ったときには

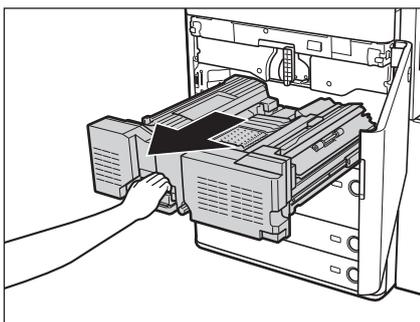
1 本体の前カバーを開きます。



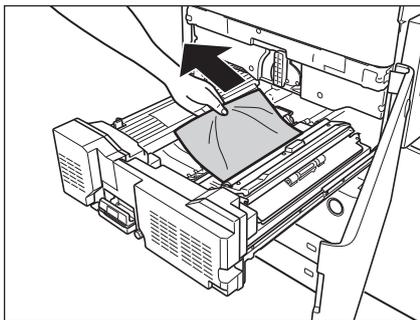
2 左デッキノブを15回まわします。



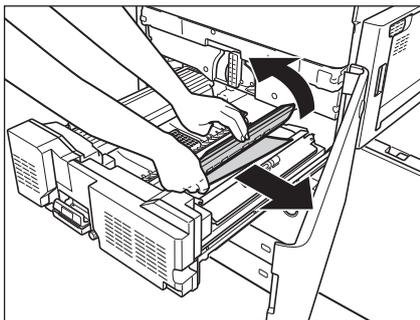
3 レバーを握りながら、定着搬送ユニットを引き出します。



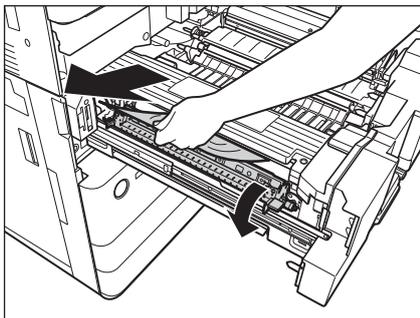
- 4 定着搬送ユニット上に残っている用紙を取り除きます。



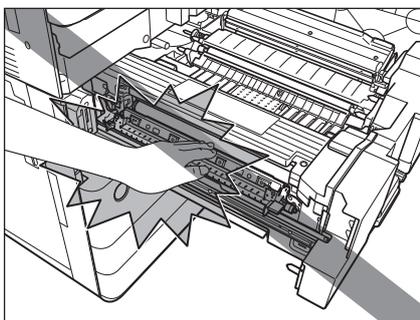
- 5 レジガイドを開き、つまっている用紙を取り除きます。



- 6 内排紙ガイドを開き、つまっている用紙を取り除きます。

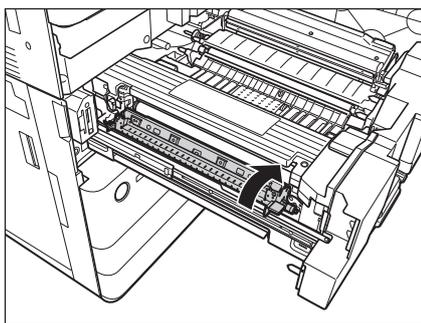


⚠ 注意 定着器の周辺には高温の部分があります。用紙を取り除くときには定着器部分に触れないように注意してください。



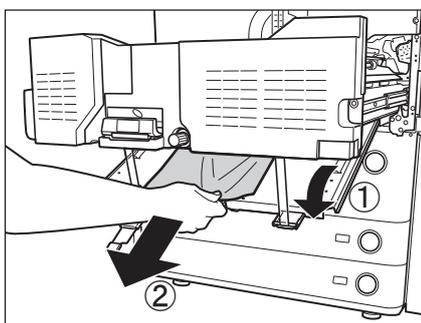
⚠ 注意 内排紙ガイドの周辺には高温の部分があります。用紙を取り除くときには内排紙ガイド部分に触れないように注意してください。

7 内排紙ガイドを閉じます。

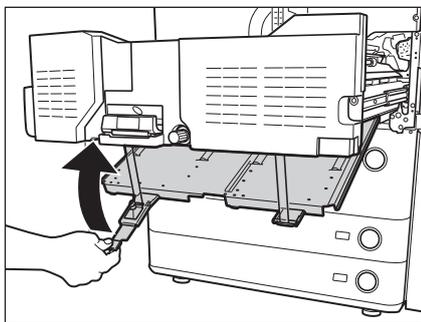


⚠ 注意 ガイドを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

8 両面ガイドを開き、つまっている用紙を取り除きます。

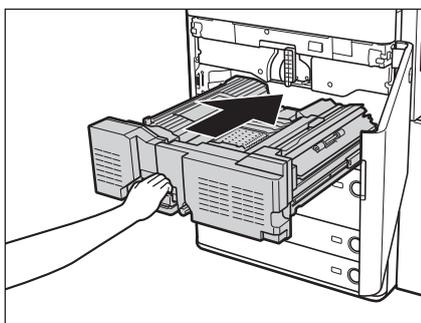


9 両面ガイドを閉じます。



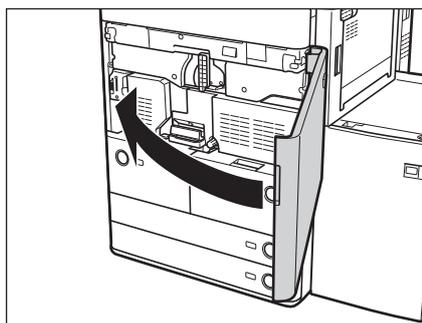
⚠ 注意 ガイドを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

10 定着搬送ユニットを元に戻します。



⚠ 注意 ユニットを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

11 前カバーを閉じます。



▲注意 ガイドを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

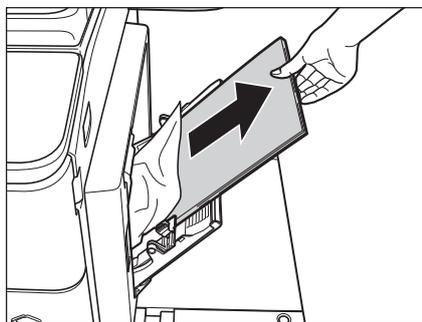
12 画面の指示に従って操作します。

メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→紙づまりが起こったときの表示：P.2-9)

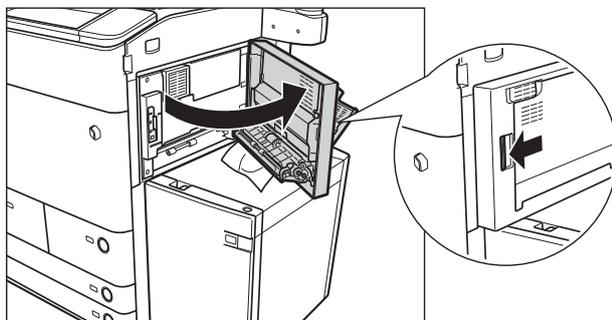
手差しトレイ部の紙づまりの処理

手差しトレイ部で紙づまりが起こると、タッチパネルディスプレイに紙づまりを取り除くよう促す画面が表示されます。紙づまり位置を確認して、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

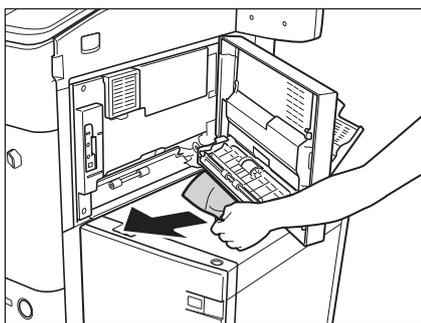
1 手差しトレイ上の紙づまりしていない用紙をいったんすべて取り除きます。



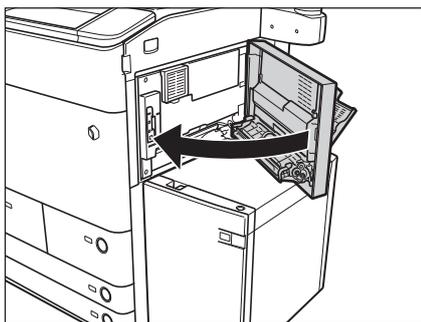
2 本体の右カバー（上）を開きます。



3 つまっている用紙を取り除きます。



4 本体の右カバー（上）を閉じます。



⚠注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

5 画面の指示に従って操作します。

メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→紙づまりが起こったときの表示：P.2-9)

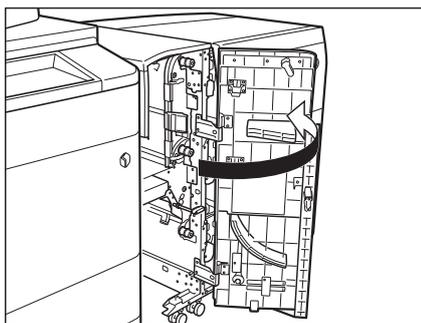
右カバー部の紙づまりの処理（多段デッキ・A1が接続されている場合）

右カバー部で紙づまりが起こると、タッチパネルディスプレイに紙づまりを取り除くよう促す画面が表示されます。紙づまり位置を確認して、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

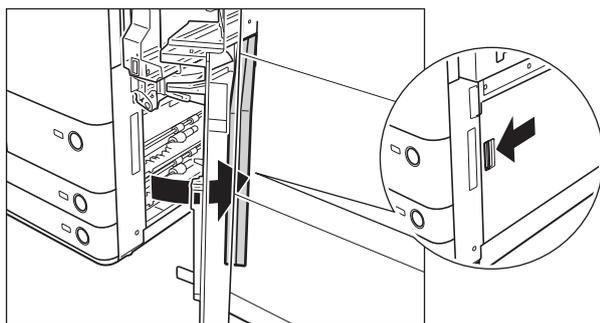
⚠警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

⚠注意 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

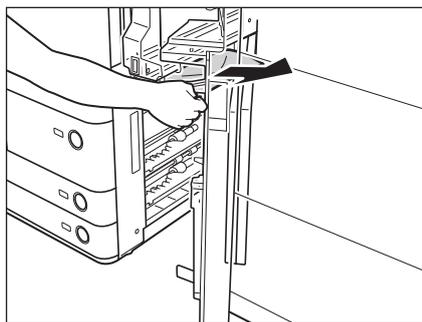
1 多段デッキの前カバーを開きます。



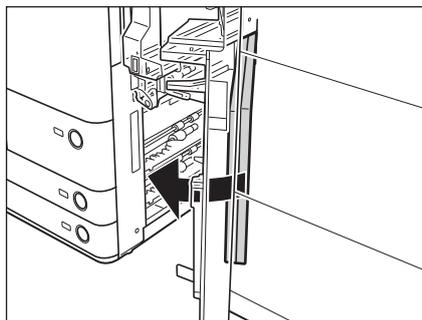
2 本体の右カバー（下）を開きます。



3 つまった用紙を取り除きます。

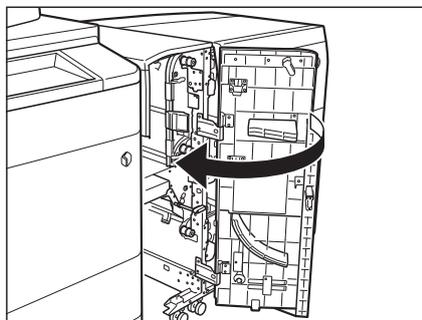


4 本体の右カバー（下）を閉じます。



⚠ 注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

5 多段デッキの前カバーを閉じます。



⚠ 注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

6 画面の指示に従って操作します。

メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→紙づまりが起こったときの表示：P.2-9)

右カバー部の紙づまりの処理

右カバー部で紙づまりが起こると、タッチパネルディスプレイに紙づまりを取り除くよう促す画面が表示されます。紙づまり位置を確認して、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

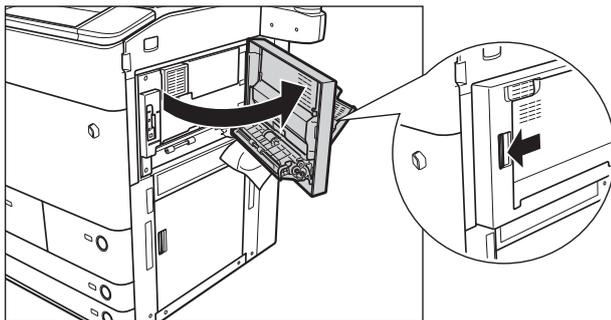
⚠警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

⚠注意 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

2

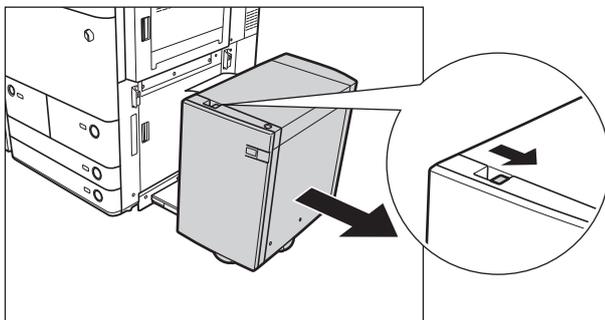
困ったときには

1 本体の右カバー（上）を開きます。

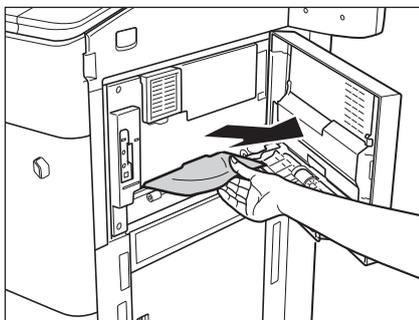


● ペーパーデッキユニット／PODデッキライトを装着している場合：

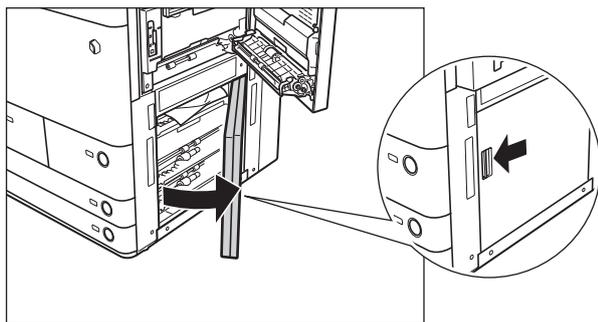
- リリースレバーを押してロックを解除させ、ペーパーデッキユニット／PODデッキライトを右に移動させます。



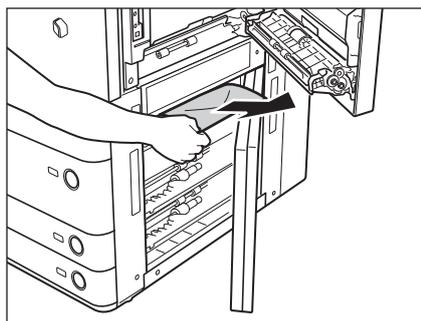
2 つまっている用紙を取り除きます。



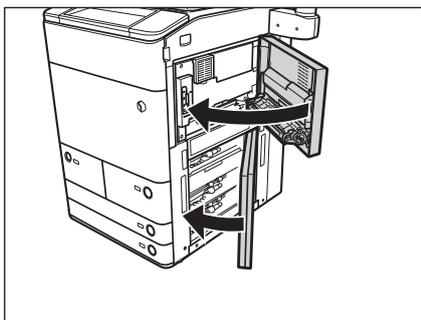
3 本体の右カバー（下）を開きます。



4 つまっている用紙を取り除きます。



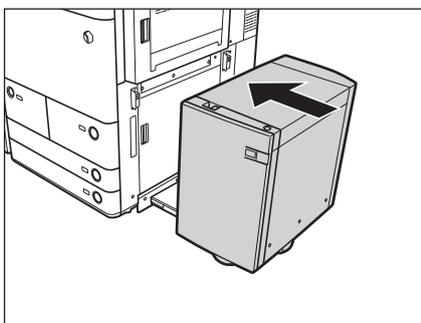
5 本体の右カバー（上、下）を閉じます。



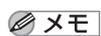
▲注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

● ペーパーデッキ／PODデッキライトを装着している場合：

□ ペーパーデッキユニット／PODデッキライトを本体に再装着します。



6 画面の指示に従って操作します。



紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→紙づまりが起こったときの表示：P.2-9)

左カバー部の紙づまりの処理

左カバー部で紙づまりが起こると、タッチパネルディスプレイに紙づまりを取り除くよう促す画面が表示されます。紙づまり位置を確認して、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

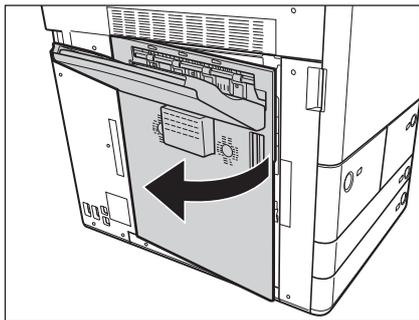
⚠警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

⚠注意

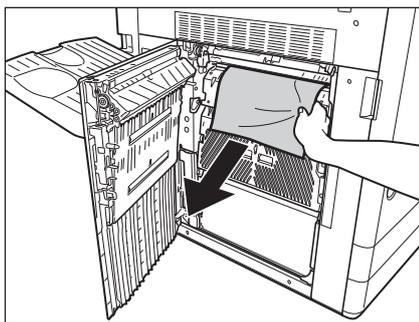
- 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れが取れなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

1 本体の左カバーを開きます。

コピートレイ・P1を装着している場合は、コピートレイ・P1上の用紙をすべて取り除いてください。紙づまりによっては、コピートレイ・P1を持ち上げる必要があります。(→e-マニュアル>オプションについて (imageRUNNER ADVANCE C9075 PRO/C9065 PRO)、オプションについて (imageRUNNER ADVANCE C7065/C7055))

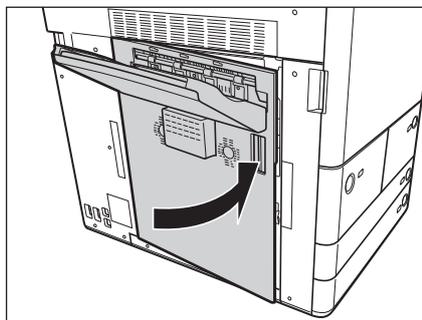


2 つまっている用紙を取り除きます。



3 本体の左カバーを閉じます。

コピートレイ・P1を装着している場合は、コピートレイ・P1を元に戻します。(→e-マニュアル>オプションについて (imageRUNNER ADVANCE C9075 PRO/C9065 PRO)、オプションについて (imageRUNNER ADVANCE C7065/C7055))



⚠注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

4 画面の指示に従って操作します。

メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→紙づまりが起こったときの表示：P.2-9)

本体左部の紙づまりの処理 (バッファパスユニット・F1が接続されている場合)

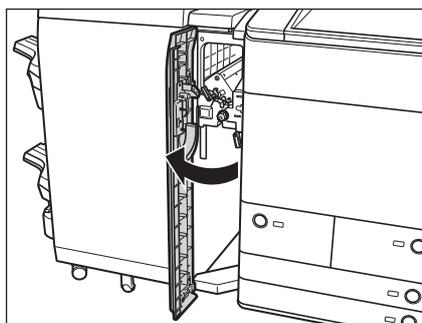
本体左部で紙づまりが起こると、タッチパネルディスプレイに紙づまりを取り除くよう促す画面が表示されます。紙づまり位置を確認して、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

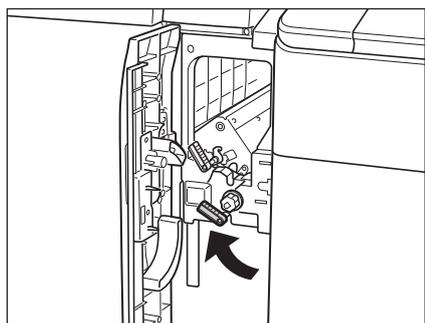
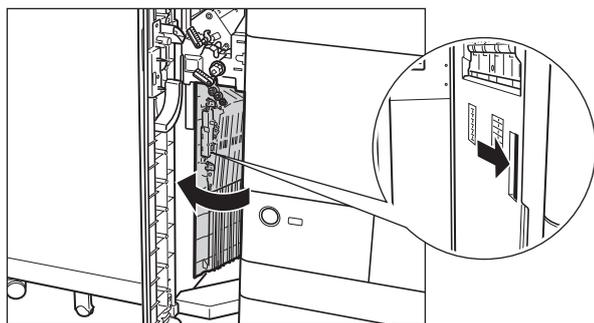
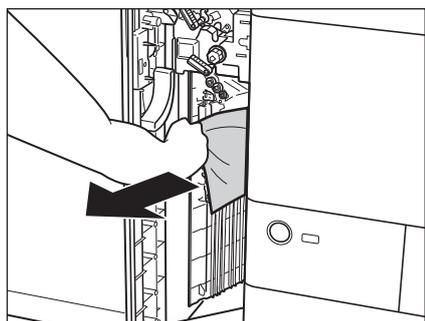
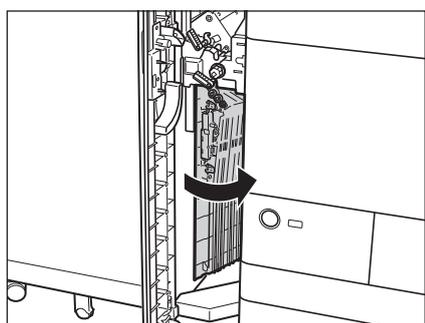
⚠警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

⚠注意

- 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れが取れなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

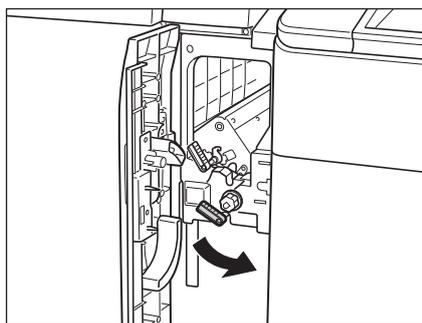
1 バッファパスユニットの前カバーを開きます。



2 バッファパスユニットの下ガイドを開きます。**3** 本体の左カバーを開きます。**4** つまっている用紙を取り除きます。**5** 本体の左カバーを閉じます。

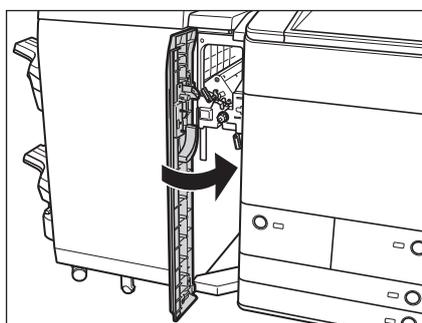
⚠ 注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

6 バッファパスユニットの下ガイドを閉じます。



▲注意 ガイドを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

7 バッファパスユニットの前カバーを閉じます。



▲注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

8 画面の指示に従って操作します。

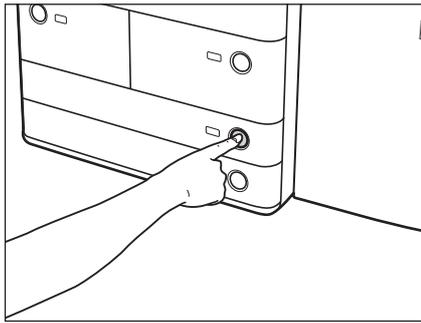
メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→紙づまりが起こったときの表示：P.2-9)

カセット内部の紙づまりの処理

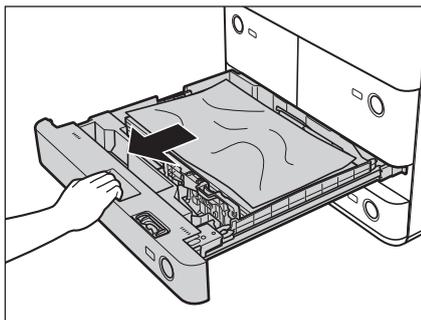
カセット内部で紙づまりが起こると、タッチパネルディスプレイに紙づまりを取り除くよう促す画面が表示されます。紙づまり位置を確認して、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

▲注意 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

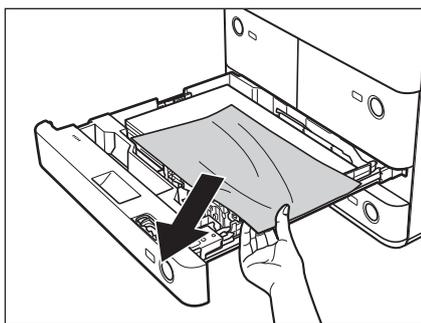
- 1 カセットのオープンボタンをいったん押して離します。



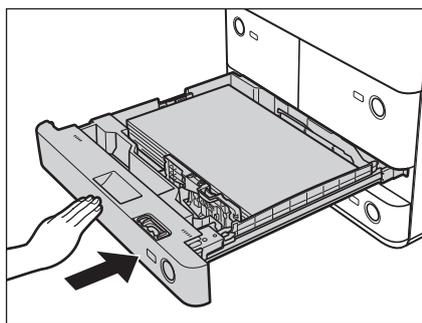
- 2 カセットを引き出します。



- 3 つまっている用紙を取り除きます。



4 カセットをカチッと音がするまで静かに本体に押し込みます。



▲注意 カセットを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

5 画面の指示に従って操作します。

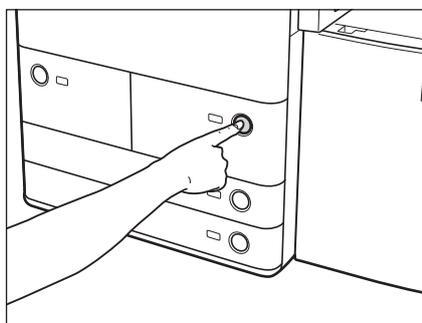
メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→紙づまりが起こったときの表示：P.2-9)

ペーパーデッキ（右側）内部の紙づまりの処理

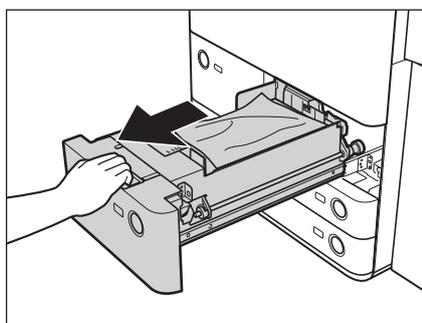
ペーパーデッキ（右側）で紙づまりが起こると、タッチパネルディスプレイに紙づまりを取り除くよう促す画面が表示されます。紙づまり位置を確認して、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

▲注意 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

1 ペーパーデッキ（右側）のオープンボタンをいったん押して離します。

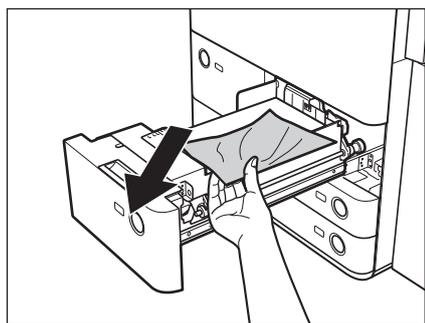


2 ペーパーデッキを引き出します。

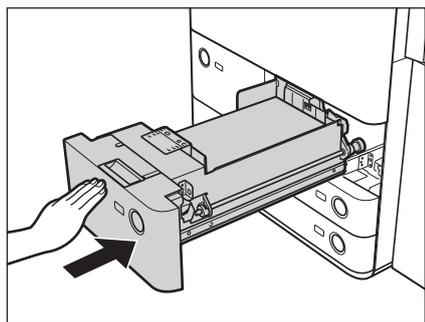


ペーパーデッキが途中でしか引き出せない場合は、無理に引き出さず、一度押し込んでもう一度オープンボタンを押してから引き出してください。

3 つまっている用紙を取り除きます。



4 ペーパーデッキを元に戻します。



▲注意 ペーパーデッキを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

5 画面の指示に従って操作します。

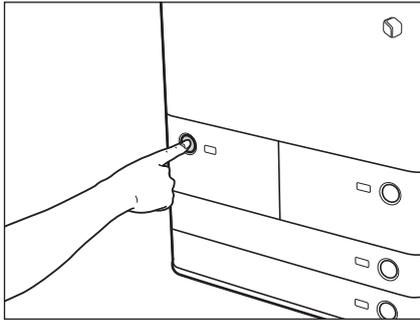
メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→紙づまりが起こったときの表示：P.2-9)

ペーパーデッキ（左側）内部の紙づまりの処理

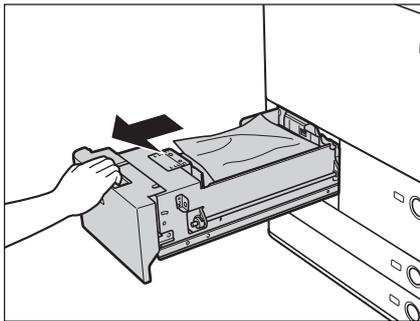
ペーパーデッキ（左側）で紙づまりが起こると、タッチパネルディスプレイに紙づまりを取り除くよう促す画面が表示されます。紙づまり位置を確認して、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

▲注意 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

- 1 ペーパーデッキ（左側）のオープンボタンをいったん押して離します。

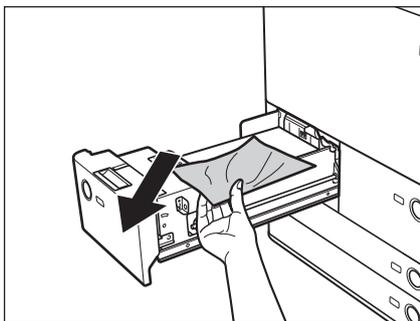


- 2 ペーパーデッキを引き出します。

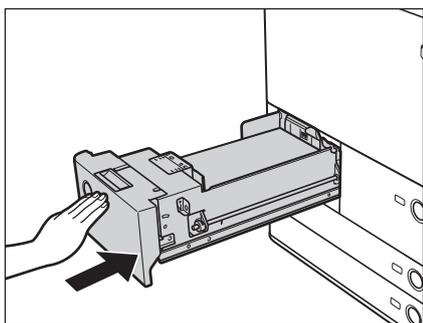


ペーパーデッキが途中までしか引き出せない場合は、無理に引き出さず、一度押し込んでもう一度オープンボタンを押してから引き出してください。

- 3 つまっている用紙を取り除きます。



4 ペーパーデッキを元に戻します。



▲注意 ペーパーデッキを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

5 画面の指示に従って操作します。

メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→紙づまりが起こったときの表示：P.2-9)

バッファパスユニット・F1 内部の紙づまりの処理 (オプション)

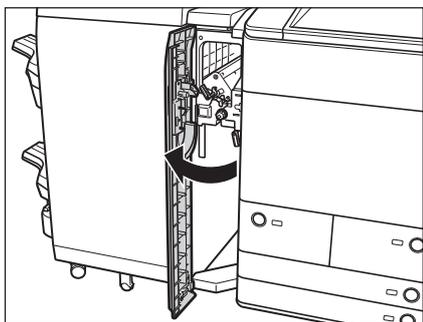
バッファパスユニット・F1 で紙づまりが起こると、タッチパネルディスプレイに紙づまりを取り除くよう促す画面が表示されます。紙づまり位置を確認して、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

▲警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

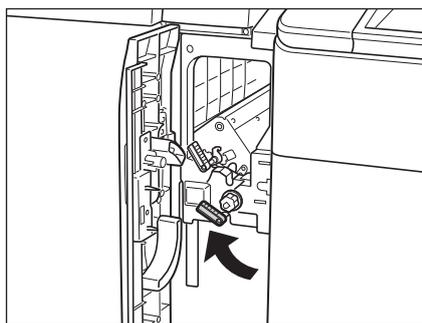
▲注意

- 紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

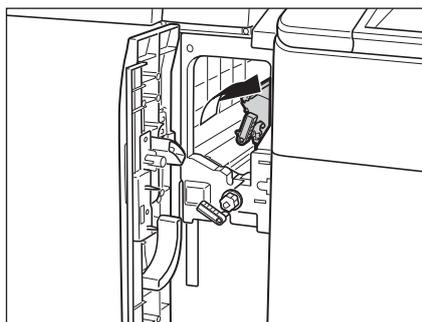
1 バッファパスユニットの前カバーを開きます。



2 バッファパスユニットの下ガイドを開きます。

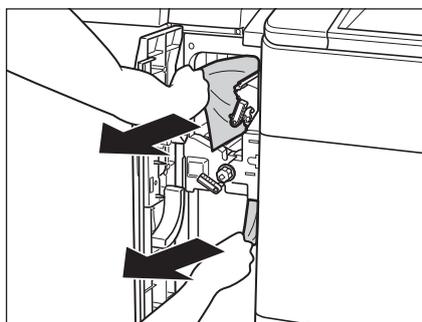
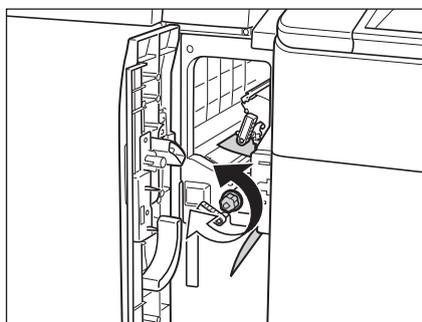


3 バッファパスユニットの上ガイドを開きます。

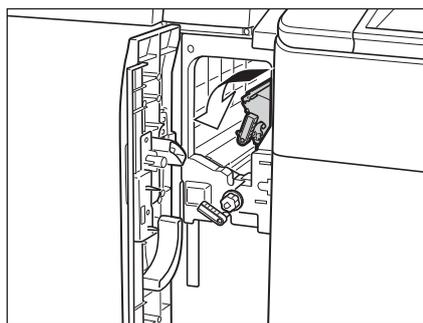


4 ノブを回して、つまっている用紙を取り除きます。

ノブを右に回すと下ガイドからつまった用紙が出てきます。また、ノブを左に回すと上ガイドからつまった用紙がでてきます。

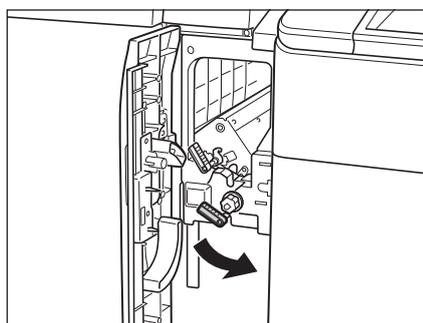


5 バッファパスユニットの上ガイドを閉じます。



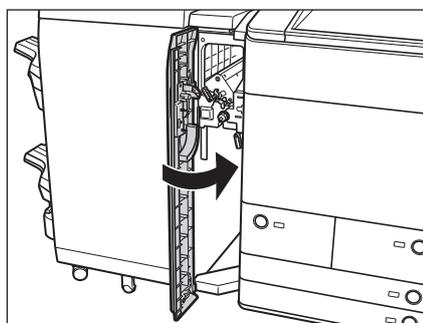
▲注意 ガイドを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

6 バッファパスユニットの下ガイドを閉じます。



▲注意 ガイドを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

7 バッファパスユニットの前カバーを閉じます。



▲注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

8 画面の指示に従って操作します。

メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→紙づまりが起こったときの表示：P.2-9)

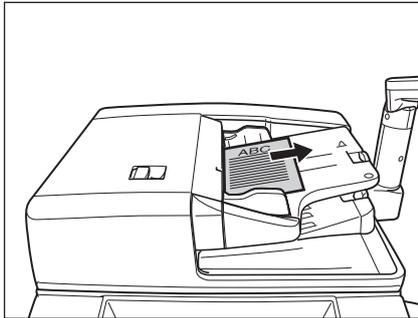
マルチカラーイメージリーダーユニット・A1（フィーダー）の紙づまりの処理（オプション）

フィーダーで紙づまりが起これると、タッチパネルディスプレイに紙づまりを取り除くよう促す画面が表示されます。紙づまり位置を確認して、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

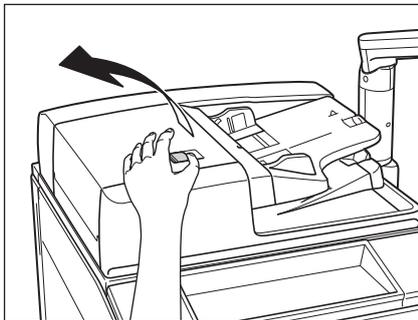
⚠警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

⚠注意 原稿づまりを取り除くときは、原稿の端で手を切ったりしないように、注意してください。

1 原稿給紙トレイ上の原稿を取り除きます。



2 レバーを引いてフィーダーカバーを開きます。



3 つまっている用紙を取り除きます。

つまっている用紙が取り除きにくい場合は、無理に引き抜かず、手順4へ進んでください。



- 4 手前のつまみを持って、中カバーを開きます。



- 5 緑色つまみを回して、つまっている原稿を取り除きます。



- 6 中カバーを閉じます。



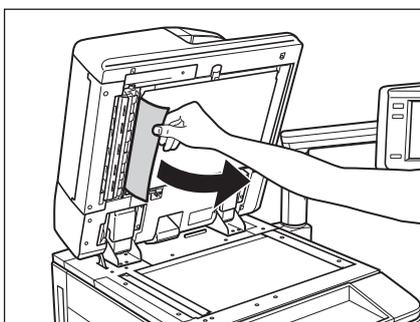
▲注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

7 つまっている原稿をすべて取り除いたら、フィーダーカバーを閉じます。

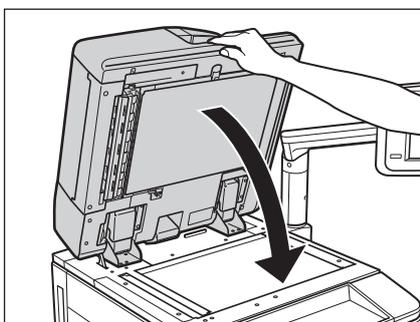


▲注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

8 フィーダーを開き、つまっている原稿を取り除きます。



9 フィーダーを閉じます。



▲注意 ・フィーダーは手をはさまないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。
・フィーダーを閉じる場合は、ランプが光りまぶしいことがあるので注意してください。

10 画面の指示に従って操作します。

メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→紙づまりが起こったときの表示：P.2-9)

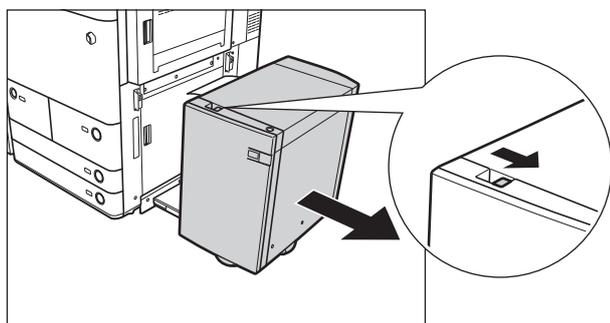
ペーパーデッキユニット・A1 / POD デッキライト・A1 の紙づまりの処理 (オプション)

ペーパーデッキユニット・A1 / POD デッキライト・A1 で紙づまりが起これると、タッチパネルディスプレイに紙づまりを取り除くよう促す画面が表示されます。紙づまり位置を確認して、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

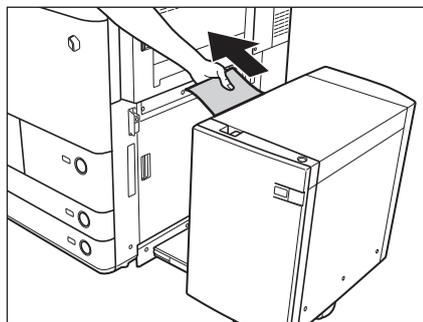
⚠警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

⚠注意 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

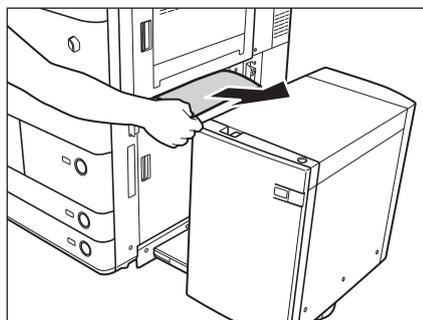
- 1 リリースレバーを押して、ペーパーデッキユニット / POD デッキライトを本体から引き離します。



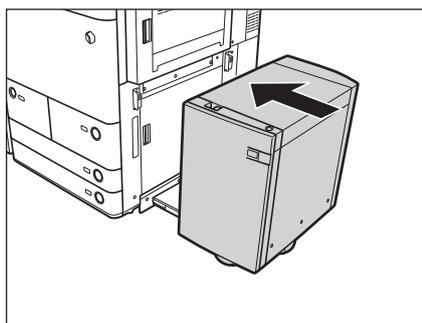
- 2 ペーパーデッキユニット / POD デッキライトの給紙部につまっている用紙を取り除きます。



本体側面の給紙口にも紙がつまっていることがあります。つまっている場合は紙を取り除いてください。



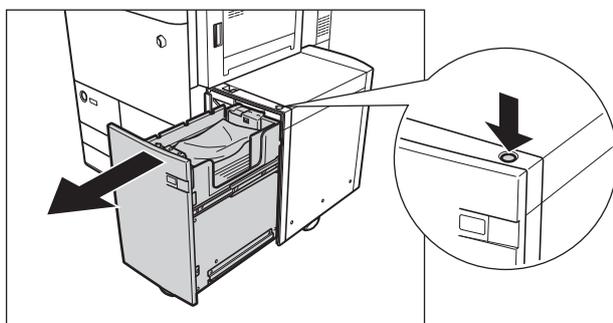
3 ペーパーデッキユニット / POD デッキライトを本体に接続します。



ペーパーデッキユニット / POD デッキライトを接続したときに紙づまりのメッセージが表示されなくなった場合は、手順7へ進みます。

注意 ペーパーデッキユニット / POD デッキライトを本体に接続する場合は、すき間に指をはさまれないように注意してください。

4 オープンボタンを押して、ペーパーデッキユニット / POD デッキライトを開きます。

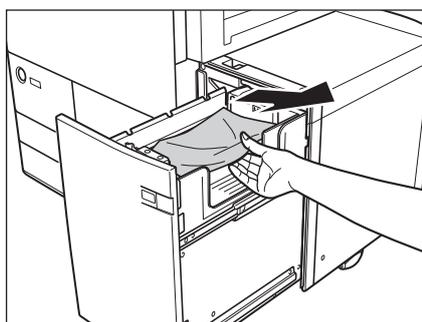


自動的に内部のリフターが下がります。

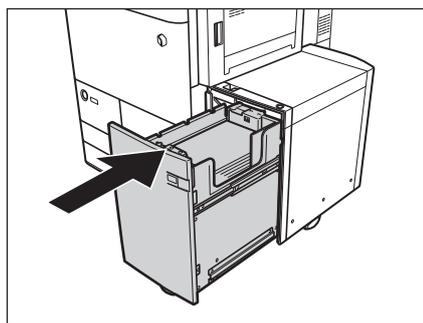
重要 本製品がスリープモードに移行しているとき（タッチパネルディスプレイの表示が消灯して、主電源ランプが点灯しているとき）はペーパーデッキユニット / POD デッキライトを開くことができない場合があります。この場合は、操作部電源スイッチを押して、スリープモードを解除してからオープンボタンを押してください。

5 つまっている用紙を取り除きます。

つまっている用紙は見えにくいことがあります。よく確認してください。



6 ペーパーデッキユニット / POD デッキライトを閉じます。



▲注意 ペーパーデッキユニット / POD デッキライトを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

7 画面の指示に従って操作します。

メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→紙づまりが起こったときの表示：P.2-9)

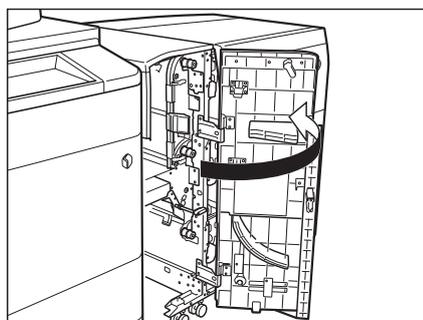
多段デッキ・A1 の前カバーの紙づまりの処理 (オプション)

多段デッキ・A1 で紙づまりが起こると、タッチパネルディスプレイに紙づまりを取り除くよう促す画面が表示されます。紙づまり位置を確認して、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

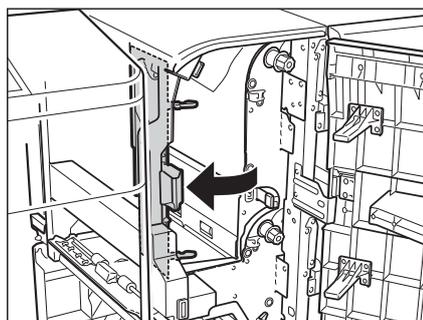
▲注意

- 原稿づまりや紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当 サービスにお問い合わせください。

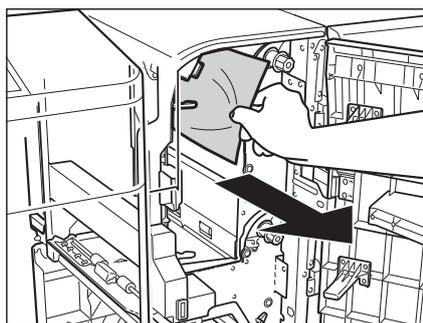
1 多段デッキの前カバーを開きます。



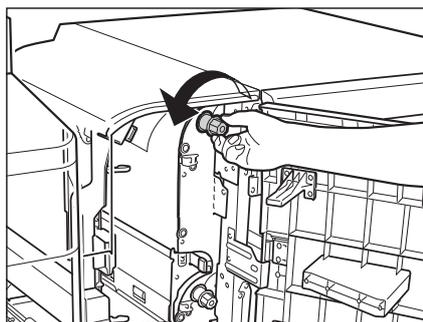
2 D-A1 ガイドを開きます。



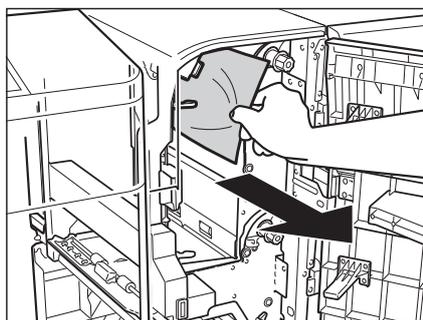
3 つまっている用紙を取り除きます。



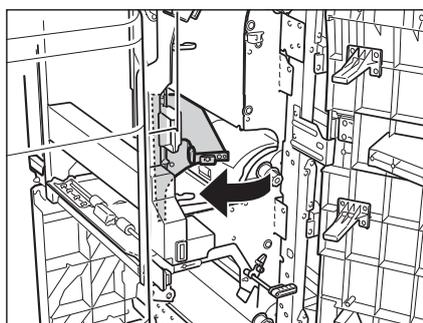
4 D-A2 ノブを回します。

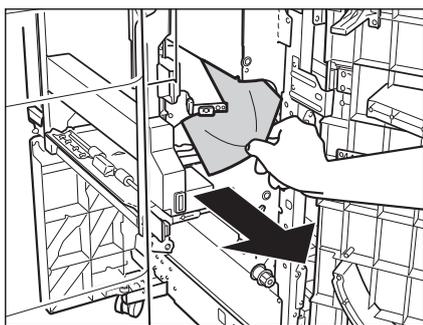
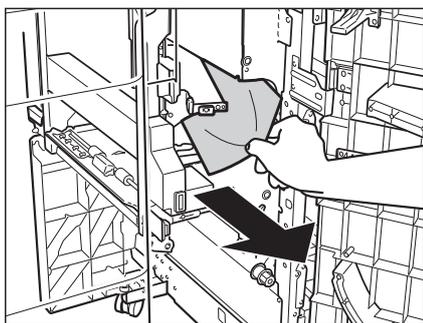
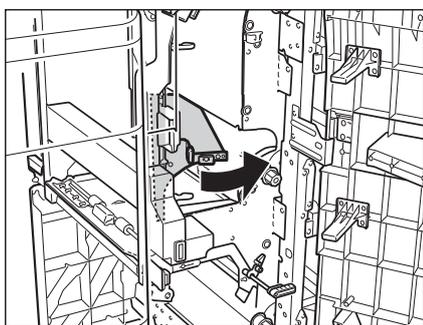


5 つまっている用紙を取り除きます。



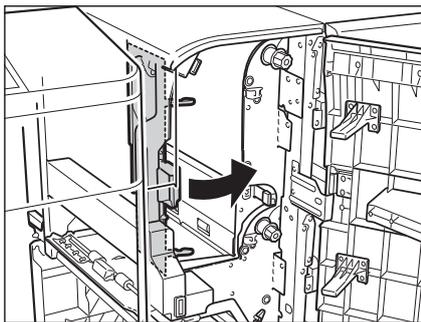
6 D-A3 ガイドを開きます。



7 つまっている用紙を取り除きます。**8** D-A4 ノブを回します。**9** つまっている用紙を取り除きます。**10** D-A3 ガイドを閉じます。

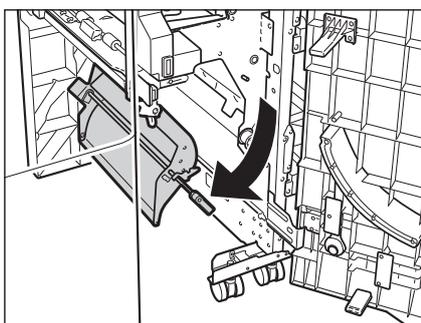
▲注意 ガイドを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

11 D-A1 ガイドを閉じます。

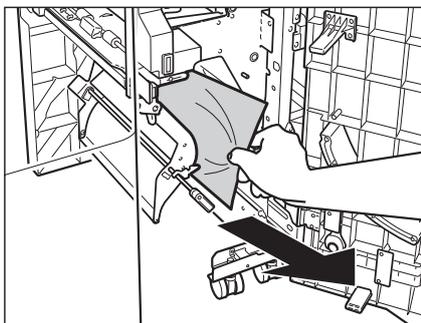


⚠注意 ガイドを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

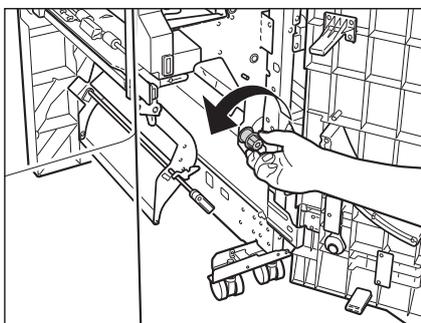
12 D-B1 ガイドを開きます。



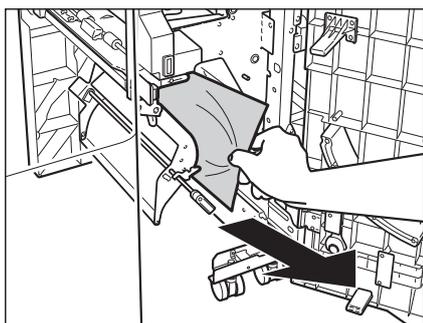
13 つまっている用紙を取り除きます。



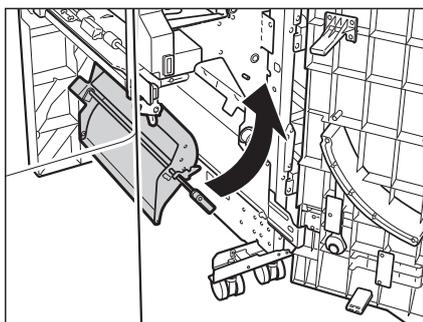
14 D-B2 ノブを回します。



15 つまっている用紙を取り除きます。

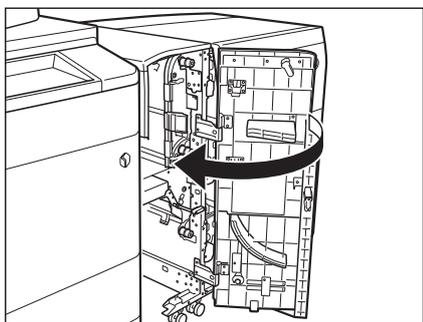


16 D-B1 ガイドを閉じます。



▲注意 ガイドを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

17 多段デッキの前カバーを閉じます。



▲注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

18 画面の指示に従って操作します。

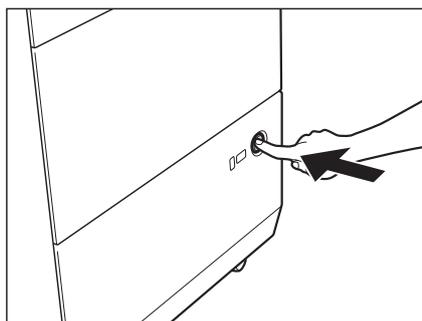
メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→紙づまりが起こったときの表示：P.2-9)

多段デッキ・A1 のペーパーデッキの紙づまりの処理（オプション）

多段デッキ・A1 のペーパーデッキで紙づまりが起こると、タッチパネルディスプレイに紙づまりを取り除くよう促す画面が表示されます。紙づまり位置を確認して、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

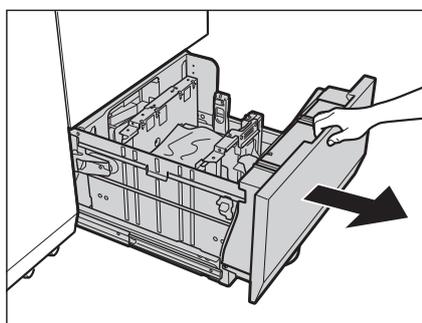
- ⚠ 注意**
- 原稿づまりや紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
 - 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。

1 画面で指定されたペーパーデッキのオープンボタンを押します。



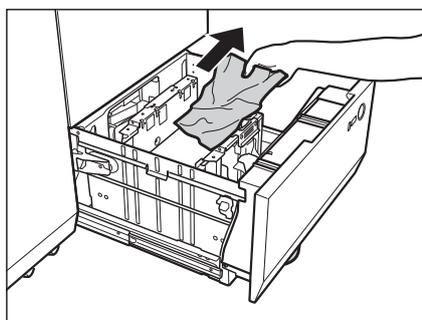
- 👉 重要** 本製品がスリープモードに移行しているとき（タッチパネルディスプレイの表示が消灯し、主電源ランプが点灯しているとき）は多段デッキ・A1 を開くことができない場合があります。この場合は、操作部電源スイッチを押して、スリープモードを解除してからオープンボタンを押してください。

2 ペーパーデッキの取っ手を持ち、そのまま止まるところまで手前に引き出します。



- 👉 重要** ペーパーデッキを無理に引き出さないでください。

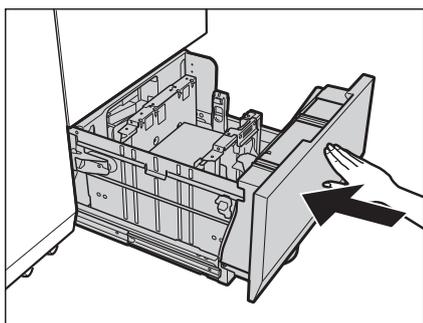
3 つまっている用紙を取り除きます。



2

困ったときには

4 ペーパーデッキをカチッと音がするまで静かに本体に押し込みます。



▲注意 ペーパーデッキを閉じるときは、すき間に指をはさまないように注意してください。

5 画面の指示に従って操作します。

メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→紙づまりが起こったときの表示：P.2-9)

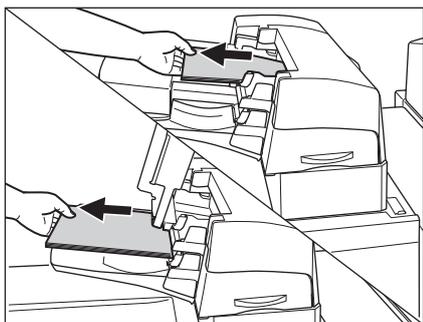
インサーター・H1 の紙づまりの処理 (オプション)

インサーター・H1 で紙づまりが起こると、タッチパネルディスプレイに紙づまりを取り除くよう促す画面が表示されます。紙づまり位置を確認して、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

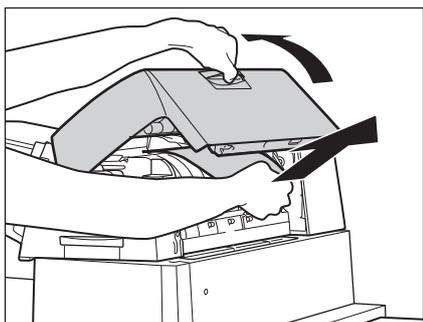
▲注意

- 原稿づまりや紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切らないように、注意してください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。
- インサーター・H1のインサーター部はフィニッシャーの紙づまりの処理を行うときに部位が干渉することがあります。フィニッシャーの紙づまりの処理を行う前にあらかじめインサーター部を持ち上げてください。

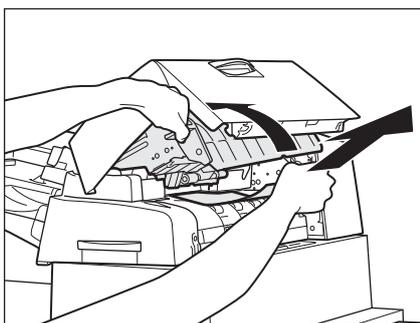
1 インサーター上の紙づまりしていない用紙をいったんすべて取り除きます。



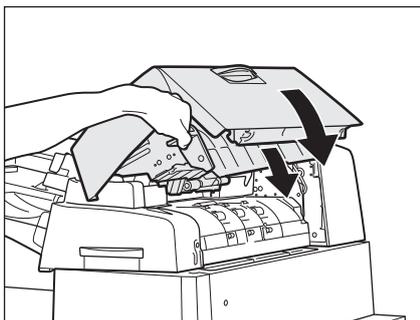
2 I-1 ガイド (インサーター上カバー) を開いて、つまっている用紙を取り除きます。



- 3** I-12 ガイドを開いて、つまっている用紙を取り除きます。

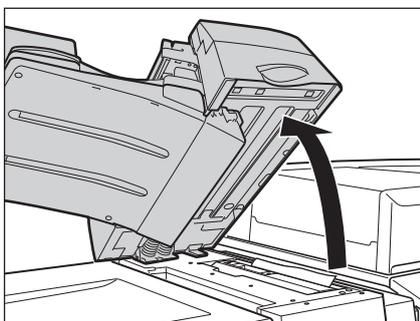


- 4** I-12 ガイド、I-11 ガイドの順に閉じます。



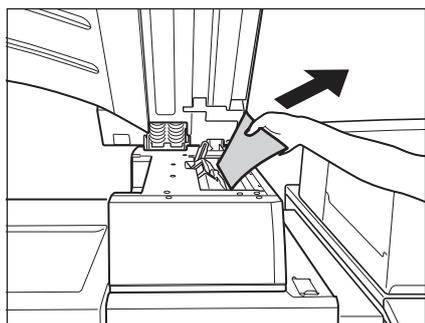
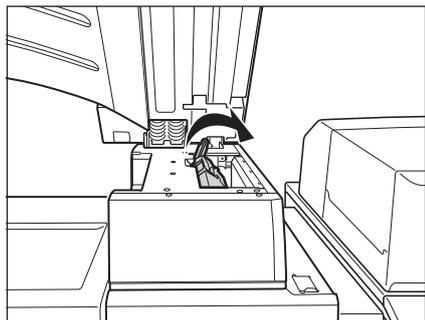
⚠注意 ガイドを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

- 5** インサーターを開きます。

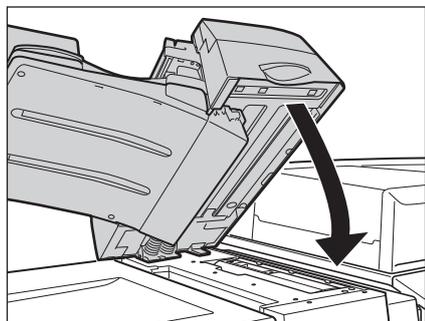


- 6** I-13 ガイドを開きます。

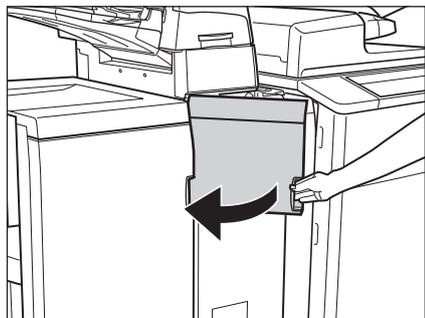


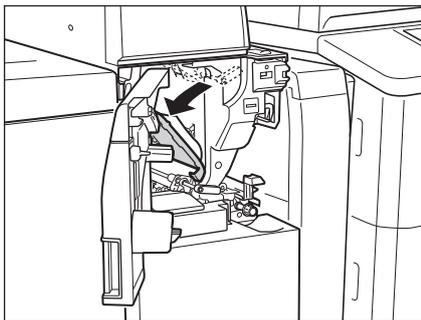
7 つまっている用紙を取り除きます。**8** I-3 ガイドを閉じます。

▲注意 ガイドを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

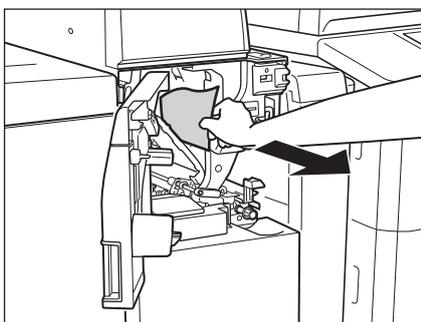
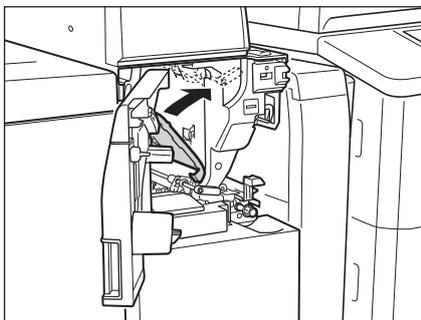
9 インサーターを閉じます。

▲注意 インサーターは手をはさまないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。

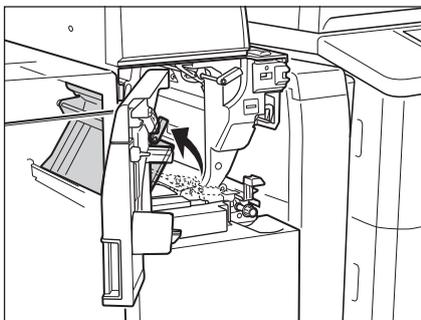
10 インサーターの前カバーを開きます。

11 I-A1 ガイドを開きます。

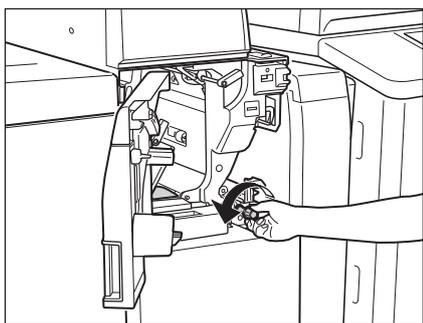
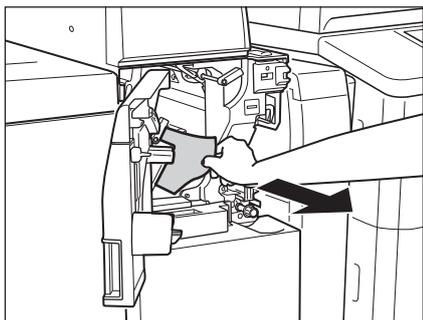
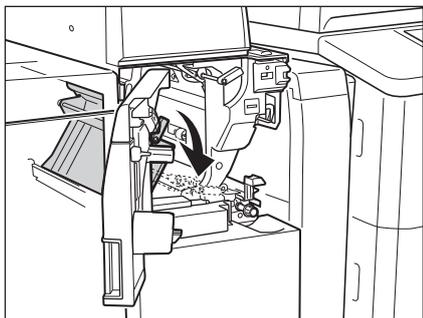
⚠注意 手をぶつけないようガイドは静かに開いてください。

12 つまっている用紙を取り除きます。**13** I-A1 ガイドを閉じます。

⚠注意 ガイドを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

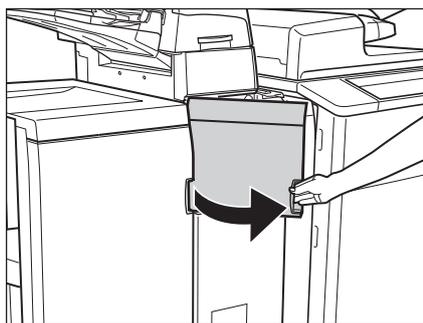
14 I-A2 ガイドを開きます。

⚠注意 手をぶつけないようガイドは静かに開いてください。

15 I-A3 ノブを回します。**16** つまっている用紙を取り除きます。**17** I-A2 ガイドを閉じます。

▲注意 ガイドを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

18 インサーターの前カバーを閉じます。

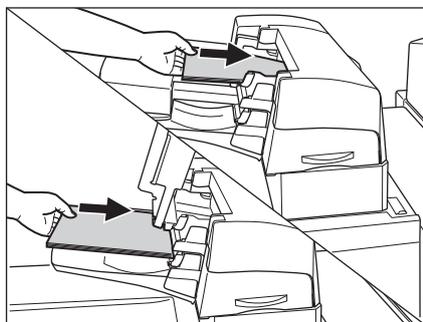


⚠ 注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

メモ 紙づまりの処理を行っても、紙づまりのメッセージが表示される場合は、入口ガイドを開いて用紙が残っていないかを確認してください。



19 インサーターに用紙をセットしなおします。



20 画面の指示に従って操作します。

メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→紙づまりが起こったときの表示：P.2-9)

ペーパーフォールディングインサーターユニット・G1（インサーター一部）の紙づまりの処理（オプション）

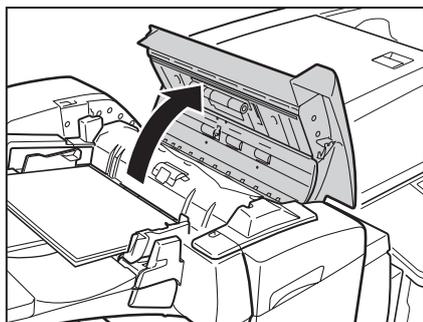
ペーパーフォールディングインサーターユニット・G1のインサーター一部で紙づまりが起こると、タッチパネルディスプレイに紙づまりを取り除くよう促す画面が表示されます。紙づまり位置を確認して、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

⚠警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

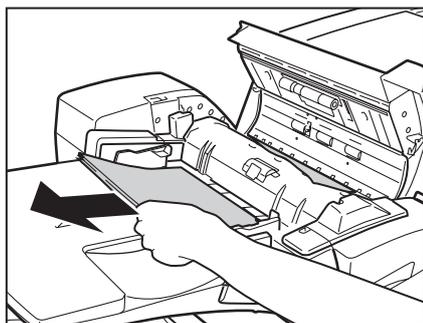
⚠注意

- 原稿づまりや紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切らないように、注意してください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

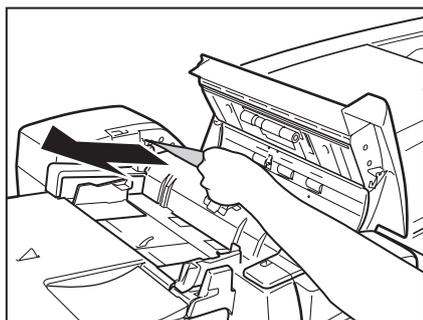
1 ペーパーフォールディングインサーターユニットの上カバーを開きます。



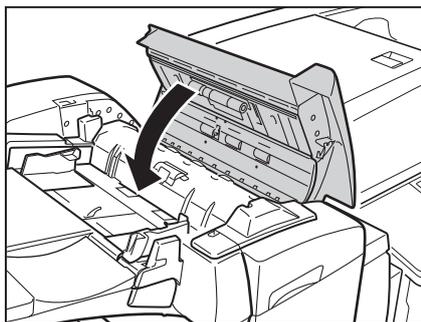
2 紙づまりしていない用紙をいったんすべて取り除きます。



3 カバー内部のつまっている用紙を取り除きます。

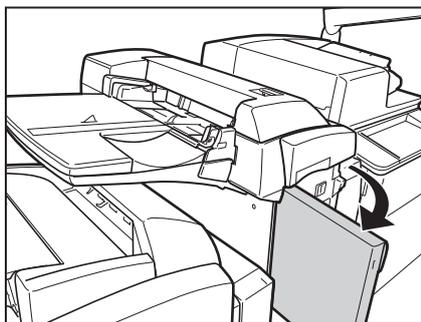


- 4 ペーパーフォールディングインサーターユニットの上カバーを閉じます。

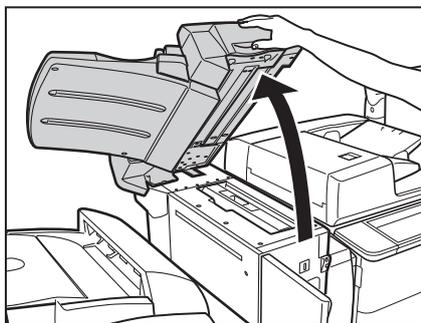


▲注意 上カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

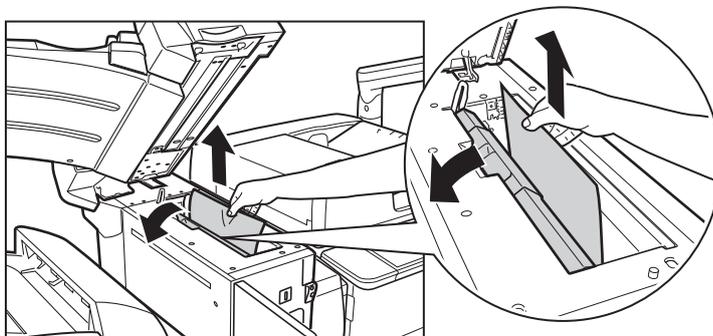
- 5 ペーパーフォールディングインサーターユニットの前カバーを開きます。



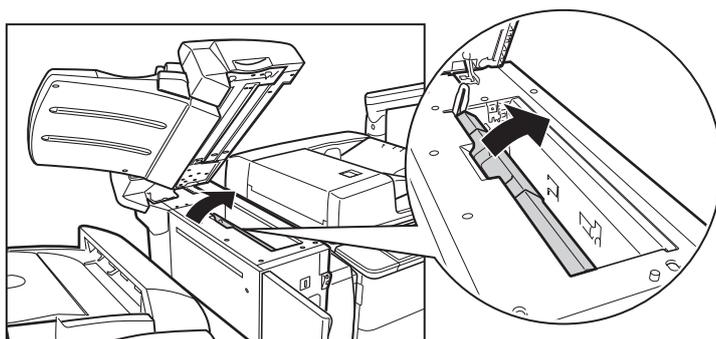
- 6 インサーターを開きます。



- 7 搬送部を開けたあと、つまっている用紙を取り除きます。

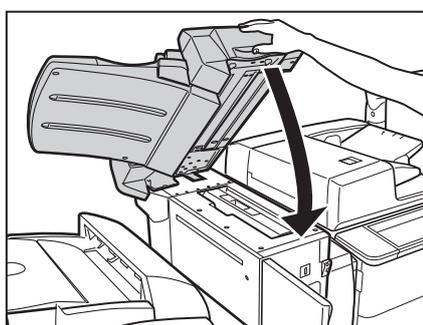


8 搬送部を閉じます。



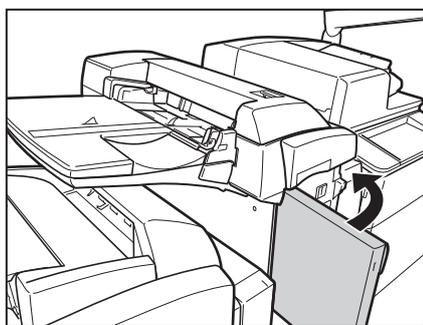
▲注意 搬送部を閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

9 インサターを閉じます。



▲注意 インサターを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

10 ペーパーフォールディングインサターユニットの前カバーを閉じます。



▲注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

11 画面の指示に従って操作します。

メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→紙づまりが起こったときの表示：P.2-9)

ペーパーフォールディングインサーターユニット・G1（インサーター内部）の紙づまりの処理（オプション）

ペーパーフォールディングインサーターユニット・G1のインサーター内部で紙づまりが起これると、タッチパネルディスプレイに紙づまりを取り除くよう促す画面が表示されます。紙づまり位置を確認して、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

⚠警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

⚠注意

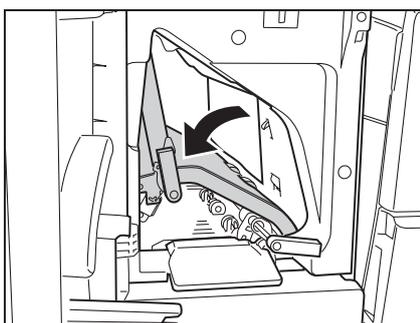
- 原稿づまりや紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端を手を切らないように、注意してください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

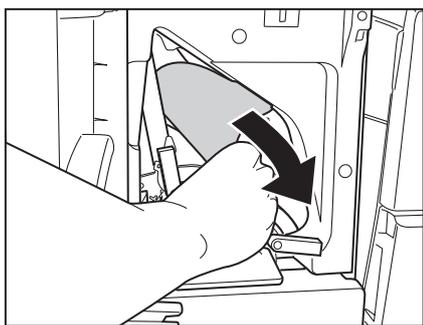
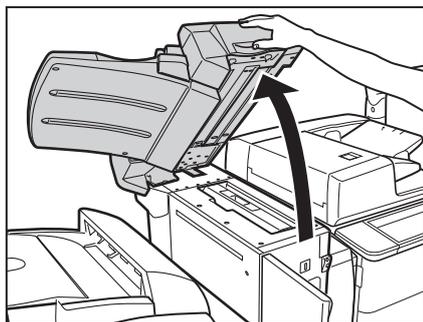
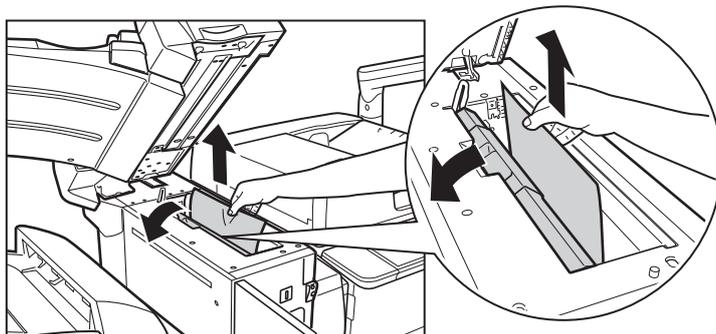
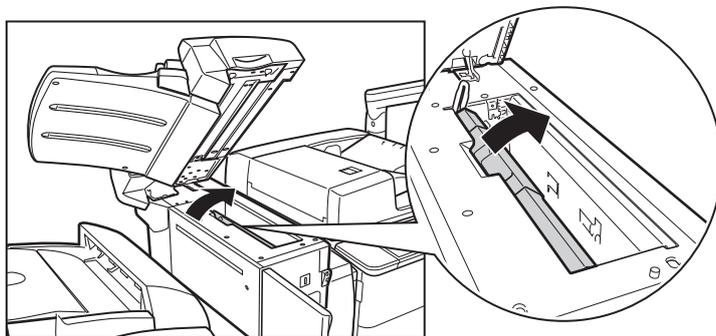
👉重要 針ケースの交換、パンチ屑の処理や紙づまりや針づまりを取り除くために、装着しているオプション機器のカバーを開けている状態でも、正常に動作しているオプション機器へのコピー／プリントの出力は行われる場合があります。装着しているオプション機器のお取り扱いにはご注意ください。

1 ペーパーフォールディングインサーターユニットの前カバーを開きます。



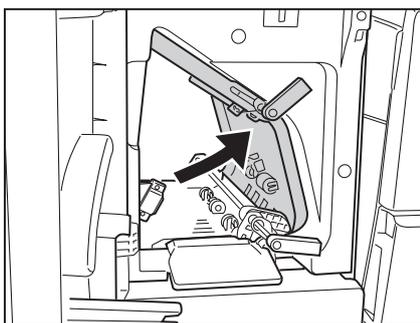
2 搬送ガイド（上）を開きます。



3 つまっている用紙を取り除きます。**4** インサーターを開きます。**5** 搬送部を開けたあと、つまっている用紙を取り除きます。**6** 搬送部を閉じます。

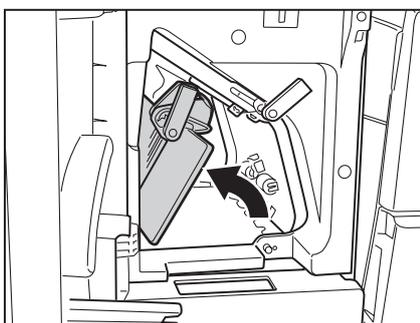
▲注意 搬送部を閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

7 搬送ガイド（上）を閉じます。

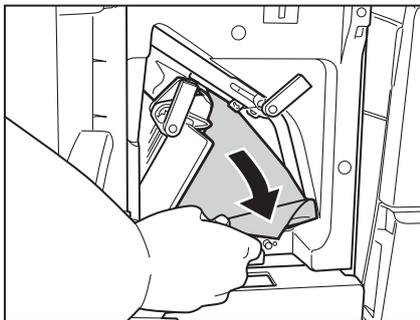


▲注意 搬送ガイドを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

8 搬送ガイド（下）を開きます。



9 つまんでいる用紙を取り除きます。

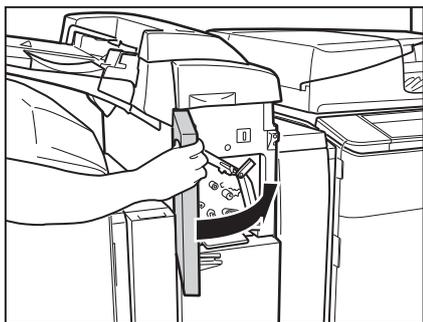


10 搬送ガイド（下）を閉じます。



▲注意 搬送ガイドを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

11 ペーパーフォールディングインサーターユニットの前カバーを閉じます。



▲注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

12 画面の指示に従って操作します。

メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→紙づまりが起こったときの表示：P.2-9)

ペーパーフォールディングインサーターユニット・G1 の紙づまりの処理（オプション）

ペーパーフォールディングインサーターユニット・G1 で紙づまりが起これると、タッチパネルディスプレイに紙づまりを取り除くよう促す画面が表示されます。紙づまり位置を確認して、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

注意

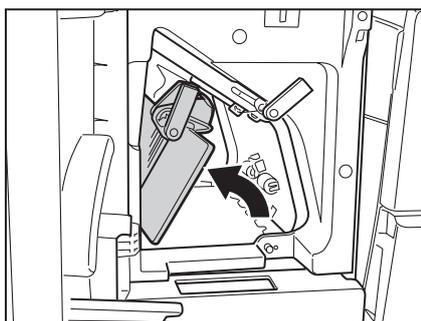
- 原稿づまりや紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切らないように、注意してください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

重要 針ケースの交換、パンチ屑の処理や紙づまりや針づまりを取り除くために、装着しているオプション機器のカバーを開けている状態でも、正常に動作しているオプション機器へのコピー／プリントの出力は行われる場合があります。装着しているオプション機器のお取り扱いにはご注意ください。

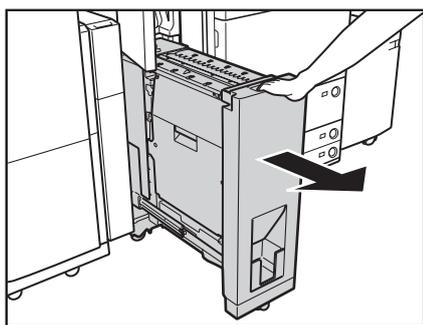
1 ペーパーフォールディングインサーターユニットの前カバーを開きます。



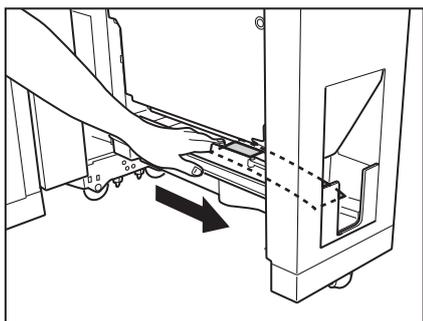
2 搬送ガイド（下）を開きます。



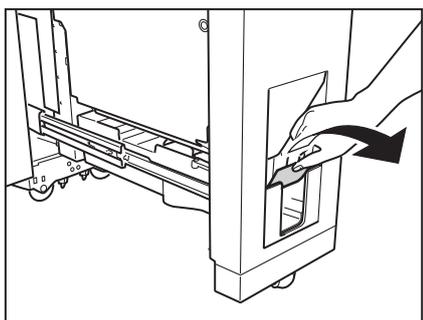
- 3** ペーパーフォールディングインサーターユニットを引き出します。



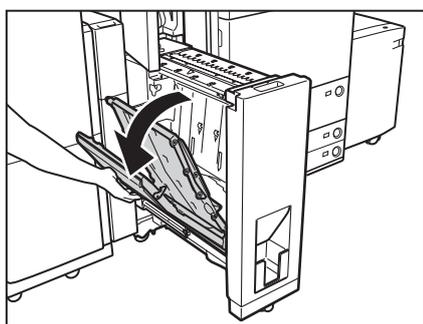
- 4** 排紙部につまった用紙を押し出します。

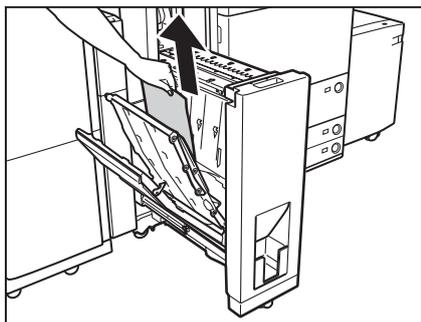


- 5** 押し出された用紙を取り除きます。

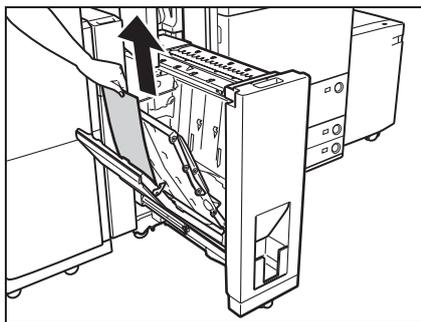


- 6** 左ガイドを開きます。

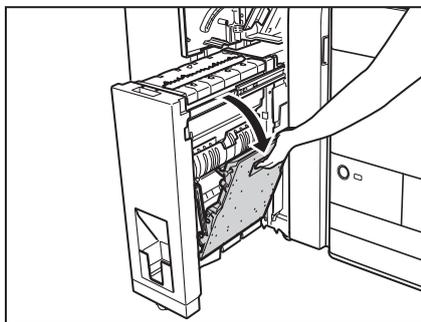
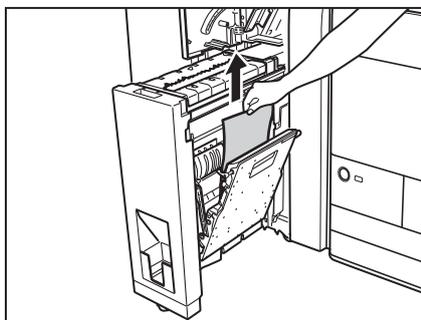


7 左ガイド内につまっている用紙を取り除きます。

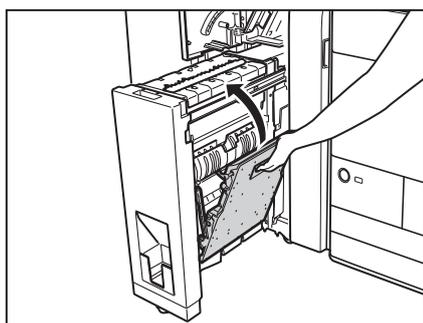
奥側に紙づまりがあった場合



手前側に紙づまりがあった場合

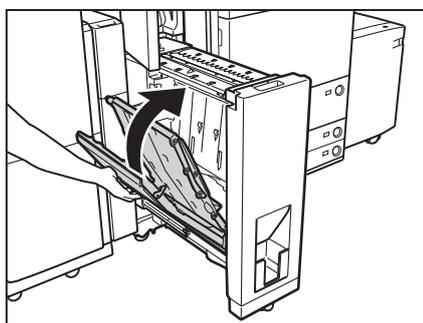
8 右ガイドを開きます。**9** 右ガイド内につまっている用紙を取り除きます。

10 右ガイドを閉じます。



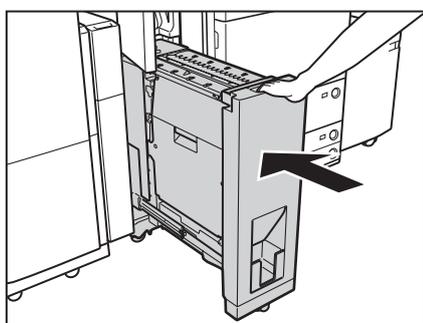
▲注意 右ガイドを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

11 左ガイドを閉じます。



▲注意 左ガイドを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

12 ペーパーフォールディングインサーターユニットを元の位置に戻します。



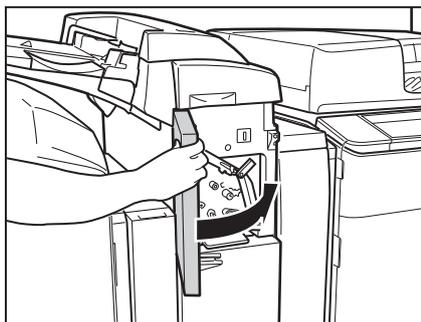
▲注意 ペーパーフォールディングインサーターユニットは手をはさまないように静かに戻してください。けがの原因になることがあります。

13 搬送ガイド（下）を閉じます。



▲注意 搬送ガイドを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

14 ペーパーフォールディングインサーターユニットの前カバーを閉じます。



▲注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

15 画面の指示に従って操作します。

メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→紙づまりが起こったときの表示：P.2-9)

ペーパーフォールディングユニット・G1 の紙づまりの処理（オプション）

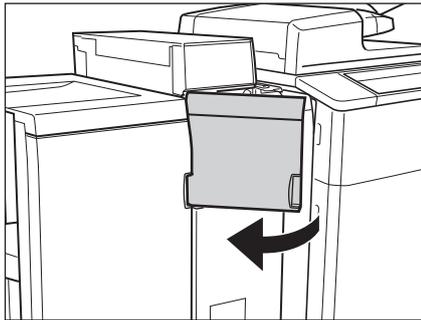
ペーパーフォールディングユニット・G1 で紙づまりが起こると、タッチパネルディスプレイに紙づまりを取り除くよう促す画面が表示されます。紙づまり位置を確認して、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

- ▲注意**
- 原稿づまりや紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切らないように、注意してください。
 - 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。

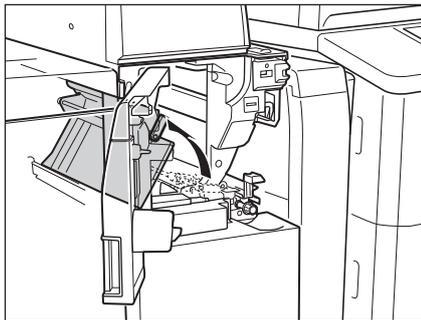
2

困ったときには

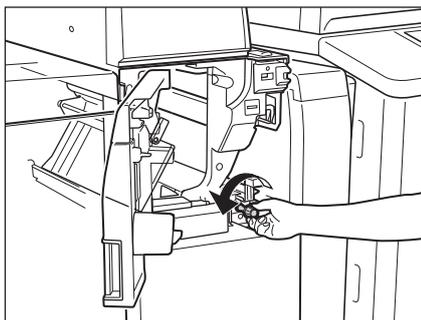
1 ペーパーフォールディングユニットの前カバーを開きます。



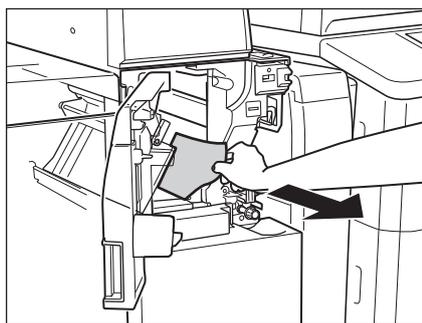
2 M-A2 ガイドを開きます。



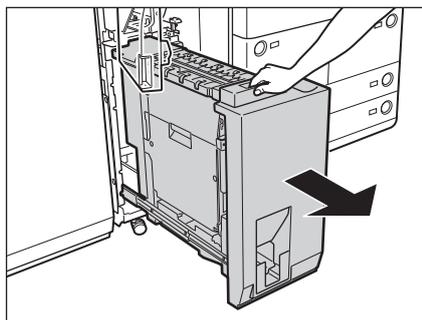
3 M-A3 ノブを回します。



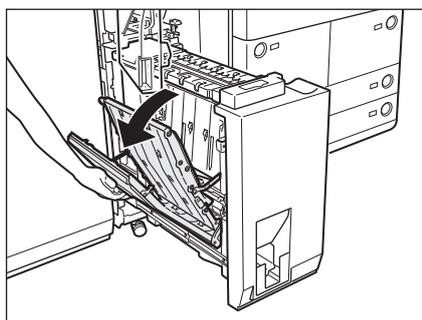
4 つまっている用紙を取り除きます。



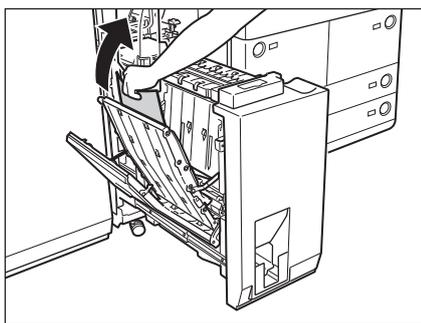
5 M-B1 ガイド（折りユニット）を引き出します。



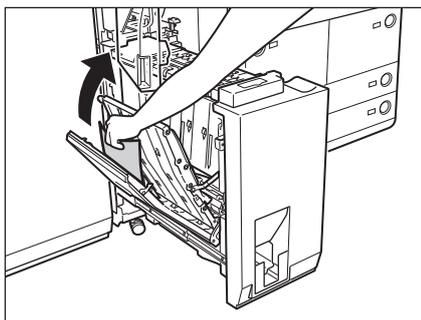
6 M-B2 ガイド（左ガイド）を開きます。



7 つまっている用紙を取り除きます。

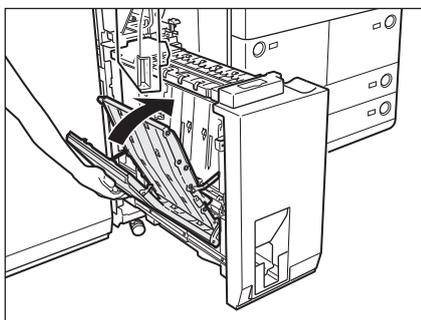


奥側に紙づまりがあった場合



手前側に紙づまりがあった場合

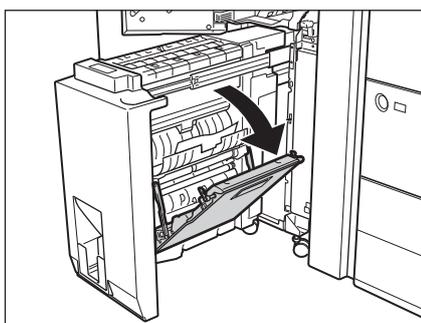
8 M-B2 ガイドを閉じます。



▲注意 ガイドを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

9 M-B3 ガイド（右ガイド）を開きます。

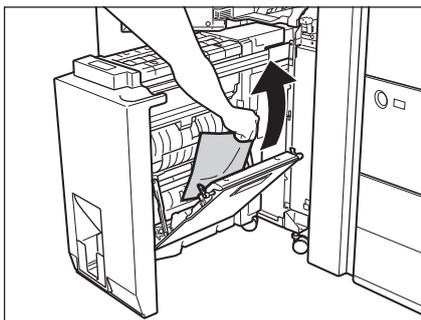
ガイドは、完全に開くまで引いてください。



10 つまっている用紙を取り除きます。

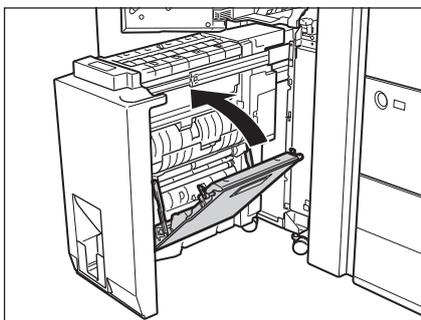


奥側に紙づまりがあった場合



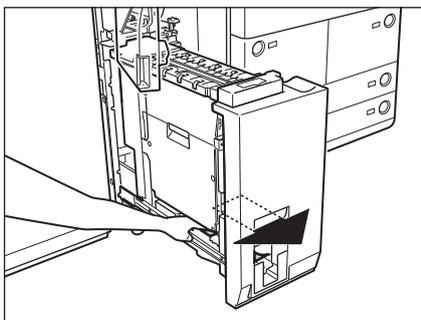
手前側に紙づまりがあった場合

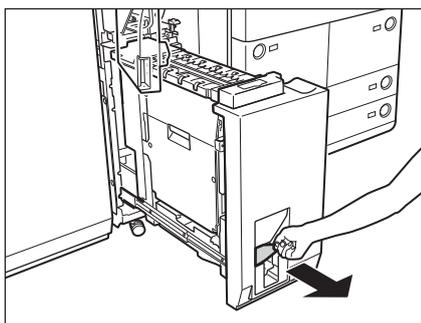
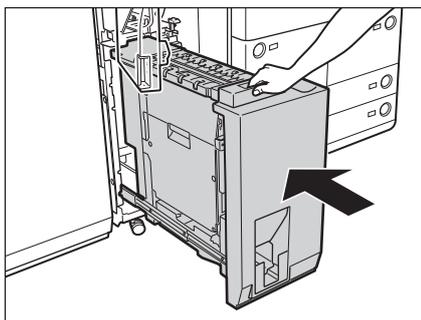
11 M-B3 ガイドを閉じます。



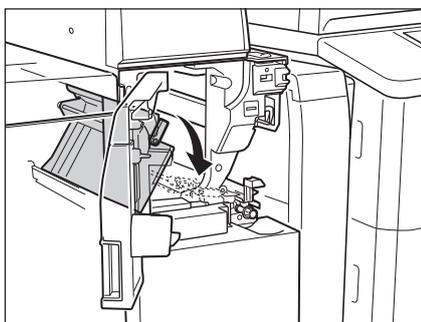
▲注意 ガイドを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

12 排紙部につまった用紙を押し出します。



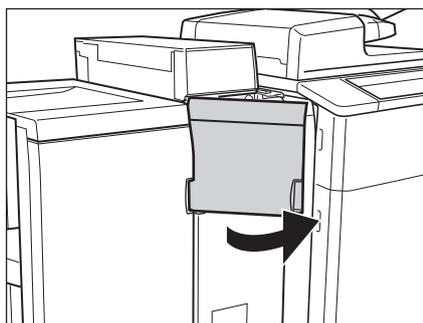
13 押し出された用紙を取り除きます。**14** M-B1 ガイド（折りユニット）を元の位置に戻します。

▲注意 折りユニットはすき間に指をはさまないように静かに戻してください。けがの原因になることがあります。

15 M-A2 ガイドを閉じます。

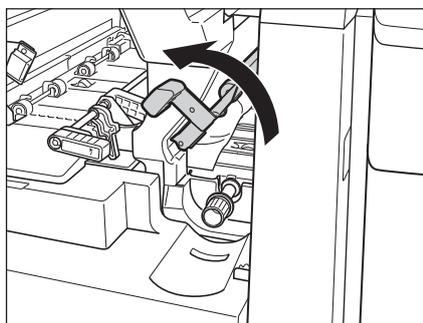
▲注意 ガイドを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

16 ペーパーフォールディングユニットの前カバーを閉じます。



▲注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

メモ 紙づまりの処理を行っても、紙づまりのメッセージが表示される場合は、入口ガイドを開いて用紙が残っていないかを確認してください。



17 画面の指示に従って操作します。

メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→紙づまりが起こったときの表示：P.2-9)

ステイプルフィニッシャー・A1 (LP) / 中綴じフィニッシャー・A1 (LP) の前カバー内部の紙づまりの処理 (オプション)

ステイプルフィニッシャー・A1 (LP) / 中綴じフィニッシャー・A1 (LP) の前カバー内部で紙づまりが起こると、タッチパネルディスプレイに紙づまりを取り除くよう促す画面が表示されます。紙づまり位置を確認して、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

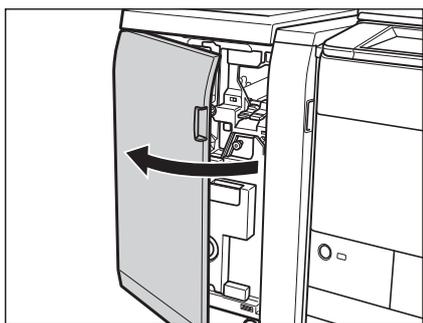
⚠ 警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

⚠ 注意

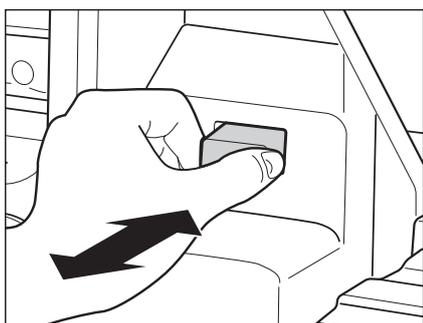
- 原稿づまりや紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

📌 重要 針ケースの交換、パンチ屑の処理や紙づまりや針づまりを取り除くために、装着しているオプション機器のカバーを開けている状態でも、正常に動作しているオプション機器へのコピー/プリントの出力は行われる場合があります。装着しているオプション機器のお取り扱いにはご注意ください。

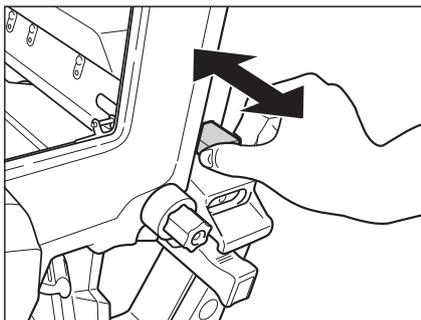
1 フィニッシャーの前カバーを開きます。



2 F-A1 ガイドをスライドさせ指標にあわせます。



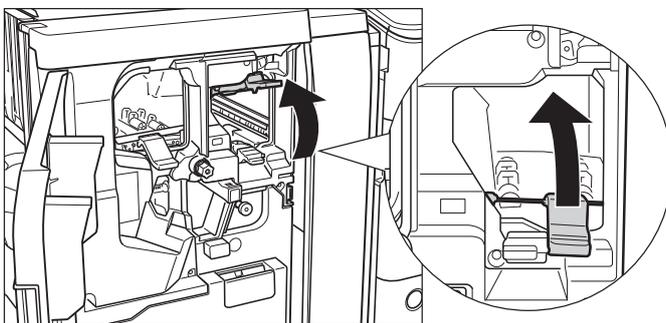
中綴じフィニッシャー・A1 (LP) が装着されている場合



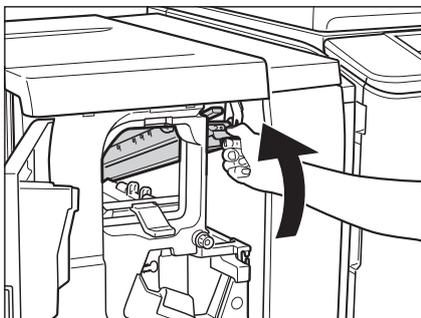
ステイプルフィニッシャー・A1 (LP) が装着されている場合

この手順はパンチャーユニット・BE1 装着時のみ行います。

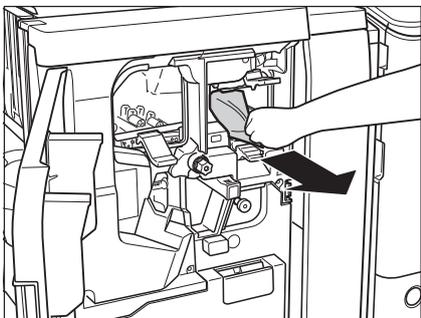
3 F-B1 ガイドを開きます。



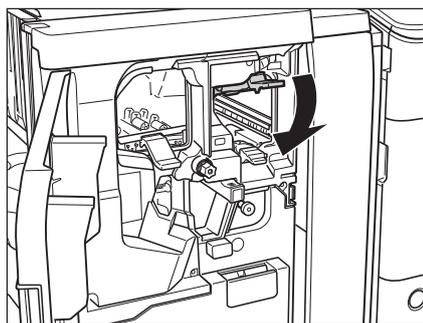
ステイプルフィニッシャー・A1 (LP) を装着している場合は入り口ガイドを開きます。



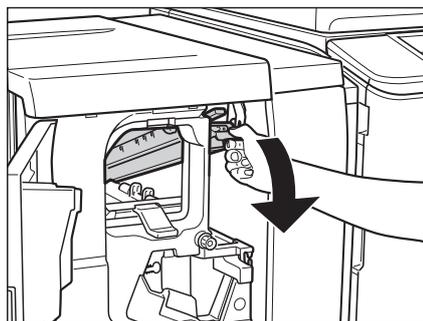
4 つまっている用紙を取り除きます。



5 F-B1 ガイドを閉じます。



ステイプルフィニッシャー・A1 (LP) を装着している場合は入り口ガイドを閉じます。



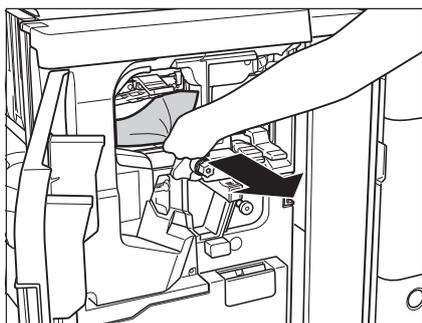
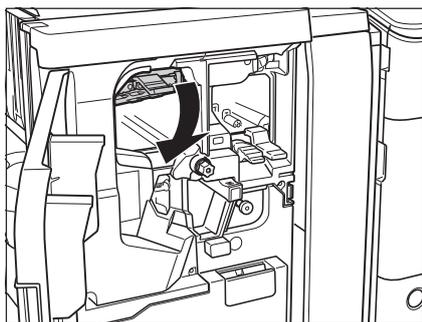
▲注意 ガイドを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

6 F-B2 ガイドを開きます。

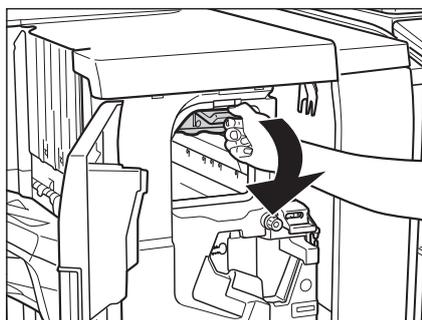


ステイプルフィニッシャー・A1 (LP) を装着している場合は F-B1 ガイドを開きます。



7 つまっている用紙を取り除きます。**8** F-B2 ガイドを閉じます。

ステイブルフィニッシャー・A1 (LP) を装着している場合は F-B1 ガイドを閉じます。



⚠ 注意 ガイドを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

9 F-B3 ダイヤルを左に回します。



ステイプルフィニッシャー・A1 (LP) を装着している場合は F-B2 ダイヤルを回します。

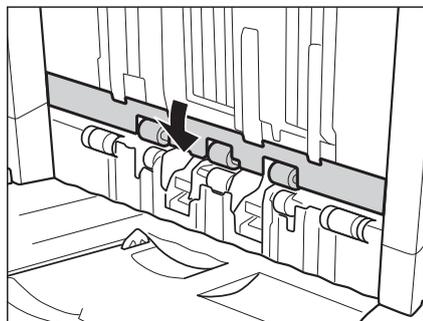


10 F-B4 ガイドを開き、つまっている用紙を取り除きます。



ステイプルフィニッシャー・A1 (LP) を装着している場合は F-B3 ガイドを開き、つまっている用紙を取り除きます。

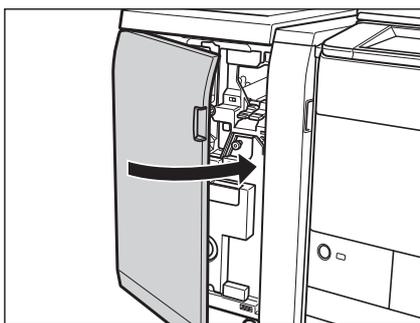
11 F-B4 ガイドを閉じます。



ステイプルフィニッシャー・A1 (LP) を装着している場合は F-B3 ガイドを閉じます。

▲注意 ガイドを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

12 フィニッシャーの前カバーを閉じます。



▲注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

13 画面の指示に従って操作します。

メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→紙づまりが起こったときの表示：P.2-9)

中綴じフィニッシャー・A1 (LP) の中とじユニットの紙づまりの処理

中綴じフィニッシャー・A1 (LP) の中とじユニットで紙づまりが起こると、タッチパネルディスプレイに紙づまりを取り除くよう促す画面が表示されます。紙づまり位置を確認して、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

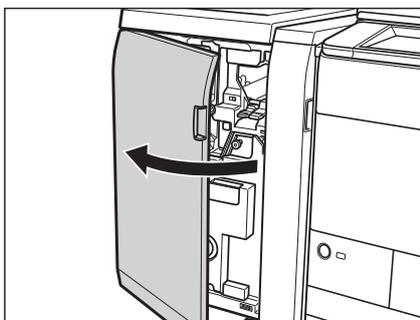
▲警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

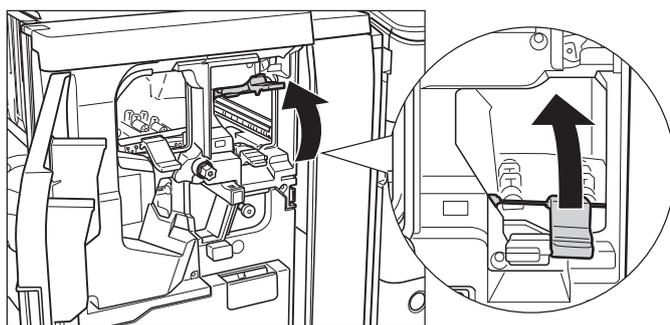
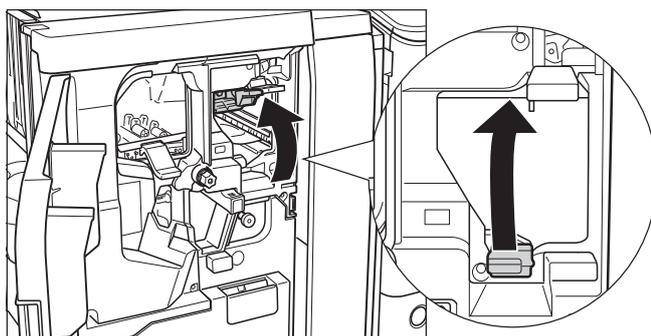
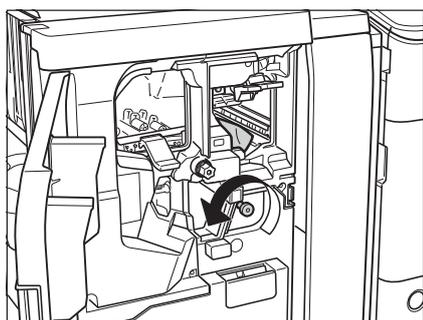
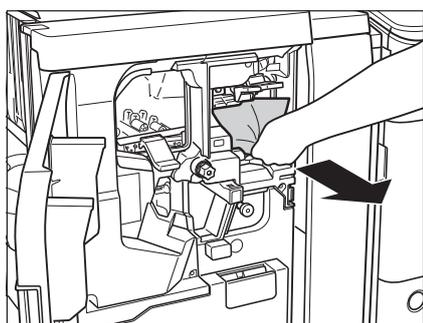
▲注意

- 原稿づまりや紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当 サービスにお問い合わせください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

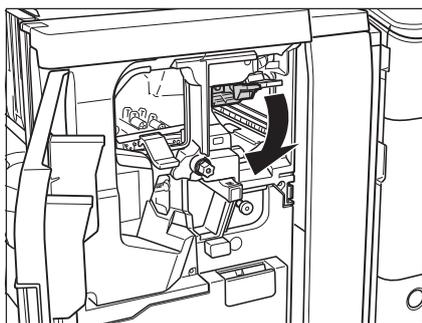
👉重要 針ケースの交換、パンチ屑の処理や紙づまりや針づまりを取り除くために、装着しているオプション機器のカバーを開けている状態でも、正常に動作しているオプション機器へのコピー／プリントの出力は行われる場合があります。装着しているオプション機器のお取り扱いにはご注意ください。

1 フィニッシャーの前カバーを開きます。



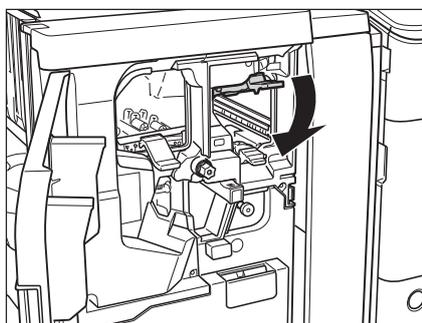
2 F-C1 ガイドを開きます。**3** F-C2 ガイドを開きます。**4** F-C3 ノブを左に回して、つまっている用紙を F-C2 ガイドに送ります。**5** つまっている用紙を取り除きます。

6 F-C2 ガイドを閉じます。



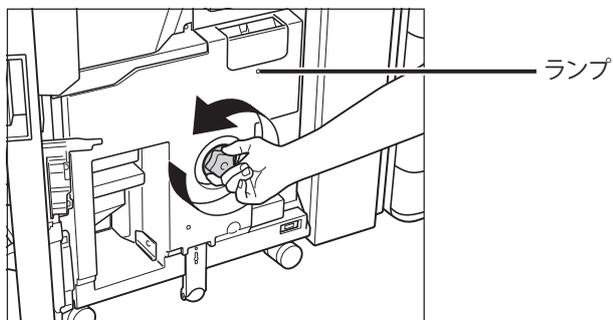
▲注意 ガイドを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

7 F-C1 ガイドを閉じます。



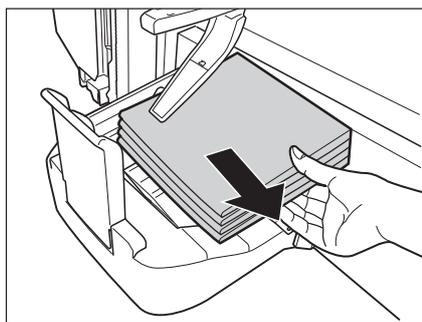
▲注意 ガイドを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

8 F-C4 ノブをランプが消灯するまで、押しながら左に回してください。

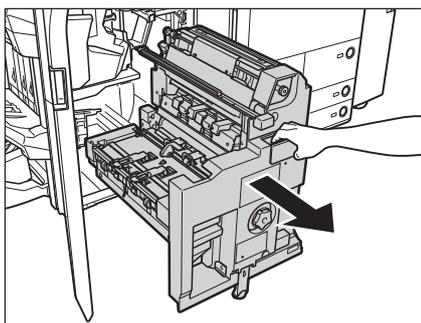


ランプが消灯しているときは、手順9へ進みます。

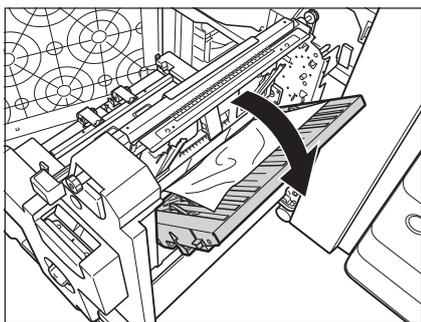
9 製本トレイからつまっている用紙を取り除きます。



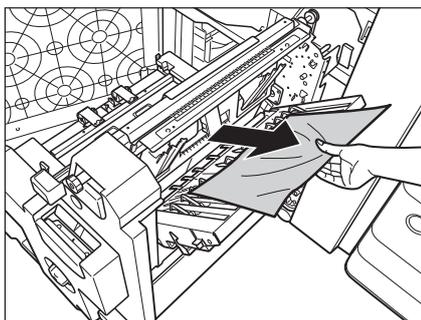
10 中とじユニット (F-C5) を引き出します。



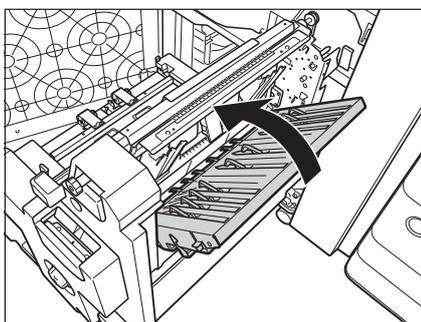
11 中とじユニット (F-C6) の右カバーを開きます。



12 つまっている用紙を取り除きます。



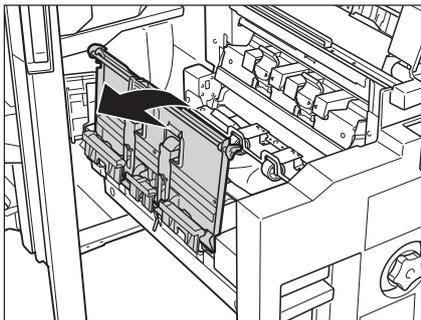
13 中とじユニット (F-C6) の右カバーを閉じます。



▲注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

● 搬送ベルトに紙片が残っている場合はガイドを開いて、紙片を取り除いてください。

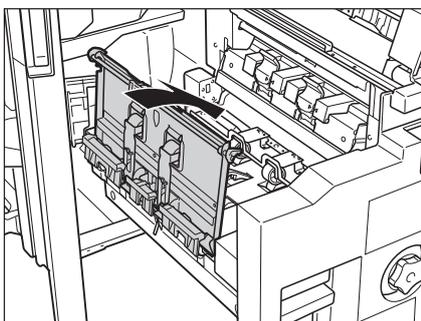
- 搬送ガイドを開きます。



- つまっている用紙を取り除きます。



- 搬送ガイドを閉じます。

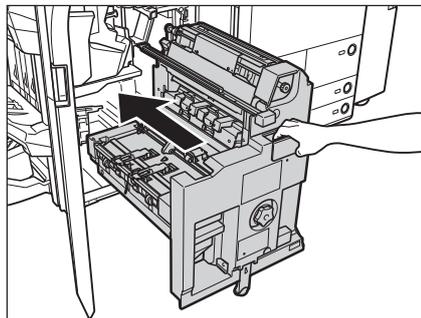


⚠ 注意 ガイドを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

👉 重要 この処理はインナートリマー・A1が装着されていない場合のみ行います。

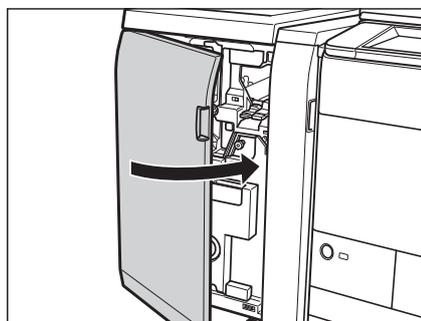
14 中とじユニット (F-C5) を押し込みます。

中とじユニットは、奥まで押し込まれたことを必ず確認してください。



▲注意 中とじユニットは手をはさまないように静かに戻してください。けがの原因になることがあります。

15 フィニッシャーの前カバーを閉じます。



▲注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

16 画面の指示に従って操作します。

メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→紙づまりが起こったときの表示：P.2-9)

ステイプルフィニッシャー・B1 / 中綴じフィニッシャー・B1 の上カバー内部の紙づまりの処理 (オプション)

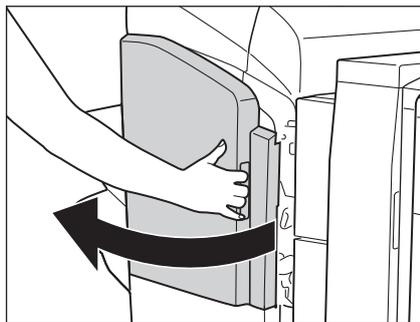
ステイプルフィニッシャー・B1 / 中綴じフィニッシャー・B1 で紙づまりが起こると、タッチパネルディスプレイに紙づまりを取り除くよう促す画面が表示されます。紙づまり位置を確認して、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

⚠警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

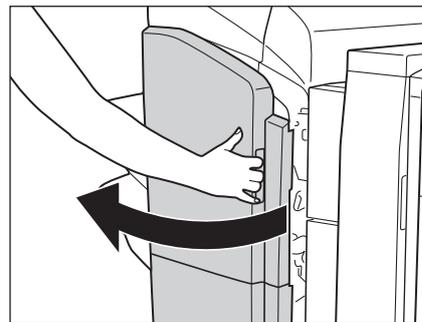
⚠注意

- 紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れが取れなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

1 フィニッシャーの前カバーを開きます。



ステイプルフィニッシャー・B1



中綴じフィニッシャー・B1

ペーパーフォールディングインサーターユニット・G1 を装着している場合は、インサーターを持ち上げます。(→ e-マニュアル > オプションについて (imageRUNNER ADVANCE C7065/C7055))

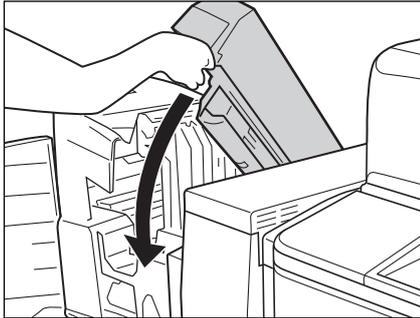
2 フィニッシャーの上カバーを開きます。



3 つまっている用紙を取り除きます。



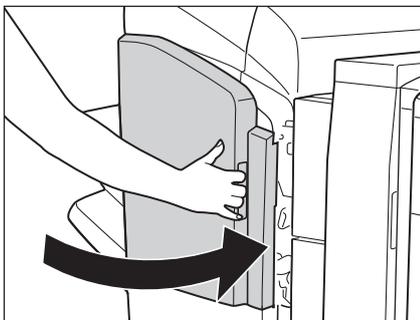
4 上カバーを閉じます。



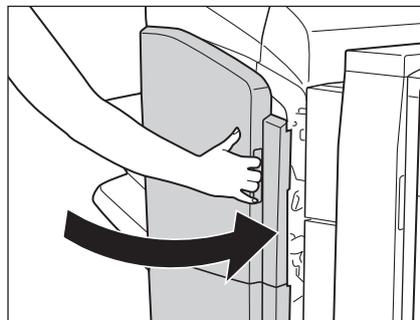
手順1でインサーターを持ち上げた場合は、インサーターを元に戻します。

▲注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

5 フィニッシャーの前カバーを閉じます。



ステイブルフィニッシャー・B1



中綴じフィニッシャー・B1

▲注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

6 画面の指示に従って操作します。

メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→紙づまりが起こったときの表示：P.2-9)

ステイプルフィニッシャー・B1 / 中綴じフィニッシャー・B1 の排紙搬送部の紙づまりの処理 (オプション)

ステイプルフィニッシャー・B1 / 中綴じフィニッシャー・B1 の排紙搬送部で紙づまりが起こると、タッチパネルディスプレイに紙づまりを取り除くよう促す画面が表示されます。紙づまり位置を確認して、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

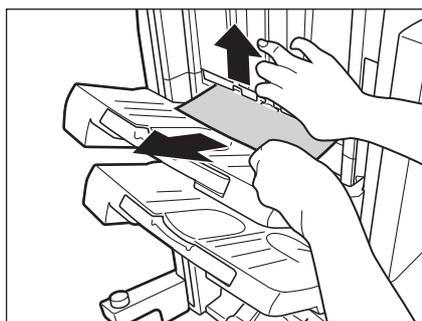
⚠警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

⚠注意

- 紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れが取れなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

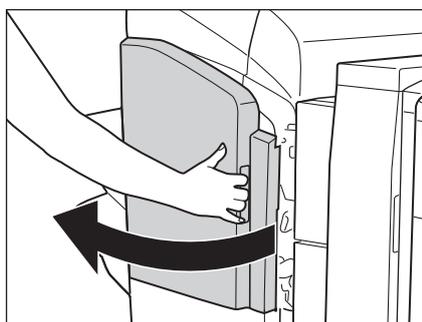
1 排紙部を開いて、外側から見えている用紙を取り除きます。

用紙が見えない場合は、排紙部内につままっている用紙がないか確認してください。

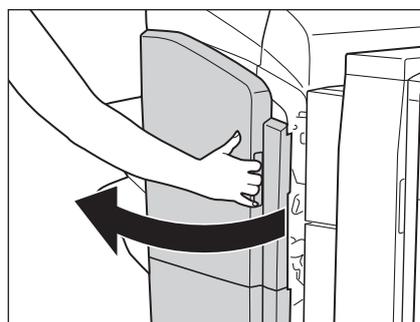


👉重要 ホチキスを設定してプリントしていた場合、ホチキスされる前の出力中の束は取り除かないでください。(紙づまりを処理したあと、続きから出力されます。)

2 フィニッシャーの前カバーを開きます。

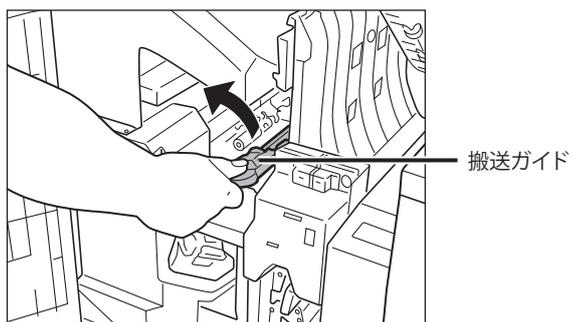
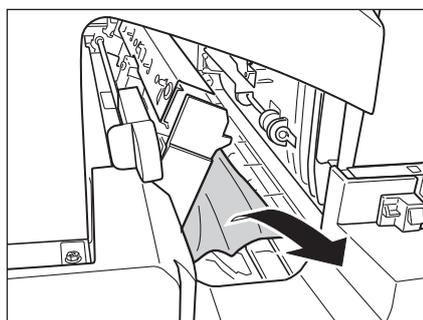
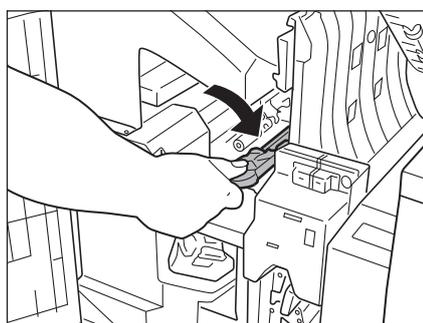


ステイプルフィニッシャー・B1



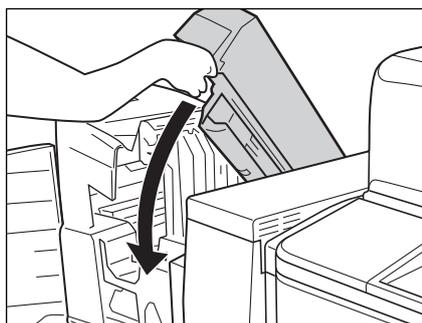
中綴じフィニッシャー・B1

ペーパーフォールディングインサーターユニット・G1 を装着している場合は、インサーターを持ち上げます。(→ e-マニュアル > オプションについて (imageRUNNER ADVANCE C7065/C7055))

3 フィニッシャーの上カバーを開きます。**4** 搬送ガイドを開きます。**5** つまっている用紙をすべて取り除きます。**6** 搬送ガイドを閉じます。

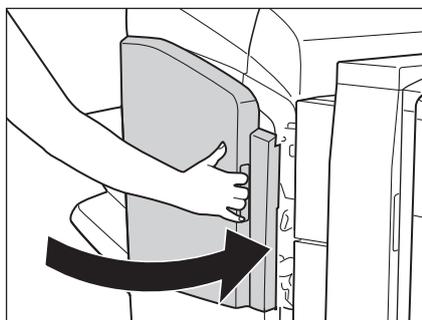
▲注意 ガイドを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

7 フィニッシャーの上カバーを閉じます。

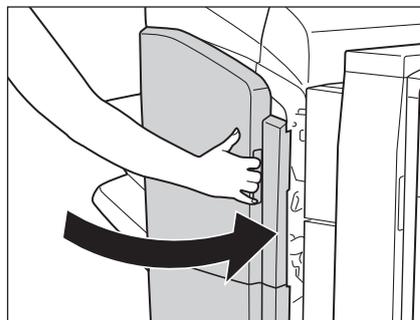


- ▲注意** カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまれないように注意してください。
手順2でインサーターを持ち上げた場合は、インサーターを元に戻します。

8 フィニッシャーの前カバーを閉じます。



ステイブルフィニッシャー・B1



中綴じフィニッシャー・B1

- ▲注意** カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまれないように注意してください。

9 画面の指示に従って操作します。

- メモ** 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→紙づまりが起こったときの表示：P.2-9)

中綴じフィニッシャー・B1 の前カバー部の紙づまりの処理（オプション）

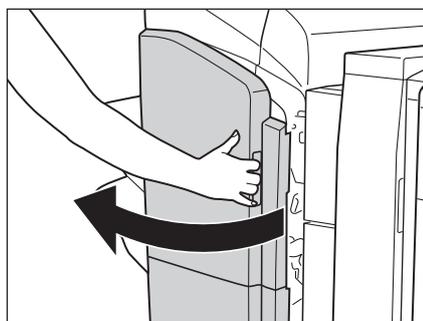
中綴じフィニッシャー・B1 の前カバー部で紙づまりが起こると、タッチパネルディスプレイに紙づまりを取り除くよう促す画面が表示されます。紙づまり位置を確認して、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

⚠警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

⚠注意

- 紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上のっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れが取れなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上のっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

1 フィニッシャーの前カバーを開きます。



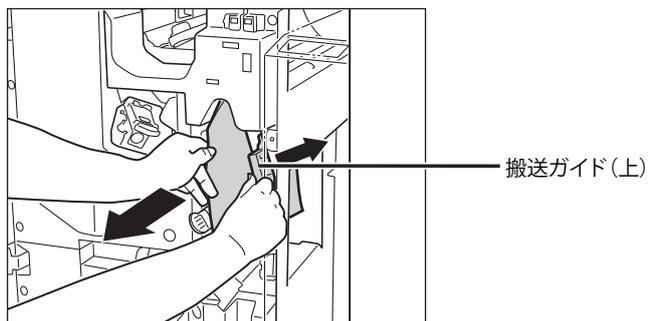
ペーパーフォールディングインサーターユニット・G1 を装着している場合は、インサーターを持ち上げます。（→ e-マニュアル> オプションについて（imageRUNNER ADVANCE C7065/C7055））

2 フィニッシャーの上カバーを開きます。



3 搬送ガイド（上）を開いて、つまっている用紙を取り除きます。

搬送ガイド（上）はバネが組み込まれています。搬送ガイド（上）を放すと元の位置に戻ります。



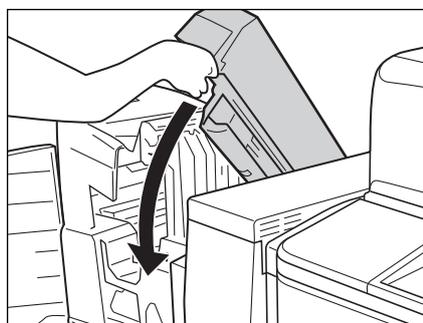
4 搬送ガイド（下）を開いて、つまっている用紙を取り除きます。



5 搬送ガイド（下）を元の位置まで戻します。

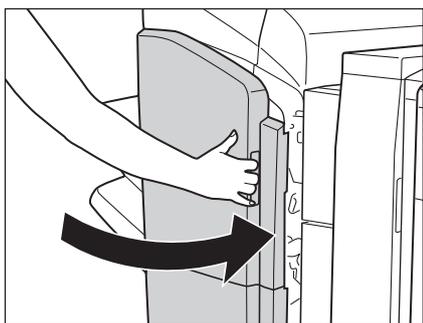


6 フィニッシャーの上カバーを閉じます。



▲注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。
手順1でインサーターを持ち上げた場合は、インサーターを元に戻します。

7 フィニッシャーの前カバーを閉じます。



▲注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

8 画面の指示に従って操作します。

メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→紙づまりが起こったときの表示：P.2-9)

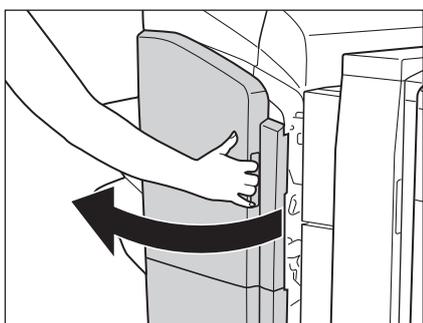
中綴じフィニッシャー・B1 の中とじユニットの紙づまりの処理 (オプション)

中綴じフィニッシャー・B1 の中とじユニットで紙づまりが起こると、タッチパネルディスプレイに紙づまりを取り除くよう促す画面が表示されます。紙づまり位置を確認して、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

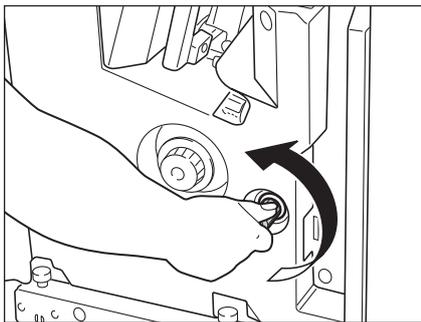
▲警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

- ▲注意**
- 紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
 - 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。
 - 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れが取れなくなることがあります。
 - 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

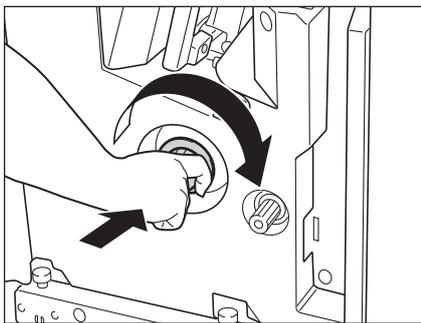
1 フィニッシャーの前カバーを開きます。



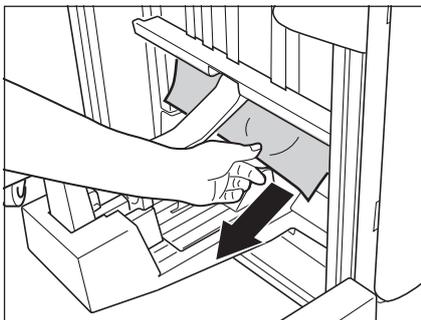
- 2 右側のつまみを左に止まるまで回します。



- 3 左側のつまみを押しながら右に回します。

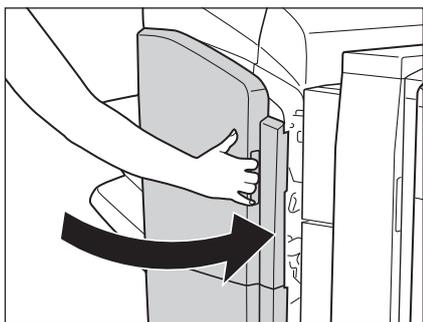


- 4 排紙部から見えている用紙を取り除きます。



- 5 搬送ガイド（下）を開いて、つまっている用紙を取り除きます。



6 搬送ガイド（下）を元の位置まで戻します。**7** フィニッシャーの前カバーを閉じます。

▲注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

8 画面の指示に従って操作します。

メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。（→紙づまりが起こったときの表示：P.2-9）

外付け2穴パンチャー・A1の紙づまりの処理（オプション）

外付け2穴パンチャー・A1で紙づまりが起こると、タッチパネルディスプレイに紙づまりを取り除くよう促す画面が表示されます。紙づまり位置を確認して、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

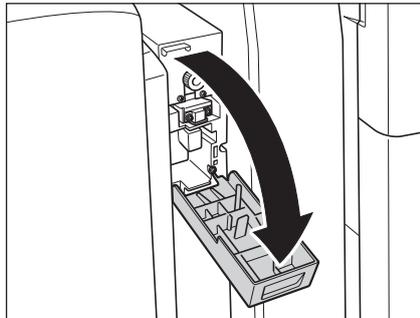
⚠警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、プレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

⚠注意

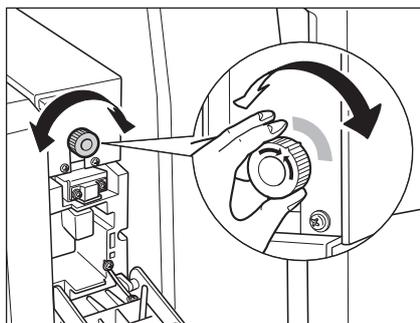
- 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れが取れなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上ののっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

メモ この処理は外付け2穴パンチャー・A1装着時のみ行います。

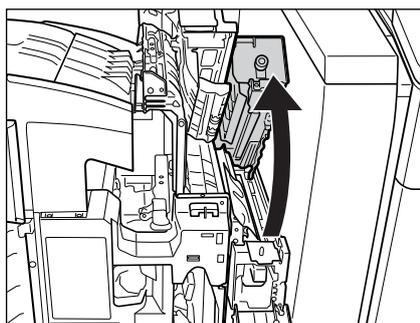
1 外付け2穴パンチャーの前カバーを開きます。



2 緑色のつまみを定位置にセットします。



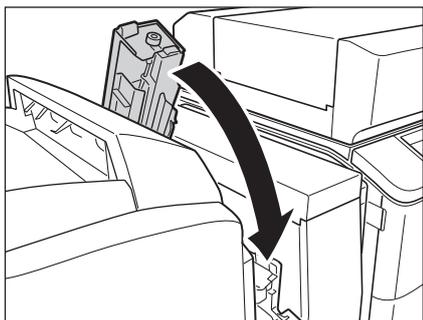
3 外付け2穴パンチャーの上カバーを開きます。



4 外付け2穴パンチャーからつまっている用紙を取り除きます。

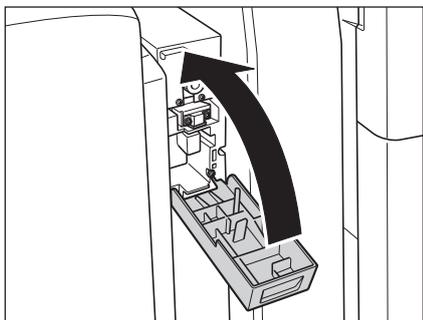


5 外付け2穴パンチャーの上カバーを閉じます。



⚠ 注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

6 外付け2穴パンチャーの前カバーを閉じます。



⚠ 注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

7 画面の指示に従って操作します。

メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。(→紙づまりが起こったときの表示：P.2-9)

針づまりが起きたときには

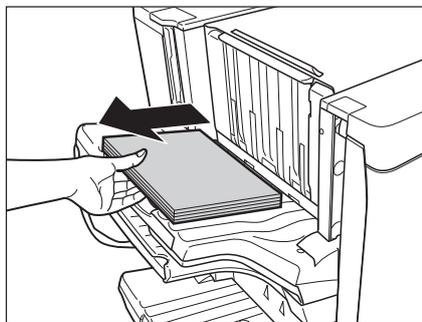
針づまりが起きたときには、以下の手順に従って針を取り除いてください。

ステイプルフィニッシャー・A1 (LP) / 中綴じフィニッシャー・A1 (LP) のホチキスユニットの針づまりの処理 (オプション)

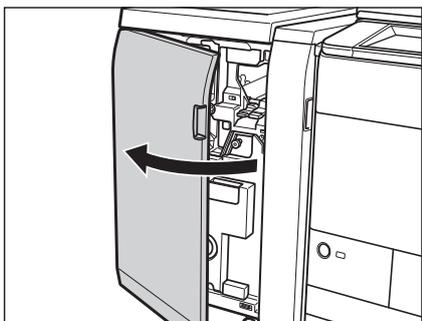
ステイプルフィニッシャー・A1 (LP) / 中綴じフィニッシャー・A1 (LP) のホチキスユニットで針づまりが起こると、タッチパネルディスプレイに針づまりを取り除くよう促す画面が表示されます。紙づまり位置を確認して、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って、つまっている針をすべて取り除いてください。

重要 針ケースの交換、パンチ屑の処理や紙づまりや針づまりを取り除くために、装着しているオプション機器のカバーを開けている状態でも、正常に動作しているオプション機器へのコピー/プリントの出力は行われる場合があります。装着しているオプション機器のお取り扱いにはご注意ください。

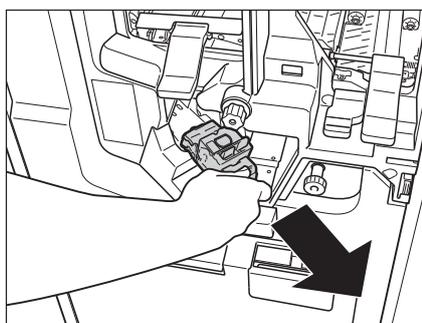
1 排紙トレイにある、ホチキス待ちの用紙を取り除きます。



2 フィニッシャーの前カバーを開きます。

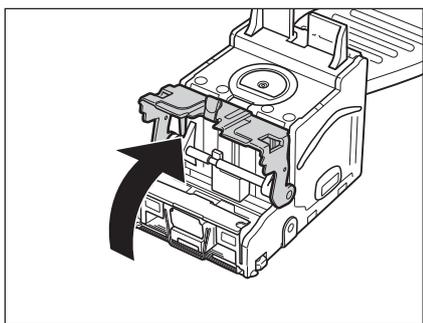
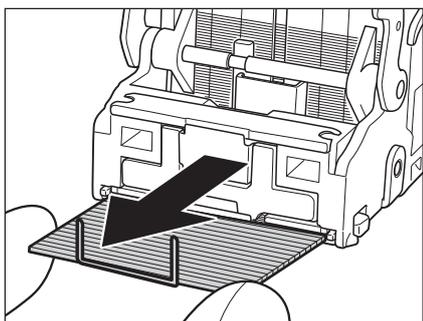
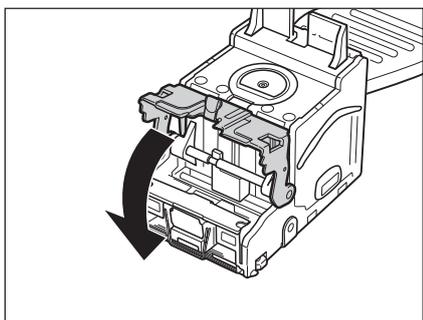


3 針カートリッジを引き出します。

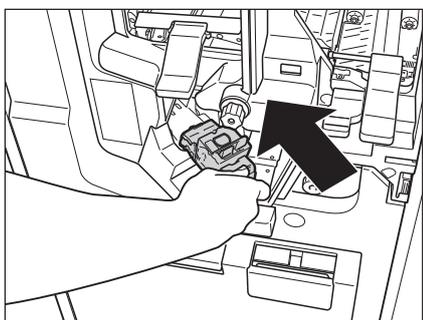


2

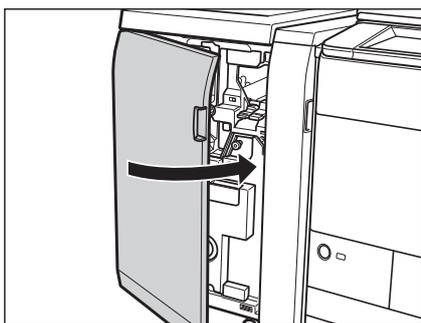
困ったときには

4 針カートリッジのつまみを上げます。**5** 針ケースからつままっている針束および露出している針をすべて取り除きます。**6** 針カートリッジのつまみを戻します。**7** 針カートリッジを元の位置に押し込みます。

針カートリッジは、奥まで押し込まれたことを必ず確認してください。



8 フィニッシャーの前カバーを閉じます。



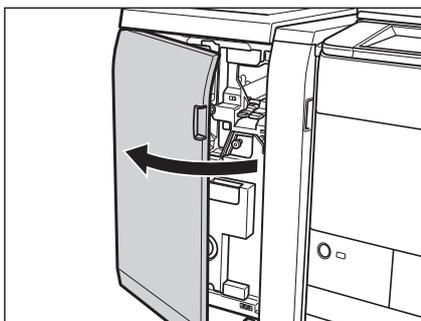
⚠注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

中綴じフィニッシャー・A1 (LP) の中とじユニットの針づまりの処理 (オプション)

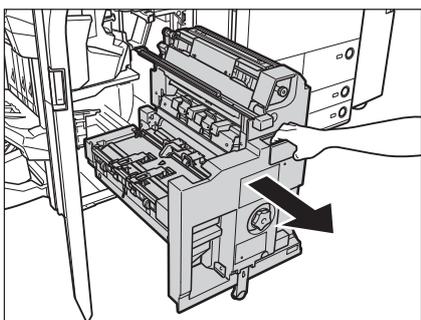
中綴じフィニッシャー・A1 (LP) の中とじユニットで針づまりが起こると、タッチパネルディスプレイに針づまりを取り除くよう促す画面が表示されます。針づまり位置を確認して、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って、つまっている針をすべて取り除いてください。

- 👉重要**
 - 針ケースの交換、パンチ屑の処理や紙づまりや針づまりを取り除くために、装着しているオプション機器のカバーを開けている状態でも、正常に動作しているオプション機器へのコピー/プリントの出力は行われる場合があります。装着しているオプション機器のお取り扱いにはご注意ください。
 - 中とじユニット針づまりの処理を行う前に、製本トレイに排紙された用紙をすべて取り除いてください。
- 📝メモ**
 - この処理は中綴じフィニッシャー・A1 (LP) 装着時のみ行います。
 - 針づまりと同時に紙づまりが起きた場合は、紙づまりの処理を行ってから針づまりを取り除いてください。

1 フィニッシャーの前カバーを開きます。



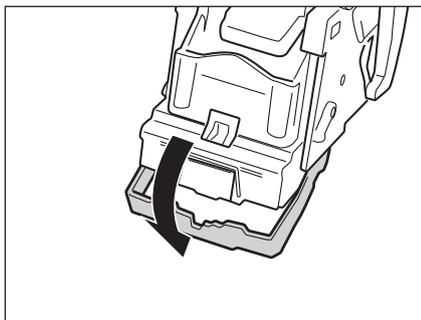
2 中とじユニット (F-C5) を引き出します。



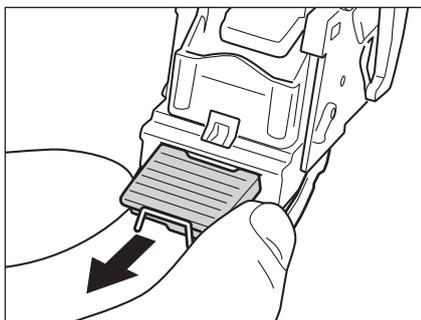
- 3** 中とじユニットの中とじ針カートリッジを取り出します。



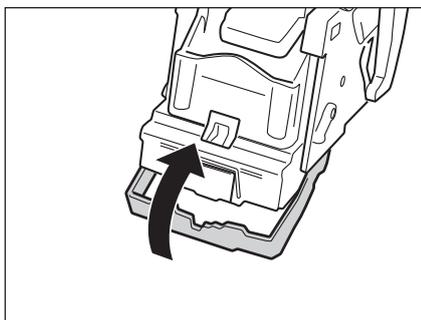
- 4** 針カートリッジの左右をつまんでつまみを下げます。



- 5** つまんでいる針を取り除きます。

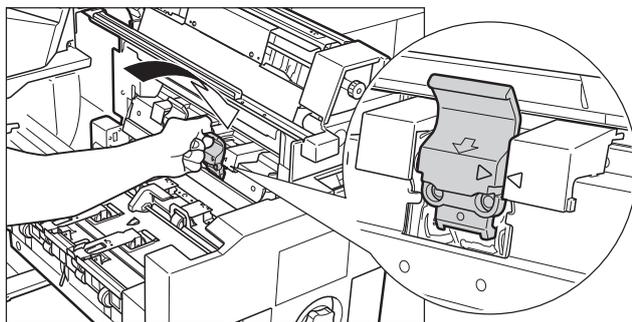


- 6** つまみを元に戻します。



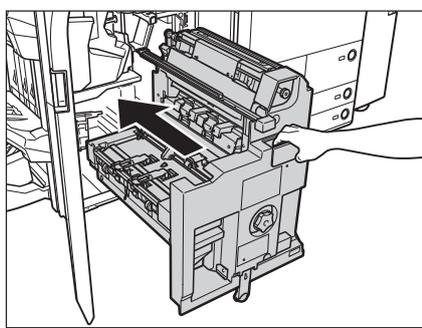
7 中とじユニットの中とじ針カートリッジを元に戻します。

針カートリッジを戻したとき、針カートリッジを図のようにセット位置の印が揃うまで差し込まれているか必ず確認してください。



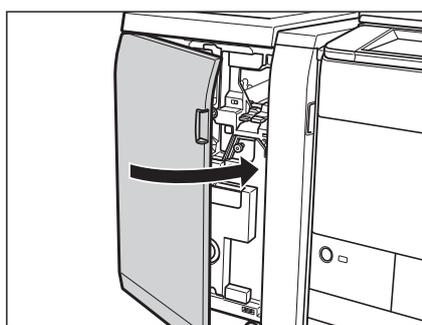
8 中とじユニット (F-C5) を奥まで押し込みます。

中とじユニットは、奥まで押し込まれたことを必ず確認してください。



▲注意 中とじユニットを元の位置に戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

9 フィニッシャーの前カバーを閉じます。



▲注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

ステイプルフィニッシャー・B1 / 中綴じフィニッシャー・B1 のホチキスユニットの針づまりの処理（オプション）

ステイプルフィニッシャー・B1 / 中綴じフィニッシャー・B1 のホチキスユニットで針づまりが起これると、タッチパネルディスプレイに針づまりを取り除くよう促す画面が表示されます。針づまり位置を確認して、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って、つまっている針をすべて取り除いてください。

重要 針づまりの処理を行う場合は、本製品のカバーや用紙カセットが閉じていることを確認してから行ってください。

2

困ったときには

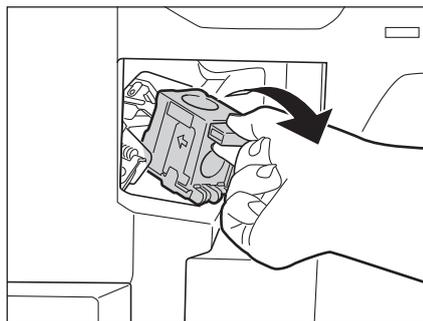
1 フィニッシャーの前カバーを開きます。



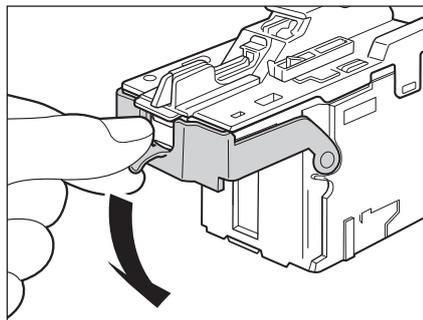
ステイプルフィニッシャー・B1

中綴じフィニッシャー・B1

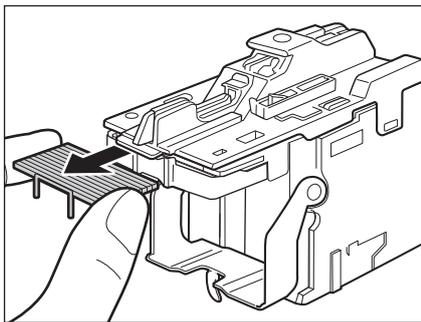
2 針カートリッジの上下（緑色の部分）をつまんで引き上げてから引き出します。



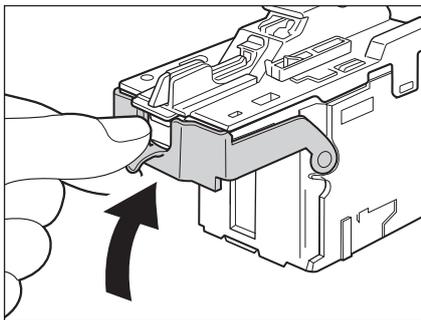
3 針カートリッジのつまみを下げます。



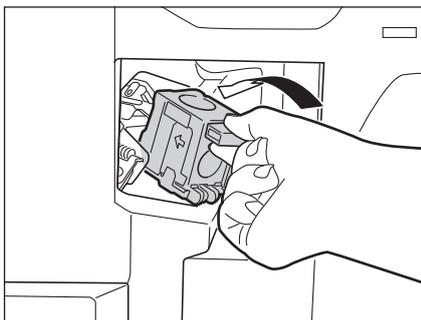
- 4** 針ケースからスライドされている針束をすべて取り除きます。



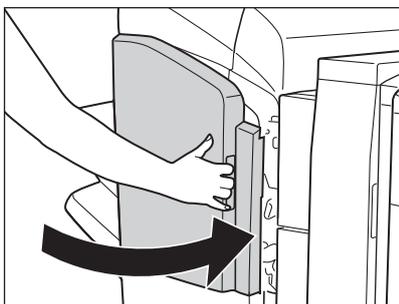
- 5** 針カートリッジのつまみを元に戻します。



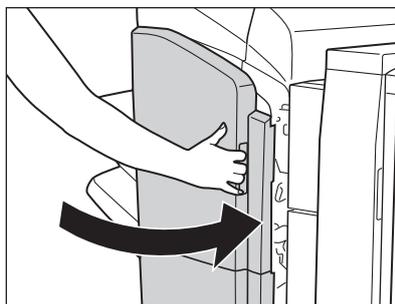
- 6** 針カートリッジをしっかり押し込みます。



- 7** フィニッシャーの前カバーを閉じます。



ステイプルフィニッシャー・B1



中綴じフィニッシャー・B1

▲注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

メモ カバーを閉じると、針がとじ位置になればホチキスユニットは自動的に数回空うちして、針の頭出しを行います。

中綴じフィニッシャー・B1 の中とじユニットの針づまりの処理 (オプション)

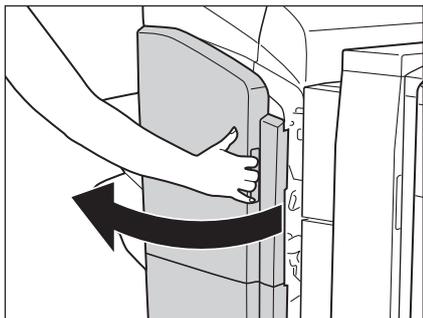
中綴じフィニッシャー・B1 の中とじユニットで針づまりが起これると、タッチパネルディスプレイに針づまりを取り除くよう促す画面が表示されます。針づまり位置を確認して、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って、つまっている針をすべて取り除いてください。

- 重要**
- 中とじユニットの針づまりの処理を行う前に、製本トレイに排紙された用紙をすべて取り除いてください。
 - 針づまりの処理を行う場合は、本製品のカバーや用紙カセットが閉じていることを確認してから行ってください。

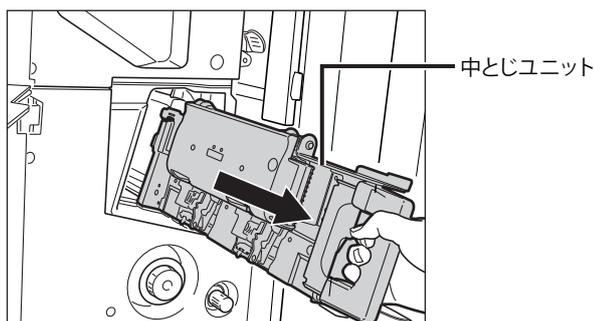
2

困ったときには

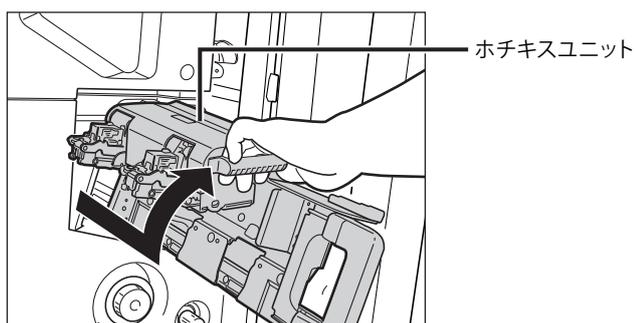
1 フィニッシャーの前カバーを開きます。



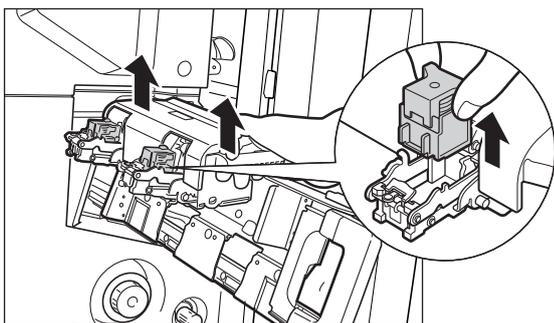
2 中とじユニットの取っ手を持ち、止まるまで引き出します。



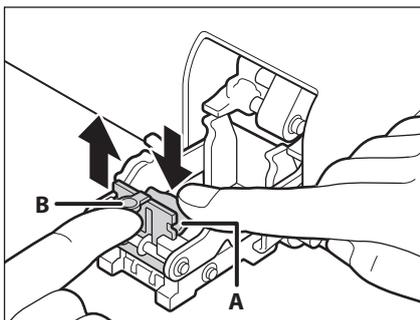
3 中とじユニットのホチキスユニットを一度手前に引いたあと起こします。



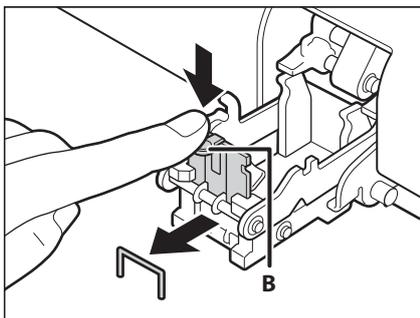
- 4** 針カートリッジの左右をつまんで取り外します。



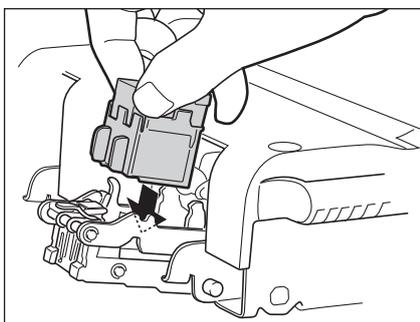
- 5** Aの部分を下に押し、Bのつまみを引き上げます。



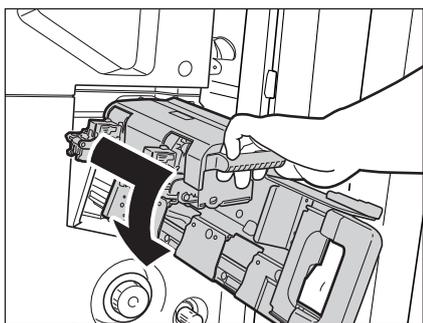
- 6** つまんでいる針を取り除き、Bのつまみを元に戻します。



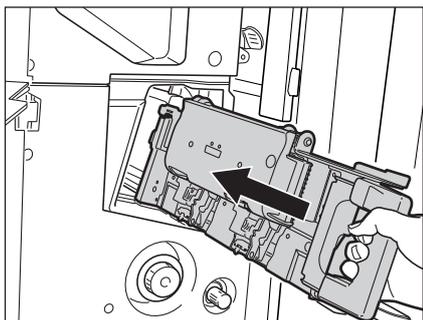
- 7** 針カートリッジを元に戻します。



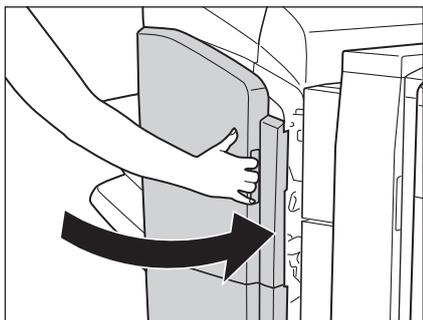
- 8 中とじユニットのホチキスユニットを一度手前に引いて元に戻します。



- 9 中とじユニットを押し戻します。



- 10 フィニッシャーの前カバーを閉じます。



⚠ 注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

👉 重要 針づまりの処理が終了したら、針の頭出しを必ず行ってください。(→ e-マニュアル > 設定 / 登録)

エラーメッセージ一覧

タッチパネルディスプレイに表示されるメッセージの対処方法を説明します。
記載されていないメッセージについては、e-マニュアル> スキャンして送信、本体でのファクス送受信、ネットワークを参照してください。

自己診断表示

表示されたメッセージに応じて、必要な処理を行ってください。

次のような状態になったとき、自己診断表示が表示されます。

- 何らかの操作上の誤りで読み込みやプリントできないとき。
- 読み込み中やプリント動作中にユーザーの判断や処理が必要になったとき。
- ネットワークの参照中にユーザーの判断や処理が必要になったとき。

以下は、自己診断メッセージと原因と処置方法の一覧です。

用紙がありません。

原因 1 用紙がなくなり、プリントできません。

処置 用紙を補給してください。(→用紙の補給：P.1-2)

原因 2 用紙カセットが正しくセットされていません。

処置 用紙カセットを奥までセットしてください。(→用紙の補給：P.1-2)

📄 最適サイズの A4 がありません。

原因 1 自動用紙選択で選択された最適サイズの用紙がセットされていません。

処置 表示されているサイズの用紙をセットしてください。

原因 2 [用紙カセット自動選択の ON/OFF] が「OFF」に設定されています。

処置 1 用紙カセットを手動で指定してください。

処置 2 表示されているサイズの用紙がセットされているカセットの[用紙カセット自動選択の ON/OFF]を「ON」に設定してください。(→e-マニュアル>設定/登録)

原因 3 自動用紙選択の対象にならない用紙種類がセットされています。

処置 1 用紙カセットを手動で指定してください。

処置 2 コピーの場合は、[用紙カセット自動選択の ON/OFF] で [用紙の種類を考慮する] を「OFF」に設定してください。(→e-マニュアル>設定/登録)

📄 原稿を 1 枚目に戻して [スタート] キーを押してください。

原因 フィーダーに何らかのトラブルが発生して、読み込みがストップしました。

処置 原稿を 1 枚目からそろえて、フィーダーの原稿給紙トレイに再セットして、Ⓢ (スタート) を押してください。

△ 原稿を1枚目に戻して [スタート] キーを押してください。(読み込んだ原稿のデータが本機で扱えるサイズの上限を超えました。自動的に設定を補正して再度読み込みを行います。)

原因 読み込んだ原稿のデータが本製品で扱えるサイズの上限を超えているため読み込みを中止しました。

処置 原稿を1枚目から読み込みなおしてください。それでも読み込めない場合は、[シャープネス]を弱く、原稿の種類を[文字]に設定すると読み込めることもあります。

△ 読み込んだ原稿のデータが本機で扱えるサイズの上限を超えているため読み込みを中止しました。[シャープネス]を弱く、原稿の種類を[文字]に設定すると実行できる可能性があります。

原因 読み込んだ原稿のデータが本製品で扱えるサイズの上限を超えているため読み込みを中止しました。

処置 [シャープネス]を弱く、原稿の種類を[文字]に設定すると読み込める可能性があります。

△ 排紙トレイの紙を取り除いてください。

原因 前のプリントがトレイに残っています。

処置 トレイに残っている用紙を取り除いてください。プリントが自動的に開始または再開されます。

△ 製本トレイの紙を取り除いてください。

原因 前のプリントがトレイに残っています。

処置 製本トレイに残っている用紙を取り除いてください。プリントが自動的に開始または再開されます。

☒ トナー容器 (イエロー) の準備が必要です。(継続プリント可)

原因 表示されている色のトナー残量が少なくなりました。

処置 表示されている色のトナー容器を準備してください。(→トナー容器の交換：P.1-55)

☒ トナー容器 (マゼンタ) を交換してください。(継続プリント可)

原因 表示されている色のトナー残量が少なくなり、もうすぐプリントできなくなります。

処置 表示されている色のトナー容器を交換してください。

☒ トナー容器を交換してください。(ブラック)

原因 表示されている色のトナー残量がなくなり、プリントできません。

処置 表示されている色のトナー容器を交換してください。(→トナー容器の交換：P.1-55)

☒ トナー容器を交換してください。(白黒コピーはできます。)

原因 表示されている色のトナー残量が少なくなり、カラーコピーできません。

処置 表示されている色のトナー容器を交換してください。(→トナー容器の交換：P.1-55)

トナー容器を交換してください。(白黒プリントはできません。)

原因 表示されている色のトナー残量が少なくなり、カラーでの保存ファイルのプリントができません。

処置 表示されている色のトナー容器を交換してください。(→トナー容器の交換：P.1-55)

トナー容器をセットしてください。(シアン)

原因 表示されている色のトナー容器が正しくセットされていません。

処置 トナー容器を正しくセットしてください(→トナー容器の交換：P.1-55)

原稿台に原稿をセットしてください。

原因 原稿台ガラスに原稿をセットするモードが設定されています。原稿台ガラスに原稿がありません。

処置 原稿台ガラスに原稿をセットしてください。

原稿台の原稿を取り除いてください。

原因 原稿台ガラスに原稿が残っています。

処置 原稿台ガラスの原稿を取り除いたあと、原稿をセットしなおしてください。

フィーダーの原稿を取り除いてください。

原因 フィーダーに原稿をセットしても読み込めないモードのときに、フィーダーと原稿台ガラスの両方に原稿がセットされています。

処置 フィーダーの原稿を取り除いてください。

原稿読み取り部(細長いガラス面)が汚れています。

原因 原稿読み取り部(細長いガラス面)にゴミなどが付着して汚れています。

処置 フィーダーの原稿読み取り部の清掃を行ってください。(→フィーダーの読み取り部を清掃する：P.1-60)

調整中です。しばらくお待ちください。

原因 機械が自動調整に入っています。

処置 しばらくお待ちください。調整が終わると、自動的にプリントが再開されます。

カラープリントの準備をしています。お待ちください。

原因 機械が自動調整に入っています。

処置 しばらくお待ちください。調整が終わると、自動的にカラープリントが再開されます。

複数のジョブを実行中です。

原因 スキャン動作しているときに、プリント中、送信中など複数のジョブが実行中です。

処置 スキャン動作が再開されるまで、しばらくお待ちください。

入力された ID または暗証番号が正しくありません。

原因 入力した部門 ID / 暗証番号は登録されていません。

処置 システム管理者に部門 ID / 暗証番号をご確認ください。

カバーが開いています。

原因 オプション機器のカバーが開いています。

処置 1 多段デッキ・A1 のカバーが閉まっているか確認してください。

処置 2 ステイプルフィニッシャー / 中綴じフィニッシャーのカバーが閉まっているか確認してください。

処置 3 インサーター・H1 のカバーが閉まっているか確認してください。

処置 4 ペーパーフォールディングインサーターユニット・G1 のカバーが閉まっているか確認してください。

処置 5 ペーパーフォールディングユニット・G1 のカバーが閉まっているか確認してください。

処置 6 外付け 2 穴パンチャー・A1 のカバーが閉まっているか確認してください。

ホチキスユニットの針を補給してください。

原因 ステイプルフィニッシャー / 中綴じフィニッシャーのホチキスユニット針ケースに針がありません。

処置 ステイプルフィニッシャー / 中綴じフィニッシャーの針ケースを交換してください。imageRUNNER ADVANCE C9075 PRO/C9065 PRO の場合 (→ホチキスユニット針ケースの交換：P.1-37)、imageRUNNER ADVANCE C7065/C7055 の場合 (→ホチキスユニット針ケースの交換：P.1-47)

パンチ屑入確認して下さい。

原因 ステイプルフィニッシャー / 中綴じフィニッシャーのパンチ屑がいっぱいです。

処置 1 ステイプルフィニッシャー / 中綴じフィニッシャーのパンチ屑入れにある屑を捨ててください。(→パンチ屑の処理：P.1-45)

処置 2 外付け 2 穴パンチャー・A1 のパンチ屑入れにある屑を捨ててください。(→パンチ屑の処理：P.1-53)

中とじユニットの針を補給してください。

原因 中綴じフィニッシャーの中とじユニット針ケースに針がありません。

処置 中綴じフィニッシャーの針ケースを交換してください。imageRUNNER ADVANCE C9075 PRO/C9065 PRO の場合 (→中とじユニット針カートリッジの交換：P.1-42)、imageRUNNER ADVANCE C7065/C7055 の場合 (→中とじユニット針カートリッジの交換：P.1-50)

トリマーの切り屑入れを空にしてください。

原因 インナートリマー・A1 の切り屑入れがいっぱいです。

処置 インナートリマー・A1 の切り屑入れにある屑を捨ててください。(→断裁屑の処理：P.1-40)

ハードディスクの交換が必要です。(担当サービスに連絡)

- 原因** ハードディスクが故障または未装着です。
- 処置 1** 担当サービスにご連絡ください。
- 処置 2** リムーバブル HDD キットを装着している場合は、ハードディスクを確認してください。

終了コード一覧

ジョブや操作が正常に終了していない場合は、終了コードを確認して、表示されている終了コードに応じて、必要な処理を行ってください。終了コードは、状況確認/中止画面のジョブ履歴の詳細情報画面で確認できます。(→ e-マニュアル> 状況確認/中止)

送信や受信、ファクスのジョブについては、正常に終了しないと終了コードが [通信管理レポート] や [送信結果レポート] の通信結果欄にプリントされます。(→ e-マニュアル> 設定/登録)

終了コードに応じて、必要な処理を行ってください。

-  **メモ** 送信ジョブを中止すると、結果欄に「STOP」とプリントされます。

#001

- 原因 1** 原稿サイズ混載の設定をしないまま、異なるサイズ of 原稿を読み込みました。
- 処置** 原稿と設定を確認して、もう一度やりなおしてください。
- 原因 2** 原稿サイズ混載の設定をしないまま、異なるサイズ of 原稿を両面読み込みしました。
- 処置** 原稿と設定を確認して、もう一度やりなおしてください。

#009

- 原因 1** 用紙がありません。
- 処置** 用紙を補給してください。(→用紙の補給：P.1-2)
- 原因 2** 用紙が正しくセットされていません。
- 処置** 用紙を正しくセットしなおしてください。(→用紙の補給：P.1-2)

#099

- 原因 1** ジョブが中止されました。
- 処置** もう一度ジョブをやりなおしてください。
- 原因 2** ジョブ実行中に主電源スイッチが切られ、エラーが発生しました。
- 処置** 主電源スイッチが入っているか確認したあと、必要に応じてもう一度やりなおしてください。(→ e-マニュアル> お使いになる前に)

#401

原因 メモリーメディアやサーバー、アドバンスドボックスのデータ容量がいっぱいか、ルートディレクトリー（メモリーメディア内の一番上の階層）に保存できるファイル数が上限値に達しました。

処置 メモリーメディア内やサーバー、アドバンスドボックスの不要なファイルを削除する、またはフォルダーを作成して既存のファイルを移動するなどして、ルートディレクトリー上のファイルを整理してください。

#402

原因 メモリーメディアへの画像転送などをする際、指定したファイル名に不正な文字（¥など）が入っているため、正常に画像転送ができませんでした。

処置 正しいファイル名に変更してください。

#403

原因 同名ファイルが存在したため書き込みができませんでした。通常、同名ファイルが存在した場合には1から999までの番号をファイル名の後に付加して、ファイル名が重ならないよう自動的にリネームされますが、1から999までの番号を付加したファイルがすでに存在したため書き込みができませんでした。

処置 ファイル名を変更して再度書き込みを行ってください。

#404

原因 メモリーメディアへのライトプロテクトスイッチがONになっているため書き込みに失敗しました。

処置 メモリーメディアのライトプロテクトスイッチを解除してください。

#406

原因 1 メモリーメディアやアドバンスドボックスへの書き込み中にメモリーメディアが引き抜かれた、またはネットワークプレースが削除されたため書き込みに失敗しました。

処置 メモリーメディアが抜けていないか、またネットワークプレースが削除されていないか確認して、もう一度書き込みを行ってください。

原因 2 メモリーメディアへ画像転送して保存などする際、何らかのエラーが発生したため、正常に画像転送ができませんでした。（接続しているメモリーメディアがサポート外のファイルシステムでフォーマットされている可能性があります。）

処置 メモリーメディアの状態や、メモリーメディアが本製品で対応しているファイルシステム（FAT32）でフォーマットされているかを確認してください。確認後、もう一度操作を行ってください。

原因 3 ファイルサイズが本機で扱えるサイズの上限に達しました。

処置 解像度を低くするかページ数を減らしてから、もう一度実行してください。

#407

原因 指定したファイル（フォルダー）へのフルパス長がサポート範囲を超えています。

処置 フルパスの長さが256文字以内になるようにファイル名を変更するか、保存するフォルダーを変更してください。

#409

原因 この場所に保存できる数の上限に達しているため保存できません。

処置 保存先を変更してください。

#410

原因 保存待機中のジョブがいっぱいのため保存できません。

処置 前のジョブの保存が終了してからもう一度実行してください。

#411

原因 他の操作によりすでにロックされています。

処置 しばらくたってからもう一度実行してください。

#701

原因 1 ジョブを投入したときに設定した部門 ID が存在しません。または、暗証番号を変更しました。

処置 正しい部門 ID または、暗証番号を①～⑨（テンキー）で入力して、もう一度送信してください。

原因 2 ジョブの実行中に部門 ID または暗証番号が変更されました。

処置 変更後の部門 ID と暗証番号でもう一度やりなおしてください。暗証番号がわからないときは、システム管理者にご連絡ください。

原因 3 ID 不定のプリンタージョブの受付設定が「OFF」になっています。

処置 管理設定（設定／登録）の部門別 ID 管理にある [ID 不定プリンタージョブの許可] を「ON」にしてください。（→ e-マニュアル > セキュリティー）

#703

原因 メモリーの画像領域がいっぱいになり、書き込みができません。

処置 1 しばらくお待ちください。他の送信ジョブが終了してから、もう一度送信してください。

処置 2 ボックスと受信トレイ内のファイルを削除してください。それでも正常に動作しない場合は、本製品の主電源を入れなおしてください。（→ e-マニュアル > お使いになる前に）

#711

原因 ボックスと受信トレイ内のメモリーがいっぱいです。

処置 ボックスと受信トレイ内のファイルを削除してください。（→ e-マニュアル > 受信トレイ、保存ファイルの利用）

#712

原因 ボックスと受信トレイ内のファイルがいっぱいです。

処置 ボックスと受信トレイ内のファイルを削除してください。（→ e-マニュアル > 受信トレイ、保存ファイルの利用）

#749

原因 サービスコールが表示されたため、実行できませんでした。

処置 主電源スイッチをいったん切ったあと、10秒以上待ってからもう一度主電源スイッチを入れてください。それでも正常に動作しない場合は、主電源スイッチを切ったあと、電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービスにご連絡ください。(→e-マニュアル>お使いになる前に)

#754

原因 機器情報配信時に子機が立ち上がっていないか、ネットワークが切れています。配信先の設定が間違っています。

処置 子機側、ネットワークの状態を確認してください。配信先の設定を確認してください。

#759

原因 ファイルが保存されているボックスの URL 送信時にエラーが発生しました。

処置 システム管理者にご連絡ください。

#807

原因 指定されたディレクトリーへのアクセス権がありません。

処置 サーバーのディレクトリーへのアクセス権を設定するか、アクセス権のあるディレクトリーに送信しなおしてください。またはシステム管理者にご連絡ください。

#816

原因 部門別 ID 管理の制限面数で設定した数値を超え、プリントできませんでした。

処置 システム管理者にご連絡ください。

#825

原因 1 予約中、実行中のプリンタージョブの部門 ID と暗証番号が消去、または暗証番号が変更されていたためプリントできませんでした。

処置 処置変更後の部門 ID と暗証番号でもう一度やりなおしてください。部門 ID と暗証番号を登録してください。暗証番号がわからないときは、システム管理者にご連絡ください。

原因 2 機器情報の配信先となる子機でシステム管理者が登録されているが、親機側ではシステム管理者が登録されていないため、機器情報が配信できませんでした。または、親機側とは異なるシステム管理部門 ID とシステム管理暗証番号が子機側に登録されているため、機器情報が配信できませんでした。

処置 親機と配信先となる子機に同じシステム管理部門 ID とシステム管理暗証番号を登録してから、もう一度機器情報を配信してください。

#849

原因 機器情報の配信先となる子機でジョブが実行中のため、機器情報が配信できませんでした。

処置 配信先となる子機のジョブが終了してから、もう一度機器情報を配信してください。

#850

原因 機器情報の配信先となる子機で、機器情報に関連する画面が操作中のため、配信できませんでした。

処置 配信されなかった機器情報を確認したあと、もう一度機器情報を配信してください。(→ e-マニュアル > セキュリティー)

#851

原因 1 本製品のメモリー残量が足りなくなりました。

処置 本製品のメモリー残量を確認したあと、ボックスと受信トレイの不要なファイルを消去してください。(→ e-マニュアル > 受信トレイ、保存ファイルの利用)

原因 2 メモリーの画像領域がいっぱいになりました。

処置 エラージョブや不要なファイルを削除して、メモリーの空き容量を増やしてください。(→ e-マニュアル > 受信トレイ、保存ファイルの利用)

原因 3 指定したボックスと受信トレイ内のファイル数が 1500 ファイルを超えているため、保存できませんでした。

処置 指定したボックスと受信トレイのファイルを消去してください。(→ e-マニュアル > 受信トレイ、保存ファイルの利用)

#852

原因 ジョブ実行中に何らかの原因で電源が切れたため、エラーが発生しました。

処置 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれているかなど、電源が切れやすい状態になっていないかを確認したあと、必要に応じてもう一度やりなおしてください。

#853

原因 1 プリンターで大量なページをプリントしようとしたときなどに、リソース不足によってジョブを実行できませんでした。

処置 プリントするページを減らすか、他のプリントジョブが予約されていないときにもう一度実行してください。

原因 2 コンピューターから本製品へプリントデータを送信中に、プリンタードライバーからキャンセルされたことによってジョブを実行できませんでした。

処置 もう一度実行してください。

原因 3 環境設定（設定／登録）のネットワーク設定にある [スプール機能を使用] が「ON」に設定されているときに、受信データのスプール領域がいっぱいになり、ホストからの受信データをすべてスプールしきれませんでした。

処置 環境設定（設定／登録）のネットワーク設定にある [スプール機能を使用] を「OFF」に設定したあと、もう一度送信してください。(→ e-マニュアル > ネットワーク)

原因 4 受信データ処理中に受信できるデータの上限を超えました。

処置 すべてのジョブが終了してからもう一度プリントしてください。それでもプリントできない場合は送信データを確認してください。

原因 5 同時に受付可能なセキュアジョブ数を超えてセキュアジョブが投入されました。

処置 本体に蓄積されているセキュアジョブを実行または消去してから、もう一度実行してください。(→ e-マニュアル > プリント)

#854

原因 配信先となる子機で、管理設定（設定／登録）の [機器情報配信の設定] にある [配信元による受信制限] が「ON」の設定になっているため、同一機種グループ以外からの機器情報を配信できませんでした。

処置 管理設定（設定／登録）の機器情報配信の設定にある配信元による受信制限の設定を「OFF」にしてから、もう一度機器情報を配信してください。(→ e-マニュアル > セキュリティー)

#855

原因 配信先となる子機で扱えない言語が含まれた機器情報のため、配信できませんでした。

処置 担当サービスにお問い合わせください。

#856

原因 一時的な保存データ用のハードディスク領域がいっぱいになったため、ジョブがキャンセルされました。

処置 システム管理者にご連絡ください。

#857

原因 データ受信のタイムアウトか、ホストからジョブがキャンセルされました。

処置 ネットワークの状態を確認して、もう一度プリントしてください。

#858

原因 プリントデータに異常が発生しました。

処置 プリントデータ、またはプリント設定を変更してもう一度プリントしてください。

#859

原因 1 原稿データの圧縮エラーが発生しました。

処置 原稿と設定を確認して、もう一度やり直してください。

原因 2 原稿が正常に読み込みできなかったか、原稿セット方向のエラーです。

処置 1 原稿と設定を確認して、もう一度やりなおしてください。

処置 2 主電源スイッチをいったん切ったあと、10 秒以上待ってからもう一度主電源スイッチを入れてください。

#860

原因 1 プリント中に用紙が足りませんでした。

処置 もう一度プリントしてください。

原因 2 本製品専用ではない OHP フィルムが使用されました。

処置 本製品専用の OHP フィルムを使用してもう一度プリントしてください。

原因 3 本製品が利用できないページ記述言語のジョブが投入されました。

処置 本製品で現在利用可能なページ記述言語をシステム管理者に確認の上、適切なプリンタードライバーを使用してください。

原因 4 カラーモードとイメージ合成（オーバーレイ）で、サポートされない組み合わせが設定されました。

処置 選択しているフォーム画像のイメージ合成（オーバーレイ）が可能なカラーモードを選択するか、選択しているカラーモードでイメージ合成（オーバーレイ）が可能なフォーム画像を選択するなど、設定を変更してもう一度プリントしてください。

#861

原因 PDL データ、画像データの処理中にエラーが発生しました。

処置 プリントデータ、またはプリント設定を変更してもう一度プリントしてください。

#862

原因 1 プリント中に、中とじ積載枚数の制限を超えました。

処置 プリントデータ、またはプリント設定を変更してもう一度プリントしてください。

原因 2 サポートされない設定の組み合わせがされました。

処置 プリントデータ、またはプリント設定を変更してもう一度プリントしてください。

原因 3 互換性を保証していない画像データがプリントされました。

処置 プリントデータ、またはプリント設定を変更してもう一度プリントしてください。

#863

原因 PDL データ、画像データの処理中にエラーが発生しました。

処置 設定を確認して、もう一度やりなおしてください。

#865

原因 ジョブ実行に関連する機能が制限されています。

処置 システム管理者に連絡してください。

#889

原因 ジョブ制限情報を埋め込まれた原稿のため、読み込んだりプリントしたりできません。

処置 ジョブ制限情報を確認するか、システム管理者に連絡してください。

#904

原因 ネットワーク上に接続されている imageRUNNER/imagePRESS シリーズから機器情報配信でアドレス帳を取得したときに、[よく使う設定] として登録されている宛先だけ更新されません。

処置 本製品のタッチパネルディスプレイから [よく使う設定] を登録しなおしてください。

#905

原因 ネットワークでエラーが発生したため実行できませんでした。

処置 サーバーのパス長やアクセス権、ファイルやフォルダーが使用中でないかなどを確認してください。

読み込み中にメモリーがいっぱいになったときには

本製品のメモリーには、最大約 6200 ページの画像が記憶できます。そのうち約 6000 ページ分の画像領域が、コピー、ファクス、スキャンして送信、スキャンして保存（ボックスに保存する場合）、受信トレイ、コンピューターからのプリントなどで共有されています。また、それとは別に以下のページ数分の領域が、各ファンクションで保証されています。

コピー：100 ページ

コンピューターからのプリント：100 ページ（セキュアプリントを除く）

例えばコピーの場合、最大
約 6000 + 100 = 約 6100 ページ
の画像を記憶できます。

ただし、記憶できるページ数は、ボックスと受信トレイに保存されているファイルや、待機中のジョブに使用されているメモリーの状況によって異なります。

原稿の読み込み中にメモリーがいっぱいになると、タッチパネルディスプレイに次のようなメッセージが表示されます。

重要 ファクス/スキャンして送信で、一度に送信できる最大ページ数は、999 ページです。

メモ ボックスや受信トレイ内の不要なファイルを削除すると、メモリーの空き容量を増やせます。

コピーの場合

1 画面に表示されたメッセージに従って、次のように操作します。

- 「メモリーがいっぱいのため読み込みを中止します。読み込んだページをプリントします。よろしいですか？」と表示されたとき

[はい] または [いいえ] を選択します。

[はい]：読み込んだ分のコピーをプリントします。プリント終了後、再度残りの原稿の読み込みを行ってください。

[いいえ]：読み込んだ分のコピーをプリントしません。

- 「メモリーがいっぱいのため読み込みを中止します。しばらくたってからもう一度実行してください。」と表示されたとき

[OK] を選択します。

[OK]：使用しているファンクションの基本画面に戻ります。現在行っているプリントが終了したあと、読み込みなおしてください。

ファクス/スキャンして送信の場合

1 画面に表示されたメッセージに従って、次のように操作します。

- 「メモリーがいっぱいのため読み込みを中止します。読み込んだページを送信します。よろしいですか？」と表示されたとき

[はい] または [いいえ] を選択します。

[はい]：読み込んだ分のページを送信します。送信終了後、再度残りの原稿の読み込みを行ってください。

[いいえ]：読み込んだ分のページを送信しません。

スキャンして保存の場合

1 画面に表示されたメッセージに従って、次のように操作します。

- 「メモリーがいっぱいのため読み込みを中止します。読み込んだページを保存します。よろしいですか?」と表示されたとき

[はい] または [いいえ] を選択します。

[はい]: 読み込んだ分のページを保存します。送信終了後、再度残りの原稿の読み込みを行ってください。

[いいえ]: 読み込んだ分のページを保存しません。

- 「メモリーがいっぱいのため実行できませんでした。」と表示されたとき

[OK] を選択します。

[OK]: 使用しているファクションの基本画面に戻ります。

2

困ったときには

サービスコール表示

機械に何らかの異常が起こり、正常に動かなくなったときは、担当サービスに連絡をするよう促す画面が表示されます。

また、プリンター機能/スキャナー機能が正常に動作していない状態でも、一部の機能を継続して使用できる場合があります。

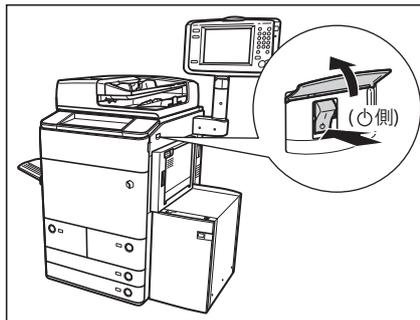
担当サービスを呼ぶときは

担当サービスに連絡をするよう促す画面が表示されたら次のように対処してください。

- ⚠ 警告** 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- ⚠ 注意** 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っばると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- 👉 重要** プリント待機中のデータがある場合に主電源スイッチを切ると、プリント待機中のデータは消去されます。

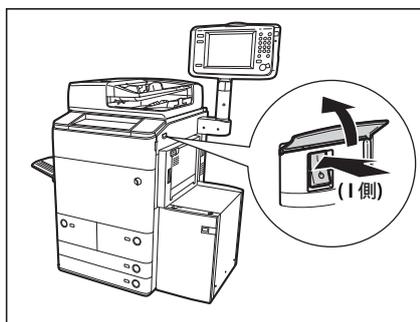
1 主電源スイッチを「**⏻**」側に倒します。

主電源スイッチを操作するときは、主電源スイッチのカバーを開いてください。



2 主電源ランプが消灯したあとで、10秒以上待つてからもう一度主電源スイッチを「**I**」側に倒します。

主電源スイッチを操作するときは、主電源スイッチのカバーを開いてください。



3 それでも正常に作動しない場合は、次のことを行ってから担当サービスにご連絡ください。

- 主電源スイッチを切ります。
- 電源プラグをコンセントから抜きます。

- メモ** 担当サービスに連絡する場合は、以下の項目を確認してください。
- ・製品名
 - ・トラブルの現象や状況など
 - ・タッチパネルディスプレイに表示されているコード番号

サービスコール画面から機能制限モードを設定する

主電源を入れなおしても、サービスコールが表示される場合に、サービスコールの原因が解決されるまでの一時的な処置として、機能制限モードで本製品を操作できる場合もあります。

- 重要** プリント待機中のデータがある場合に主電源スイッチを切ると、プリント待機中のデータは消去されます。

- メモ** サービスコール画面から機能制限モードを設定した場合は、管理設定（設定／登録）の「機能制限モード」も「ON」に設定されます。（→e-マニュアル>セキュリティ）

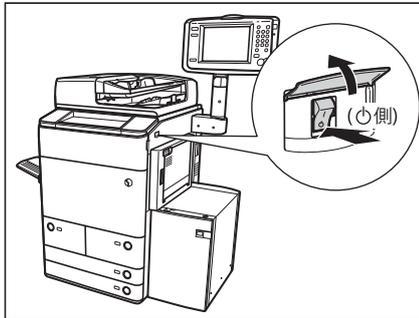
1 「機能制限モード」を押します。

2 「はい」を押します。

本体の主電源スイッチを入れなおすメッセージが表示されます。

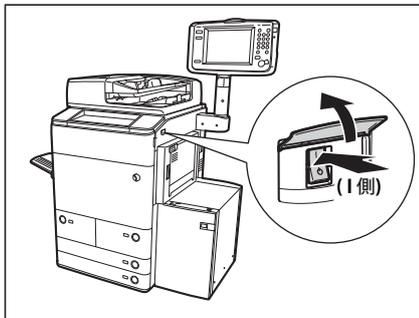
3 主電源スイッチを「」側に倒します。

主電源スイッチを操作するときは、主電源スイッチのカバーを開いてください。



4 主電源ランプが消灯したあとで、10秒以上待ってからもう一度主電源スイッチを「」側へ倒します。

主電源スイッチを操作するときは、主電源スイッチのカバーを開いてください。



機能制限モードで起動します。

エラーによるプリント／スキャン機能制限時にいくつかの機能を使用する

プリント機能／スキャン機能が使用できないことを示す以下のメッセージがタッチパネルディスプレイ最下部に表示されている場合でも、いくつかの機能を引き続き使用することができます。

プリント機能制限時：「プリンターの点検が必要です。(担当サービスに連絡)」

スキャン機能制限時：「スキャナーの点検が必要です。(担当サービスに連絡)」

プリント機能制限時、スキャン機能制限時に使用できる機能は以下のとおりです。

■ メインメニュー画面

エラーによる制限	プリント機能制限時	スキャン機能制限時
使用できる機能		
コピー	×	×
ファクス	○	×
スキャンして送信	○	×
スキャンして保存	○*1	×
保存ファイルの利用	×	○*2
受信トレイ	×	○
セキュアプリント	×	○
モバイルプリント	×	○
リモートスキャナー	○	×
ホールド	×	○
ウェブブラウザ	○	○
設定 / 登録のショートカット	×	×
便利な機能紹介	○	○
Workflow Composer	×	×
情報解析ツール*3	○	×
その他の MEAP アプリケーション*4	○	○

○：使用可能、×：使用不可

■ 操作パネル

エラーによる制限	プリント機能制限時	スキャン機能制限時
使用できる機能		
カスタムメニュー*5	○	○
状況確認 / 中止	○*6	○
設定 / 登録	×	×

○：使用可能、×：使用不可

■ コンピューターからの操作

エラーによる制限	プリント機能制限時	スキャン機能制限時
使用できる機能		
リモート UI	○	○
MEAP アプリケーション*4	○	○

○：使用可能、×：使用不可

*1 ボックス画面の [リストプリント] は使用できません。

*2 ファイル編集画面の [ファイルの追加 (スキャンして保存)] は使用できません。

*3 情報解析ツールはオプションのジョブロック拡張キットに付属しています。オプションの詳細については、「各機能に必要なオプション」を参照してください。

*4 各 MEAP アプリケーションをインストールすることで使用できます。制限されている機能によって、使用できない場合があります。

*5 制限されている機能によって、登録されているボタンを使用できない場合があります。

*6 ジョブ履歴画面の [リストプリント]、および消耗品確認画面の [登録] は使用できません。

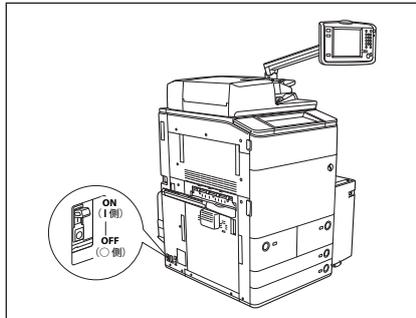
- 重要**
- プリント機能制限中にプリントを、スキャン機能制限中にスキャンを行うと、それぞれのジョブは自動的にキャンセルされます。
 - エラーによる機能制限時は、完全なスリープ状態に移行しません。

- メモ**
- 目的の機能がエラーにより制限されている場合、メインメニュー画面上部のショートカットキー、およびカスタムメニューによっても目的の機能を使用することはできません。
 - プリント機能制限時に [トナー容器取り出し] は使用できません。

電源が入らないとき（ブレーカーの確認）

主電源スイッチ、操作部電源スイッチが入っているのに本製品が動作しない場合には、必ずブレーカーが OFF になっていないか確認してください。

確認を行ったあとブレーカーが OFF になっていた場合は、ブレーカーを再度入れなおさずに担当サービスにご連絡ください。



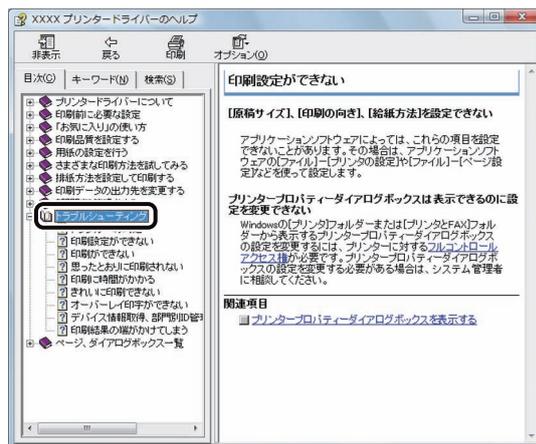
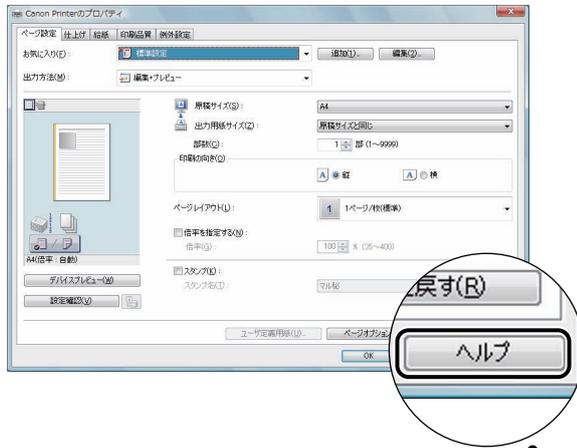
⚠ 警告 本製品のブレーカーが落ちていた場合は、ブレーカーを再度入れなおさないでください。感電、発火、発煙または屋内ブレーカーが落ちる原因になります。

2

困ったときには

プリンター／ファクスドライバーでのトラブル

Windows 用プリンタードライバー、および Windows 用ファクスドライバーを使用したときのトラブル対処については、それぞれのドライバーヘルプにある「トラブルシューティング」を参照してください。ここでは、プリンタードライバーの画面を使用しています。



2

困ったときには

索引

索引を記載しています。

索引.....3-2

い

- インサーター・H1
 - 紙づまりの箇所を示すラベル, 2-8
 - 紙づまりの処理, 2-42
 - 用紙の補給, 1-29
- インナートリマー・A1
 - 断裁屑の処理, 1-40

え

- エラーメッセージ一覧, 2-99

お

- オープンボタン
 - 多段デッキ・A1, 1-23
 - ペーパーデッキ／カセット, 1-3
 - ペーパーデッキユニット・A1 / POD デッキライト・A1, 1-13

か

- 紙づまりが起こったときの表示, 2-9
- 紙づまり箇所の確認, 2-9
- 紙づまりの処理
 - インサーター・H1, 2-42
 - カセット内部, 2-24
 - ステイプルフィニッシャー・A1 (LP) / 中綴じフィニッシャー・A1 (LP) の内部, 2-66
 - ステイプルフィニッシャー・B1 / 中綴じフィニッシャー・B1 の上カバー内部, 2-77
 - ステイプルフィニッシャー・B1 / 中綴じフィニッシャー・B1 の排紙搬送部, 2-79
 - 外付け2穴パンチャー・A1, 2-87
 - 多段デッキ・A1, 2-36, 2-41
 - 手差しトレイ部, 2-15
 - 中綴じフィニッシャー・A1 (LP) の中とじユニット, 2-71
 - 中綴じフィニッシャー・B1 の中とじユニット, 2-84
 - 中綴じフィニッシャー・B1 の前カバー部, 2-82
 - バッファパスユニット・F1, 2-28
 - 左カバー部, 2-20

- ペーパーデッキ (左側) 内部, 2-27
- ペーパーデッキ (右側) 内部, 2-25
- ペーパーデッキユニット・A1 / POD デッキライト・A1, 2-34
- ペーパーフォールディングインサーターユニット・G1, 2-55
- ペーパーフォールディングインサーターユニット・G1 (インサーター内部), 2-51
- ペーパーフォールディングインサーターユニット・G1 (インサーター部), 2-48
- ペーパーフォールディングユニット・G1, 2-60
- 本体内部 (定着搬送ユニット), 2-12
- 本体左部, 2-21
- マルチカラーイメージリーダーユニット・A1 (フィーダー), 2-31
- 右カバー部, 2-16, 2-18

け

- 原稿台ガラスの清掃, 1-59

さ

- サービスコール表示, 2-113

し

- 終了コード一覧, 2-103
- 消耗品, 1-64

す

- スタンプカートリッジ, 1-66
- ステイプルフィニッシャー・A1 (LP)
 - 紙づまりの箇所を示すラベル, 2-5
 - 紙づまりの処理, 2-66
 - 針づまりの処理, 2-89
 - ホチキスユニット針ケースの交換, 1-37
- ステイプルフィニッシャー・B1
 - 紙づまりの処理, 2-77, 2-79
 - 針づまりの処理, 2-94
 - ホチキスユニット針ケースの交換, 1-47

そ

- 外付け2穴パンチャー・A1
 - 紙づまりの処理, 2-87
 - パンチ屑の処理, 1-53

た

- 多段デッキ・A1
 - オープンボタン, 1-23
 - 紙づまりの箇所を示すラベル, 2-4
 - 紙づまりの処理, 2-36, 2-41
 - 用紙サイズの変更, 1-26
 - 用紙の補給, 1-22
- 断裁屑の処理, 1-40

て

- 定着搬送ユニット
 - 紙づまりの処理, 2-12
- 手差しトレイ部
 - 紙づまりの処理, 2-15

と

- トナー補給口, 1-57
- トナー容器の交換, 1-55
- トナー容器の購入, 1-65
- ドラムのクリーニング, 1-63

な

- 中綴じフィニッシャー・A1 (LP)
 - 紙づまりの箇所を示すラベル, 2-6
 - 紙づまりの処理, 2-66, 2-71
 - 中とじユニット針カートリッジの交換, 1-42
 - 針づまりの処理, 2-89, 2-91
 - ホチキスユニット針ケースの交換, 1-37
- 中綴じフィニッシャー・B1
 - 紙づまりの処理, 2-77, 2-79, 2-82, 2-84
 - 中とじユニット針カートリッジの交換, 1-50
 - 針づまりの処理, 2-94, 2-96
 - ホチキスユニット針ケースの交換, 1-47

に

- 日常のお手入れ, 1-59

は

- バッファパスユニット・F1
 - 紙づまりの処理, 2-28
- 針カートリッジの交換, 1-42, 1-50
- 針ケースの交換
 - ステイプルフィニッシャー・A1 (LP), 1-37
 - ステイプルフィニッシャー・B1, 1-47
 - 中綴じフィニッシャー・A1 (LP), 1-37
 - 中綴じフィニッシャー・B1, 1-47
- 針づまりの処理
 - ステイプルフィニッシャー・A1 (LP) / 中綴じフィニッシャー・A1 (LP) のホチキスユニット, 2-89
 - ステイプルフィニッシャー・B1 / 中綴じフィニッシャー・B1 のホチキスユニット, 2-94
 - 中綴じフィニッシャー・A1 (LP) の中とじユニット, 2-91
 - 中綴じフィニッシャー・B1 の中とじユニット, 2-96
- パンチ屑の処理, 1-45
- パンチャーユニット・BE1
 - パンチ屑の処理, 1-45

ひ

- 左側ガイド, 1-6

ふ

- フィーダー裏面の清掃, 1-59
- フィーダーの読み取り部の清掃, 1-60
- プリンター / ファクスドライバーでのトラブル, 2-117
- ブレーカー
 - ブレーカーの確認, 2-116

へ

- ペーパーデッキ / カセット
 - オープンボタン, 1-3
 - 左側ガイド, 1-6
 - 前側ガイド, 1-6
 - 用紙サイズの変更, 1-8
 - 用紙の補給, 1-2
- ペーパーデッキ / カセット
 - 紙づまりの処理, 2-24, 2-25, 2-27
- ペーパーデッキユニット・A1 / POD デッキライト・A1
 - オープンボタン, 1-13
 - 紙づまりの処理, 2-34
 - 用紙サイズの変更, 1-15

用紙の補給, 1-15

ペーパーフォールディングインサーターユニット・G1

紙づまりの処理, 2-48, 2-51, 2-55

用紙のセット, 1-32

ペーパーフォールディングユニット・G1

紙づまりの箇所を示すラベル, 2-7

紙づまりの処理, 2-60

ほ

補修用性能部品, 1-67

保守サービス, 1-67

ホチキスユニット, 1-37, 1-47, 2-89, 2-94

ま

前側ガイド, 1-6

マルチカラーイメージリーダーユニット・A1 (フィーダー)

紙づまりの処理, 2-31

め

メモリーフル時の処理, 2-111

よ

用紙の購入, 1-64, 1-67

用紙の補給

多段デッキ・A1, 1-22

ペーパーデッキ／カセット, 1-2

ペーパーデッキユニット・A1 / POD デッキライト・

A1, 1-15

ろ

ローラーのクリーニング, 1-63

わ

ワイヤのクリーニング, 1-62



本書は本文に再生紙を使用しています。
本書は揮発性有機化合物(VOC)ゼロのインキを使用しています。

消耗品のご注文先

販売先

電話番号

担当部門

担当者

サービス担当者 連絡先

販売店

電話番号

担当部門

担当者

Canon

キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター (全国共通番号)

050-555-90056

[受付時間] <平日> 9:00~12:00、13:00~17:00
(土日祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます)

※上記番号をご利用いただけない方は03-5428-1287をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 〒108-8011 東京都港区港南2-16-6
Canonホームページ: <http://canon.jp>

